

97-392



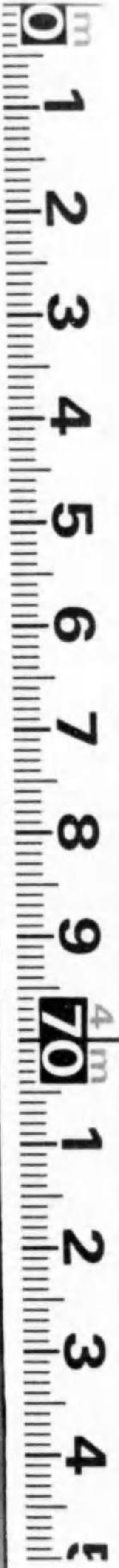
1200501340510



昭和十九年

帝國學士院一覽

(昭和十九年六月調)



始



帝國學士院一覽

目次

第一	沿革略	三五
第二	帝國學士院規定	三六
第三	帝國學士院會則	三七
第四	帝國學士院長職務規程	三八
第五	帝國學士院授賞規則	三九
第六	帝國學士院學術研究獎勵金委任經理ニ關スル法律	四〇
第七	貴族院帝國學士院會員互選規則	四一
第八	貴族院會員議員ノ互選ニ用フル投票用紙、投票用封筒又投票 函ノ様式ニ關スル閣令	四二
第九	帝國學士院學術研究獎勵金運用委員會規則	四三
第十	恩賜賞ニ關スル決議	四四

發行所寄贈本

97  
392

目次

第十一	寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議	五
第十二	條件附寄附金ニ關スル決議	五
第十三	藤田男爵獎學費給與ニ關スル決議	六〇
第十四	末松子爵夫人寄附羅馬法獎勵資金ノ使途ニ關スル決議	六〇
第十五	松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ニ關スル決議	六二
第十六	大阪毎日新聞社社長本山彦一寄附東宮御成婚記念學術獎勵資 金ノ使途ニ關スル決議	六三
第十七	小池厚之助寄附獎學資金ノ使途ニ關スル決議	六三
第十八	メンデンホール寄附獎學資金ノ使途ニ關スル決議	六三
第十九	學術研究費補助ニ關スル決議	六四
第二十	高松宮へ推薦スヘキ有栖川宮記念學術獎勵資金受領候補者選 定ニ關スル決議	六六
第二十一	學術研究費補助推薦ニ關スル決議	六七
第二十二	出版ニ關スル決議	六七

第二十三	帝國學士院紀事及別冊ニ關スル決議	六八
第二十四	學術研究獎勵金	六九
第二十五	出版物	八〇
第二十六	學術報告	八〇
第二十七	授賞事項及受賞者	一一〇
第二十八	學術研究費補助研究事項	一一〇
第二十九	高松宮へ推薦スヘキ有栖川宮記念獎學資金受領候補者補助要 項及研究事項	一一二
第三十	東照宮三百年祭記念會へ推薦ノ補助研究事項	一一五
第三十一	末延財團へ推薦ノ補助研究事項	一一七
第三十二	近藤記念海事財團へ推薦ノ補助研究事項	一一八
第三十三	財團法人海防義會へ推薦ノ補助研究事項	一一九
第三十四	藤田男爵獎學費受領者	一二一
第三十五	子爵夫人末松生子羅馬法獎學品受領者	一二三

目

次

三

第三十六	事業	一六三
第三十七	役員	一七三
第三十八	會員	一七三
第三十九	貴族院帝國學士院會員議員	一八〇
第四十	各部分科並ニ定員	一八一
第四十一	事務職員	一八二
第四十二	委員及事業擔當會員、囑託員	一八三
第四十三	帝國學士院前役員	一九七
第四十四	帝國學士院前會員及客員	一九九
第四十五	元東京學士會院役員	二〇九
第四十六	元東京學士會院會員及客員	二二一
第四十七	昭和十八年五月十三日第卅三回授賞式ニ於ケル長岡院長ノ演述	二二五

# 帝國學士院一覽

(昭和十九年四月調)

## 第一沿革略

帝國學士院ハ元東京學士會院ト稱ス其ノ起源沿革左ノ如シ

明治十一年(一八七八)〇十二月 文部卿西郷從道學士會院ノ必要ヲ認メ乃チ東京學士會院規則大意及選舉案ヲ西周、加藤弘之、神田孝平、津田真道、中村正直、福澤諭吉、箕作秋坪ノ七名ニ諮詢シ其ノ協賛ヲ得テ之カ創設ヲ決定ス

同 十二年 〇一月 文部大輔田中不二麿(文部卿 缺)右西周以下ノ七名ヲ東京學士院

ノ會員ニ選舉シ其ノ報帖ヲ交付シ文部省内修文館ヲ假用シテ東京學士會院ヲ置ク  
〇四月 東京學士會院規則ヲ定ム其ノ要項ハ教育ノ事ヲ討議シ學術技藝ヲ評論スル目的トシ會員ハ四十名ヲ限リ會院ニ於テ選舉シ文部卿ノ認可ヲ經ルノ制ナリ〇

五月 東京學士會院雜誌ヲ發行ス

明治十三年 〇九月 會院ヲ湯島昌平館ニ移ス

同 十四年 〇四月 會院ヲ修文館ニ移ス

- 同 十五年 ○一月 會院ヲ再ヒ昌平館ニ移ス○十二月 昌平館類焼ニ罹リ本院會場器具及藏書百七十部ヲ燒失ス尋テ本院ヲ修文館ニ假設ス
- 同 十七年 ○十月 會院ヲ東京教育博物館(上野)ニ移ス
- 同 十八年 ○二月 文部卿大木喬任東京學士會院組織大綱ヲ示ス其ノ要旨ハ學術ノ品位ヲ高クシ以テ教化ノ裨補ヲ圖ルニ在リ會員ハ帝室ノ御選ニ係ル者十五名會員ノ推選ニ係ル者二十五名ヨリ成ル○四月 更ニ右大綱ニ基キ新ニ會則ヲ定メ同年九月ヨリ實施ス
- 同 十九年 ○一月 會員ノ講演ヲ公開ス○十一月 會院ヲ東京教育博物館構内新築館(上野)ニ移ス
- 同 二十三年 ○十月 勅令第二百六十四號東京學士會院規程發布○十一月 會則ヲ定ム
- 同 二十五年 ○十二月 廣ク公衆ノ覽ニ供スルノ目的ヲ以テ會員西周寄贈ノ先哲遺墨帖及群鳥蹟ヲ帝國博物館(後東京帝室博物館ト改稱)ニ寄託ス
- 同 二十八年 ○三月 勅令第十七號東京學士會院規程補則發布

- 同 三十三年 ○五月 皇太子殿下御婚儀奉賀ノ爲賀表ヲ捧呈ス
- 同 三十四年 ○六月 定期刊行ノ東京學士會院雜誌ヲ廢シ同年七月ヨリ東洋學藝社ト契約シ毎月講演ノ論說及記事等ハ同社ノ雜誌ニ掲載スルコト、ス(後五年ニシテ之ヲ解ク)
- 同 三十九年 ○六月 勅令第四百四十九號帝國學士院規程發布○七月 會則ヲ改正ス○役員ノ選舉ヲ行ヒ院長加藤弘之、幹事重野安釋、第一部々長穗積陳重、第二部々長男爵菊池大麓當選就任ス○和算史調査ノ件ヲ議決シ同年ヨリ着手ス○十二月會則ヲ改正ス○萬國學士院聯合會ニ加入ス
- 明治四十年 ○四月 會員重野安釋同男爵菊池大麓埃國「キエナ」ニ於ケル第三回萬國學士院聯合會へ委員トシテ參列被仰付○七月 出版ニ關スル決議及學術研究費補助ニ關スル決議ヲ議定ス○十一月 會則ヲ追加ス○出版ニ關スル決議ヲ修正ス
- 十二月 帝國學士院紀事出版ニ關スル第二部決議ヲ議定ス
- 同 四十一年 ○六月 伊能忠敬測地事蹟ヲ調査スルコトヲ決議シ同年八月着手
- 同 四十二年 ○一月 燃黎室記述調査ノ件ヲ決議シ同年ヨリ着手ス○羅馬法ニ關スル書籍ノ翻譯出版ノ件ヲ決議ス○三月 前年着手シタル假名遣及假名字體沿革

史料ノ出版成ル○四月 哲學字彙刊行ノ件ヲ議決ス○六月 會員中島力造本院代表者トシテ「ライプチヒ」大學創立五百年祝賀式ニ參列ノ件ヲ議決ス○役員ノ改選ヲ行ヒ院長男爵菊池大麓、幹事宮崎道三郎、第一部々長穂積陳重、第二部々長古市公威當選七月就任ス

同 四十三年 ○四月 會員櫻井錠二ヲ伊國「ローマ」ニ於ケル第四回萬國學士院聯合大會へ本院代表者トシテ參列ノ件ヲ議決ス○五月 會員三浦謹之助へ本院代表者トシテ「ベルリン」大學創立百年祝賀式ニ參列ヲ委囑ス○七月 左ノ御沙汰書ヲ拜受ス

帝國學士院

其院ノ目的ヲ遂行スル爲普ク學術ノ研究ヲ獎勵スル旨趣ヲ以テ授賞ノ制ヲ定メントスルノ計畫之候趣被

聞食特ニ賞典資トシテ本年ヨリ十箇年々金貳千圓下賜候事

明治四十三年七月五日

宮 内 省

○十月 本院授賞規則ヲ定ム

同 四十四年 ○二月 恩賜賞ニ關スル決議ヲ議定ス(四月追加議決) ○三月 法律第三十

八號帝國學士院學術獎勵金特別會計法發布○勅令第六十九號帝國學士院學術獎勵金特別會計規則發布○五月 恩賜賞々牌及同賞記ニ菊花御紋章附着ノ儀ヲ允許セラル○六月 會員大森房吉へ本院代表者トシテ獨逸「ブレスラウ」大學創立百年祝賀式ニ參列ヲ委囑ス○七月 初メテ授賞式ヲ行フ(受賞者等別項ニ記ス以下同シ) ○十月 男爵三井八郎右衛門及男爵岩崎久彌寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(寄附金第一號) ○十一月 出版ニ關スル決議ヲ修正ス○寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議(第二號) ○十二月 紀事出版ニ關スル第二部決議ヲ廢シ更ニ紀事及別冊ノ出版ニ關スル決議ヲ議定ス

明治四十五年(二一九) ○五月 第二回授賞式舉行○寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議(第一號) ○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長男爵菊池大麓、幹事宮崎道三郎、第一部々長穂積陳重、第二部々長古市公威當選七月就任ス○十月 工學博士藥學博士高峰讓吉寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第三號) ○十二月 男爵住友吉左衛門寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第四號)

大正二年 ○四月 會員坪井正五郎ヲ露國聖彼得堡得ニ於ケル第五回萬國學士院聯合大會へ本院代表者トシテ參列ノ件ヲ議決ス○五月 本年度學術研究費補助ノ件ヲ議決ス(以下毎年ノ議決ヲ省略シ)○七月 第三回授賞式舉行幹事宮崎道三郎辭任ニ付補缺選舉ヲ行ヒ櫻井錠二當選同月就任ス○十二月 男爵古河虎之助寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第五號)

同 三年 ○三月 萬國學士院聯合會評議員改選ニ付院長男爵菊池大麓、第一部々長穗積陳重ヲ評議員ニ選定ス○七月 第四回授賞式舉行○十一月 著者名ノ書方ニ關スル件ヲ議決ス○十二月 勅令第二百五十八號ヲ以テ帝國學士院會員ハ勅任官ヲ以テ待遇セラルヘキ旨公布セララル

同 四年 ○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長男爵菊池大麓、幹事櫻井錠二、第一部々長穗積陳重、第二部々長古市公威當選七月就任ス○法律第十二號帝國學士院學術獎勵金特別會計法ヲ廢止シ學術研究獎勵ノ爲ニ要スル金額ハ之ヲ院長ニ經理ヲ委任スルコトヲ得ヘキ旨公布(施行期大正五年四月一日)○七月 第五回授賞式舉行○十月 男爵藤田平太郎寄附申出ニ係ル學術研究獎勵金並ニ羅馬法學書出版費受領ノ件ヲ議決ス

(第六號) ○十一月 御即位奉賀ノ爲賀表ヲ捧呈ス○院長男爵菊池大麓本院會員總代幹事櫻井錠二御即位ノ大禮式ニ參列ス○十二月 東照宮三百年祭記念會ヨリ學術研究資金補助ヲ要スヘキモノ、推薦方ノ依頼アリ之カ受諾ヲ議決ス(以下毎年推薦ノ事項ハ別項ニ讓ル)

大正五年 ○四月 會則及授賞規則ヲ修正ス○六月 三井合名會社社長男爵三井八郎右衛門寄附申出ノ出版費受領ノ件ヲ議決ス(第七號)○山下龜三郎寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第八號)○七月 第六回授賞式舉行○十月 立太子式奉賀ノ爲賀表ヲ捧呈ス

同 六年 ○二月 故桂公爵記念事業會總代男爵澁澤榮一寄附申出ノ桂學術獎勵基金受領ノ件ヲ議決ス(第十號)○藤田男爵獎學費給與ニ關スル決議ヲ議定ス○六月 「伊能忠敬」ノ編纂ヲ終ヘ出版ス○七月 第七回授賞式舉行○十月 院長男爵菊池大麓薨去ニ因ル補缺選舉ヲ行ヒ男爵穗積陳重當選同月就任ス○故男爵菊池大麓ノ擔當セシ和算史ノ調査ヲ藤澤利喜太郎ヘ委囑スルコトヲ議決ス○十一月 第一部々長穗積陳重院長ニ就任ニ因ル補缺選舉ヲ行ヒ井上哲次郎當選同四月就任ス○大

正六年度羅馬法學獎學費（藤田男爵獎學費）給與ノ件ヲ議決ス（以下毎年同事項省略ス）

同 七年 ○四月 子爵夫人末松生子寄附申出ノ羅馬法獎勵資金受領ノ件ヲ議決ス

（第十號）○「ロンドン」ニ於ケル聯合諸國「サイエンティフィック・アカデミー」代表者會議ニ本院代表者トシテ會員櫻井錠二並ニ田中館愛橋參列ノ件ヲ議決ス○五月

月 第八回授賞式舉行續イテ會員及受賞者一同ニ午餐下賜ノ御沙汰アリ爾來年々

此ノ恩命ニ浴ス○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長男爵穂積陳重、幹事櫻井錠二、第

一部々長井上哲次郎、第二部々長古市公威當選七月就任ス○七月 子爵夫人末松

生子寄附羅馬法獎勵資金ノ使途ニ關スル決議ヲ議定ス○十月 大正七年度採鑛冶

金學及關係學科獎學費（藤田男爵獎學費）給與ノ件ヲ議決ス○大正七年度子爵夫

人末松生子羅馬法獎學品贈與ノ件ヲ議決ス（以上二項以下毎年ノ議決ヲ省略ス）○會則ヲ修正ス

大正八年 ○三月 寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議及學術研究費補助ニ關スル決

議ヲ修正ス○五月 皇太子殿下御成年式奉賀ノ爲 天皇陛下並ニ皇太子殿下ニ賀

表捧呈ス○萬國學術研究會議第一回總會ニ本院代表者トシテ會員田中館愛橋參列

ノ件ヲ議決ス○第九回授賞式舉行○六月 學術研究會議設立ニ關スル建議書ヲ內

閣總理大臣並ニ文部大臣ニ提出ス○「パリ」ニ於ケル學士院聯合會ノ組織變更ニ關

スル會議ニ本院代表者トシテ會員高楠順次郎並ニ小野塚喜平次參列ノ件ヲ議決ス

同 九年 ○一月 次ノ御沙汰書ヲ拜受ス

帝國學士院  
其院去ル明治四十三年授賞ノ制定ニ際シ賞典資トシテ十ヶ年間年々貳千圓  
下賜ノ處成績顯著ニ付大正九年度以降引續十ヶ年間年々下賜候事  
大正九年一月七日 宮 內 省

帝國學士院  
其院學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜候事  
大正九年一月七日 宮 內 省

○一月 組織變更後ノ第一回學士院聯合會々議ニ本院代表者トシテ會員服部宇之  
吉並ニ織田萬參列ノ件ヲ議定ス○二月 帝室制度ノ歴史的研究ヲ本院ノ事業トシ  
テ遂行スル件ヲ議決シ會員岡野敬次郎（主任）三上參次、美濃部達吉ヲ擔當委員



ニ選定シ後更ニ服部宇之吉ヲ追加選定ス○五月 第十回授賞式舉行○八月 曩ニ建議セル學術研究會議設立ノ件ハ政府ノ容ルル所トナリ勅令第二百九十七號ヲ以テ同會議ノ官制公布セラル○十一月 帝室制度ノ歴史的研究事業ヲ開始シ第一回協議會ヲ開ク○十二月 學術研究會議第一回總會ヲ文部省内ニ召集シ會長副會長ノ選舉ヲ行ヒ會長ニ古市公威、副會長ニ櫻井錠二當選ス仍テ院長穂積陳重ハ會長古市公威ニ對シ學術研究會議ニ關スル事務ノ引繼ヲ了ス

大正十年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○第二回學士院聯合會々議へ本院代表者トシテ會員岡松參太郎並ニ三上參次參列ノ件ヲ議決ス○五月 第十一回授賞式舉行○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長穂積陳重、幹事櫻井錠二、第一部々長井上哲次郎、第二部々長藤澤利喜太郎當選七月就任ス○九月 皇太子殿下海外ヨリ御歸還奉賀ノ爲賀表ヲ捧呈ス○十月 三井家總代男爵三井八郎右衛門及三菱合資會社社長男爵岩崎小彌太寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第一號及第二號)

同 十一年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○第三回學士院聯合會々議へ本院代表者トシテ會員井上哲次郎並ニ美濃部達吉參列ノ件ヲ議決ス○二月 白耳義學士院創立百五十年祝賀式へ本院代表者トシテ會員井上哲次郎 中村精男、平山信並ニ美濃部達吉參列ノ件ヲ議決ス○三月 我邦ト歐洲諸國トノ交通史料交換方ヲ學士院聯合會へ提出スヘキコトヲ議決ス○白耳義學士院創立百五十年式ニ贈呈スヘキ祝賀文ヲ議決ス○四月 松方公爵米壽祝賀會發起人總代法學博士男爵阪谷芳郎並ニ平山威信寄附申出ノ松方公爵米壽祝賀記念獎學資金受領ノ件ヲ議決ス(第十號)○松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ノ使途ニ關スル決議條項ヲ議決ス○五月 第十二回授賞式舉行○七月 財團法人原田積善會理事原田二郎寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第十號)○十月 男爵住友吉左門寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第四號)○十一月 來朝中ノ獨逸理學者「アインシュタイン」博士歡迎會ヲ植物園ニ於テ舉行シ歡迎ノ辭ヲ呈ス○十二月 第四回學士院聯合會々議並ニ第五回萬國史學會々議へ本院代表者トシテ會員上田萬年並ニ立作太郎參列ノ件ヲ議決ス

大正十二年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○高峯保全株式會社取締役鹽原又策寄附申出ノ學術研究ノ賞又ハ資ノ基金(第十號)  
 及三共株式會社取締役鹽原又策寄附申出ノ上記資金補充金受領ノ件ヲ議決ス(第十號)  
(第六號) ○二月 我邦ト歐洲諸國トノ交通史料調査事業ヲ開始ス○男爵古河虎之助寄  
 附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第五號) ○三月 寄附金ヲ以テスル賞ニ  
 關スル決議松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ニ關スル決議及學術研究費補助ニ關ス  
 ル決議ヲ修正ス○四月 會員細川潤次郎九十歲祝賀會ヲ催シ「十州細川先生九十  
 初度ヲ賀スルノ序」及肖像額面ヲ贈呈ス○松方公爵米壽祝賀會發起人總代平山成  
 信寄附申出ノ松方公爵米壽祝賀記念獎學資金利子ニ加フヘキ獎學金受領ノ件ヲ議  
 決ス(第十三號) ○山下亀三郎寄附申出ノ國際關係ノ學事費受領ノ件ヲ議決ス(第九號)  
(追加ノ一) ○五月 第十三回授賞式舉行○松方公爵米壽祝賀會殘務整理委員男爵阪谷芳郎寄  
 附申出ノ同祝賀記念獎學資金受領ノ件ヲ議決ス(第十三號) ○九月 大震火災ノ爲  
 本院會議室ノ一部ヲ日本赤十字社福島支部救護班ニ提共シ尙罹災者收容ニ充ツ○  
 十一月 大阪毎日新聞社社長本山彦一寄附申出ノ東宮御成婚記念學術研究獎勵金  
 受領ノ件ヲ議決ス(第十號) ○十二月 寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議ヲ修正ス○

大阪毎日新聞社々長本山彦一寄附東宮御成婚記念學術研究獎勵資金ノ使途ニ關ス  
 ル條項ヲ議決ス○第五回學士院聯合會々議へ本院代表者トシテ會員松本亦太郎並  
 ニ織田萬參列ノ件ヲ議決ス

同 十三年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル

○第五回學士院聯合會々議本院代表者織田萬ノ後任トシテ在白大使安達峰一郎ニ  
 參列委囑ノ件ヲ議決ス○一月 東宮殿下御慶事奉祝ノ爲賀表ヲ捧呈ス○五月 第  
 十四回授賞式舉行○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長男爵穂積陳重、幹事櫻井錠二、  
 第一部々長井上哲次郎、第二部々長佐藤三吉當選七月就任ス○十二月 米國人「メ  
 ンデンホール」寄附申出ノ學術獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第十號)  
 大正十四年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル

○第六回學士院聯合會々議へ本院代表者トシテ會員福田德三並ニ織田萬參列ノ件  
 及在白大使安達峰一郎ニ參列委囑ノ件ヲ議決ス○會員推選ニ關スル臨時手續ノ件  
 ヲ議決ス○歐文紀事出版ノ新計畫ニ關スル件ヲ議決ス○五月 各部ニ分科設置並  
 ニ其ノ定員ノ件ヲ議決ス○會員推選ニ關スル臨時手續法改正ノ件ヲ議決ス○小池

厚之助寄附申出ノ學術獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第十號)○勅令第二百號帝國學士院規程改正ノ件公布○會則ヲ改正ス○第十五回授賞式舉行○勅令第二百三十三號貴族院帝國學士院會員議員互選規則公布○七月 紀事及別冊出版ニ關スル決議ヲ修正ス○八月 閣令第五號ヲ以テ貴族院帝國學士院會員議員ノ互選投票用紙、投票用封筒及投票函ノ様式ニ關スル件公布○勅令第二百七十三號帝國學士院規程改正ノ件公布○九月 露國學士院創立二百年記念式へ本院代表者トシテ會員福田德三派遣ノ件及祝文贈呈ノ件ヲ議決ス○小池厚之助寄附學術獎勵金ノ使途ニ關スル條項ヲ議決ス○貴族院帝國學士院會員議員ノ第一回互選ヲ行ヒ第一部會員井上哲次郎、小野塚喜平次、第二部會員藤澤利喜太郎、田中館愛橋ノ四名當選、十月十日同議員ニ勅任セララル○十月 極東熱帶醫學會第六回總會海外參列者歡迎ノ爲午餐會ヲ開ク○院長男爵穂積陳重辭任ニ付キ同會員多年在職中ノ功勞ニ對シ感謝狀ヲ贈呈スヘキコトヲ議決ス○十一月 院長辭任ニ因ル補缺選舉ヲ行ヒ會員岡野敬次郎當選同月就任ス○十二月 第七回學士院聯合會々議へ本院代表者トシテ會員瀧精一派遣ノ件ヲ議決ス○學術研究費補助ニ關スル決議松方公爵米壽祝賀記念獎學

資金ニ關スル決議及大阪毎日新聞社々長本山彦一寄附東宮御成婚記念學術獎勵資金ノ使途ニ關スル決議ヲ修正ス○「サー・チャールズ・エリオット」ヲ客員ニ推舉ス大正十五年(一九二六)○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル昭和元年(一九一六)

○第七回學士院聯合會々議へ本院代表者トシテ會員在白安達峰一郎ヲ參列セシムヘキ件ヲ更ニ議決ス○二月 院長岡野敬次郎薨去ニ付キ補缺選舉ヲ行ヒ會員幹事櫻井錠二當選シ同月就任ス○岡野節寄附申出ノ學術獎勵金及追加寄附金受領ノ件ヲ議決ス(第二號)○三月 幹事ノ補缺選舉ヲ行ヒ姉崎正治當選同月就任ス○來朝中ノ佛國醫學士院幹事「シャルル・アシャル」博士並ニ「ソルボヌ」大學教授「フシエ」博士歡迎ノ爲晚餐會ヲ開ク○四月 小池厚之助追加寄附申出ノ學術獎勵金受領ノ件ヲ議決ス○五月 第十六回授賞式舉行○九月 新築會館落成シ之ニ移轉ス○十月 高松宮ヨリ有栖川宮記念獎學資金受領候補者選定方ノ御依頼アリ之カ受諾ヲ議決ス○小津清左衛門寄附申出ノ學術獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第二十號)○十一月第三回汎太平洋學術會議海外參會者歡迎ノ爲午餐會ヲ開キ一同新會館ヲ參觀ス○第一部々長井上哲次郎會員ヲ辭任ス○十二月 第一部々長ノ補缺選舉ヲ行ヒ

會員富井政章當選同月就任ス○第八回學士員聯合會々議へ本院代表者トシテ會員土方寧派遣ノ件及在白會員安達峰一郎參列ノ件ヲ議決ス○貴族院帝國學士院會員議員ノ補闕選舉ヲ行ヒ會員上田萬年當選同月二十一日同議員ニ勅任セラル

昭和二年 ○二月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○三月 「ルヴン」大學創立五百年記念式へ本院代表者トシテ會員土方寧參列ノ件及祝文贈呈ノ件ヲ議決ス○「ロード・リスター」誕生百年祭ニ祝電ヲ送ルヘキコトヲ議決ス○五月 第十七回授賞式舉行○學術研究會議ニ事務所ヲ貸與ス○六月 有栖川宮記念獎學資金受領候補者推薦ノ件ヲ議決ス(以下毎年ノ同事項ハ省之)○第十回萬國動物學會ニ本院代表者トシテ五島清太郎ニ出席ヲ委囑ス○役員ノ改選ヲ行ヒ院長櫻井錠二、幹事姉崎正治、第一部々長富井政章、第二部々長佐藤三吉當選七月就任ス○勅令第八十二號ヲ以テ規程中改正ノ公布○學術研究費補助ニ關スル決議ヲ修正ス○八月 西川虎吉ニ本院代表者トシテ「マルスラン・ベルトロー」百年祭ニ參列及祝文贈呈方ヲ委囑ス○十月 中澤つる寄附申出ノ學術研究獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第廿二號)○十二月 有栖川宮記念獎學資金受領候補者推薦ノ件ヲ議決ス

(以下毎年ノ同事項ハ省之)○第九回學士院聯合會々議ニ本院代表者トシテ會員安達峰一郎及吉田靜致參列ノ件ヲ議決ス

昭和三年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○學術研究獎勵金運用委員會設置ノ件及同委員會規則ヲ議定ス○四月 第十八回授賞式舉行○五月 コレヂ・ド・フランス教授「シルバン・レビ」ヲ客員ニ推薦ス○七月 古籍篇刊行會理事長子爵渡邊千冬寄附申出ノ學術獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第廿三號)○十一月 御即位ノ大禮奉賀ノ爲賀表ヲ捧呈ス○院長櫻井錠二、會員總代幹事姉崎正治御即位ノ大禮式ニ參列ス○十二月 獨逸物理學者「ゾンマーフェルト」博士歡迎ノ爲晚餐會ヲ開ク

同 四年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○第十回學士院聯合會々議ニ本院代表者トシテ會員安達峰一郎及山田三良參列ノ件ヲ議決ス○二月 「ニューヨーク」市學士院創立二十五年祝賀式ニ祝電贈呈ノ件ヲ議決ス○四月 「エチンバラ」大學總長「サー・アルファッド・イウイング」ヲ客員ニ推舉ス○第十九回授賞式舉行○五月 元古籍篇刊行會理事服部宇之吉寄附申出

ノ學術獎勵金受領ノ件ヲ議決ス(第廿三號追加)○六月 來朝中ノ米國「カーネギーインスティテュション」世界磁力觀測隊指揮者「オウルト」以下六名ノ學者歡迎ノ爲晚餐會ヲ催ス○十二月 本院創立五十年ニ相當スル趣 被開食會員ニ御陪食仰付ラル

同 五年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○第十一回學士院聯合會々議ニ本院代表者トシテ會員桑木嚴翼參列ノ件ヲ議決シ後會員立作太郎ニモ參列ヲ委囑ス(當時在巴里)○四月 「メンデンホール」寄附獎學金ノ使途ニ關スル條項ヲ議決ス○五月 來朝中ノ佛國醫學士院「ジヨルジ・デュマ」博士歡迎ノ爲晚餐會ヲ催ス○第二十回授賞式舉行○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長櫻井錠二、幹事姉崎正治、第一部々長富井政章、第二部々長佐藤三吉當選七月就任ス○藤田男爵獎學費給與ニ關スル決議ヲ修正ス○八月 一般會計中帝國學士院費支出委任トナリ同時ニ院長ニ經理委任ノ學術研究獎勵金ノ出納事務移管トナル○十月 院長職務規程ヲ改正ス○十二月 左ノ御沙汰書ヲ拜受ス

帝國學士院

其院賞典ノ資トシテ尙本年以降引續キ十ヶ年間年々金貳千圓下賜候事

昭和五年十二月六日

宮 内 省

昭和六年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○第十二回學士院聯合會々議ニ本院代表者トシテ會員安達峰一郎ヲ出席セシムヘキコトヲ議定シ後(月)更ニ會員松波仁一郎ヲ代表者トシテ派遣スヘキコトヲ議定ス○三菱合資會社ヨリ從來ニ引續キ學術研究獎勵金壹萬圓寄附ノ申出アリ之ヲ受領スヘキコトヲ議定ス(第二號)○二月 三井合名會社々長男爵三井八郎右衛門ヨリ

從來ニ引續キ學術研究獎勵金壹萬圓寄附ノ申出アリ之ヲ受領スヘキコトヲ議定ス(第一號)○會員和田英松ヲ帝室制度ノ歴史的研究擔當委員ニ選定ス○四月 「マックスウエル」誕生百年祭、「フアラデー」電磁氣發見百年記念祝賀會及「ブリテイシユ・アソシエーション」百年記念會ニ本院代表者トシテ會員長岡半太郎ヲ參列セシムヘキコトヲ議定ス○五月 勅令第八十四號ヲ以テ帝國學士院規程(第十條)改正ノ件公布セラル○第二十一回授賞式ヲ舉行ス○六月 「ウイン」大學名譽教授「ウィン」學士院會員「ハンヌ・モリシ」ヲ客員ニ推舉ス○三井信託株式會社取締役社長米

山梅吉ヨリ寄附申出ノ學術研究及發表助成資金受領ノ件ヲ議決ス(第廿四號)○七月  
 男爵住友吉左衛門ヨリ從來ニ引續キ學術研究獎勵金壹萬圓寄附ノ申出アリ之ヲ受  
 領スヘキコトヲ議定ス○十一月 佛國法律學者「カピタン」教授歡迎午餐會ヲ催ス  
 ○十二月 第十三回學士院聯合會々議並ニ「アムステルダム」大學創立三百年記念  
 祭ニ會員新村出ヲ代表トシテ參列セシムヘキコトヲ議定シ後會員織田萬ニモ參列  
 ヲ乞フヘキコトヲ議定ス

昭和七年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル

○三月 鈴木三郎助ヨリ學術研究獎勵金トシテ有價證券額面金參拾萬圓寄附ノ申  
 出アリ之ヲ受領スヘキコトヲ議定ス(第廿五號)○四月 「アムステルダム」大學ニ贈呈  
 スヘキ祝文ヲ議決ス○五月 第二十二回授賞式舉行○九月 貴族院帝國學士院會  
 員議員ノ選舉ヲ行ヒ第一部會員三上參次、小野塚喜平次、第二部會員田中館愛  
 橋、藤澤利喜太郎當選十月十日同議員ニ勅任セララル○十一月 露國北氷洋學術探  
 險隊長「シュミット」博士以下一行ノ主ナル學者數名及駐日「ソウヰエト」大使等ヲ  
 例會晚餐會ニ招待ス○十二月 和算史調査事業ハ一先ツ終結ス

同 八年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル

○三月 東京帝國大學助教宇野圓空ニ本院代表ヲ委囑シ第十四回學士院聯合會  
 々議ニ參列セシムヘキコトヲ議決ス○五月 第二十三回授賞式舉行○六月 伯爵  
 鹿島晃久後見人侯爵筑波藤麿ヨリ學術研究獎勵金拾萬圓寄附ノ申出アリ之ヲ受領  
 スヘキコトヲ議定ス(第廿六號)○役員ノ改選ヲ行ヒ院長櫻井錠二、幹事姉崎正治、第  
 一部々長富井政章、第二部々長佐藤三吉當選七月就任ス○十一月 佛國上院議員  
 元文部大臣「アンドレ・オノラ」博士、巴里大學教授「ド・ラ・モランヂェール」博士  
 招待晚餐會ヲ催ス

同 九年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル

○會員立作太郎及安達峰一郎ヲ代表者トシテ第十五回學士院聯合會々議ヘ參列セ  
 シムヘキコトヲ議決ス○二月 貴族院帝國學士院會員議員藤澤利喜太郎薨去ニ付  
 補闕選舉ヲ行ヒ長岡半太郎當選同月十九日勅任セララル○五月 第二十四回授賞式  
 舉行○七月 末延財團ヘ推薦スヘキ學術研究費補助事項ヲ議決ス○十二月 會員  
 姉崎正治ヲ第十六回學士院聯合會々議ヘ代表者トシテ參列セシムヘキコトヲ議決  
 ス

昭和十年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○五月 第二十五回授賞式舉行○幹事姉崎正治辭任ニ因ル補缺選舉ヲ行ヒ加藤正治當選同月就任ス○「ヴィクトル・ユーゴー」五十年祭ニ本院代表者トシテ會員姉崎正治ヲ參列セシムヘキコトヲ議決ス○十月 第一部々長富井政章薨去ニ因ル補缺選舉ヲ行ヒ小野塚喜平次當選同月就任ス

同 十一年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○會員立作太郎ヲ第十七回學士院聯合會々議ヘ本院代表者トシテ參列セシムヘキコトヲ議決ス○日伊交換教授ニ關聯シ「ローマ」學士院ヘ「メッセージ」贈呈ノ件ヲ議決ス○服部玄三寄附申出ノ學術研究及其ノ發表助成資金ヲ受領スヘキコトヲ議決ス(第七號)○二月 「ハーヴァド」大學創立三百年祭ニ會員姉崎正治ヲ又「ウトレヒト」大學創立三百年祭ニ會員立作太郎ヲ本院代表者トシテ參列セシムヘキコト及祝文贈呈ノ件ヲ議決ス○日伊交換教授トシテ來朝ノ「ローマ」學士院會員「セヴェリ」教授歡迎晚餐會ヲ催ス○四月 「オスロー」ニ於テ開催ノ國際數學會議ニ本院代表者トシテ會員藤原松三郎ニ參列ヲ委囑スヘキコトヲ議決ス○六月 第二十

六回授賞式舉行○皆既日食觀測ノ爲來朝中ノ「トリニチ」大學客員「アストン」博士歡迎晚餐會ヲ催ス○役員ノ改選ヲ行ヒ院長ニ櫻井錠二、幹事ニ加藤正治、第一部々長ニ小野塚喜平次、第二部々長ニ佐藤三吉當選七月就任ス○十月 「ブラジル」學士院長ヨリノ「メッセージ」ヲ同院會員「ルシヤノ・ジャック・デ・モラエス」齋セルニ由リ櫻井院長ヨリ之ニ答禮ス○十二月 日伊交換教授トシテ來朝ノ伊國王立學士院會員「トゥッチ」博士歡迎晚餐會ヲ催ス

同 十二年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○會員桑木嚴翼ヲ第十八回學士院聯合會々議ヘ本院代表者トシテ參列セシムヘキコトヲ議決ス○二月 近藤記念海事財團ヘ推薦スヘキ學術研究費補助事項ヲ議決ス○三月 「ゲッチンゲン」大學創立二百年記念祭ニ會員桑木嚴翼ヲ代表者トシテ參列セシメ併セテ祝文ヲ贈呈スヘキコトヲ議決ス○五月 來朝中ノ「コーペンハーゲン」大學教授「ボーア」博士ニ歡迎ノ辭ヲ贈呈スヘキコトヲ議決ス○會員三宅秀ニ「賀烟波三宅先生九十初度之序」ヲ贈呈スヘキコトヲ議決ス○第二十七回授賞式舉行○十月 日獨交換教授トシテ來朝ノ「シユブランガー」博士歡迎晚餐會ヲ催

ス○十二月 日伊交換教授トシテ渡伊スヘキ石本巳四雄ニ託シ伊國王立學士院ヘ「メッセージ」ヲ贈呈ス○會員織田萬ヲ第十九回學士院聯合會々議ヘ本院代表者トシテ派遣スヘキコトヲ議決ス

昭和十三年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル

○二月 帝國學士院史資料ヲ調査蒐集スベキコトヲ議決ス○三月 會員三宅秀ニ「賀烟波三宅先生九十初度之序」ヲ贈呈ス○五月 第二十八回授賞式舉行○十一月 會員姉崎正治ヲ第二十回學士院聯合會々議ヘ本院代表者トシテ派遣スヘキコトヲ議決ス○十二月 日獨交換教授トシテ來朝ノ「ミュンヘン」大學教授「ケルロイテ」博士歓迎晚餐會ヲ催ス○北畠親房及其ノ子孫ノ事蹟調査ハ一先ツ打切トス

同 十四年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル

○學術研究費補助ニ關スル決議ヲ修正ス○三月 院長ノ補缺選舉ヲ行ヒ長岡半太郎當選シ同月就任ス○五月 田中耕太郎ニ託シ日伯文化協會及日亞文化協會ヘ「メッセージ」ヲ贈呈ス○日伊交換教授トシテ來朝ノ伊國王立學士院副院長「ローマ」大學教授「カロール・フォルミツキ」博士同學士院長ノ「メッセージ」ヲ齎ラシ駐日

伊國大使ト共ニ來訪アリシニヨリ長岡院長ヨリ答辭ヲ贈呈ス○第二十九回授賞式舉行○六月 役員ノ改選ヲ行ヒ院長ニ長岡半太郎、幹事ニ加藤正治、第一部々長ニ小野塚喜平次、第二部々長ニ佐藤三吉當選ト月就任ス○七月 貴族院帝國學士院會員議員三上參次薨去ニ付補闕選舉ヲ行ヒ會員姉崎正治當選同月二十二日同議員ニ勅任セララル○九月 貴族院帝國學士院會員議員ノ選舉ヲ行ヒ第一部會員小野塚喜平次、姉崎正治、第二部會員田中館愛橋、長岡半太郎當選十月十日同議員ニ勅任セララル○十一月 第二部々長佐藤三吉辭任ス、社團法人萬年會理事吉川祐輝ヨリ學術研究獎勵金有價證券額面貳萬五百圓寄附ノ申出アリ之ヲ受領スルコトヲ議定ス(第卅二號)

昭和十五年 ○一月 左ノ御沙汰書ヲ拜ス

帝國學士院

其院賞典ノ資トシテ尙本年以降引續キ十ヶ年間年々金貳千圓下賜候事

昭和十五年一月十六日

宮 内 省

○學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セララル

○第二部々長佐藤三吉辭任ニ付補闕選舉ヲ行ヒ田中館愛橋當選シ同月就任ス第一



生命保險相互會社取締役會長矢野恒太五十年記念事業トシテ社長石坂泰三ヨリ本邦生命保險關係金拾萬圓寄附申出アリ之ヲ受領スヘキコトヲ議定ス(第卅一號)○四月伯國文學院前院長「クラウディオ・デ・ゾウザ」博士客年本院ヨリ田中耕太郎ニ託シ贈呈セル「メッセージ」ニ對スル答禮トシテ同院ヨリ「メッセージ」ヲ齎シ來訪アリシニヨリ長岡院長ヨリ答禮ス○五月 第三十回授賞式舉行○八月 東亞諸民族調査ヲ開始ス○十二月 日本科學史ノ編纂出版及宸翰英華ノ編纂出版ヲ紀元二千六百年奉祝會ヨリ本院事業トシテ委囑サル

同 十六年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○五月 第三十一回授賞式舉行○七月 邦文紀事編纂ノタメ出版委員會ヲ開催ス

○五月 第三十二回授賞式舉行○十一月 貴族院帝國學士院會員議員小野塚喜平

次辭任ニ付補闕選舉ヲ行ヒ會員山田三郎當選十二月十五日同議員ニ勅任セラル

○十二月 第一部々長小野塚喜平次辭任ニ付補闕選舉ヲ行ヒ織田萬當選シ同月就任ス

昭和十九年 ○一月 學術賞典ノ資トシテ金五千圓下賜セラル

○學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○三月東亞諸民族調査事業終了ス

同 十六年 ○九月 邦文紀事編纂主任トシテ姉崎正治ヲ推薦ス

同 十七年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル

○一月 邦文紀事第一卷第一號出版サル○五月 第三十二回授賞式舉行○六月

役員ノ改選ヲ行ヒ院長ニ長岡半太郎、幹事ニ加藤正治、第一部々長ニ小野塚喜平次、第二部々長ニ田中館愛橋當選七月就任ス

同 十八年 ○一月 學術研究ノ資トシテ金壹萬圓下賜セラル○二月 野村信託株式會社ヨリ學術研究獎勵金五千圓寄附ノ申出アリ之ヲ受領スヘキ事ヲ議定ス(第卅四號)

## 第二 帝國學士院規程

勅令第四百十九號(明治三十九年六月十二日)同(大正十四年五月改正)同(昭和二年六月改正)同(昭和十二年十二月改正)

### 帝國學士院規程

第一條 帝國學士院ハ文部大臣ノ管理ニ屬シ學術ノ發達ヲ圖リ教化ヲ裨補スルヲ以

テ目的トス

第二條 帝國學士院會員ハ帝國學士院ニ於テ碩學中ヨリ推選シ勅旨ヲ以テ之ヲ命ス  
第三條 外國人ニシテ帝國ニ於ケル學術ノ發達ニ關シ特別ノ功勞アル者ハ帝國學士院ニ於テ之ヲ客員ト爲スコトヲ得

第四條 帝國學士院ハ左ノ二部ニ分チ會員ハ各專攻ノ學科ニ依リテ之ニ分屬ス

第一部 文學及社會的諸學科

第二部 理學及其ノ應用諸學科

第五條 帝國學士院會員ノ定員ハ百人トス

第六條 帝國學士院ハ會議ヲ開キ學術及教化ニ關スル事項ヲ審議ス會議ハ總會及部會トス

第七條 帝國學士院會員ハ專攻ノ學科ニ付論文ヲ提出シ又ハ報告ヲ爲スモノトス

第八條 帝國學士院ハ學術ニ關スル論文、考案、資料等ヲ蒐集スルコトヲ得

第九條 帝國學士院ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ外國ニ於ケル學術上ノ團體ト共同シテ研究ヲ爲シ又ハ其ノ會員トナルコトヲ得

第十條 文部大臣ハ學術及教化ニ關スル事項ニ付帝國學士院ニ諮詢スルコトヲ得

第十一條 帝國學士院ハ少クトモ毎年一回院務ニ關スル報告書ヲ文部大臣ニ提出ス  
ヘシ

第十二條 帝國學士院ニ院長一人、幹事一人及部長二人ヲ置ク

院長及幹事ハ總會ニ於テ部長ハ部會ニ於テ會員中ヨリ之ヲ互選ス院長幹事及部長ノ任期ハ三年トス

第十三條 院長ハ院務ヲ總理シ總會ニ於テ其ノ議長ト爲ル

院長事故アルトキハ幹事其ノ職務ヲ代理シ院長及幹事共ニ事故アルトキハ院長ノ指名シタル會員其ノ職務ヲ代理ス

幹事ハ院長ノ指揮ヲ承ケ院務ヲ掌理ス

部長ハ院長ノ指揮ヲ承ケ部務ヲ掌理シ部會ニ於テ其ノ議長ト爲ル

第十四條 院長幹事及部長ニハ手當ヲ支給スルコトヲ得

第十五條 滿六十歳以上ノ會員ニハ特ニ年金ヲ給スルコトヲ得

第十六條 帝國學士院ニ主事ヲ置ク文部大臣ノ奏請ニ依リ文部部内ノ高等官中ヨリ

內閣ニ於テ之ヲ命ス

主事ハ院長幹事及部長ノ指揮ヲ受ケ庶務ヲ整理ス

第十六條ノ二 帝國學士院ニ書記專任二人ヲ置ク判任トス

書記ハ上司ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第十七條 學術上ノ調査ノ爲會員中ニ於テ擔當者ヲ定メタルトキハ手當ヲ支給スル

コトヲ得

第十八條 帝國學士院ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ會則ヲ定ムルコトヲ得

附 則

第十九條 東京學士會院規程及東京學士會院規程補則ハ之ヲ廢ス

第二十條 本令施行ノ際東京學士會院會員及客員タル者ハ本令ノ規定ニ依リ帝國學士院會員及客員タル者ト

ス

第二十一條 東京學士會院規程第五條ニ依リテ年金ヲ受クル者ハ本令施行ノ後仍同額ノ年金ヲ受ク

第二十二條 本令ノ規程ニ依リ帝國學士院長ノ就任スルニ至ル迄ハ元東京學士會院會長ニ於テ幹事及部長ノ

就任スルニ至ル迄ハ元東京學士會幹事ニ於テ其ノ職務ヲ行フヘシ

(參照)

勅令第二百六十四號(明治二十三年十月二十五日官報)

東京學士會院規程

第一條 東京學士會院ハ學藝ノ品位ヲ高クシ以テ教化ノ裨補ヲ謀ランカ爲ニ設クル所ニシテ文部大臣ノ管

轄ニ屬ス

第二條 東京學士會院ハ書德碩學ノ中ヨリ選出セラレタル會員ヲ以テ組織ス其ノ選出ノ方法及人員左ノ如

シ

一 帝室ノ特選ニ依ル會員十五名

一 會員ノ推選ニ依ル會員二十五名

會員ノ推選ニ依ルモノハ文部大臣ノ認可ヲ經ルヲ要ス

會員ハ終身トス

第三條 東京學士會院會員ハ各自專攻ノ學科ニ就キ論說ヲ述ヘ又學藝及教化ニ關スル事項ニ就キ報告スル

モノトス

第四條 東京學士會院ハ學藝及教化ニ關スル事項ニ就キ文部大臣ヨリ諮問アルトキハ審議復申スルモノト

ス又會員各自意見アルトキハ會院ニ於テ審議シ文部大臣ニ開陳スルコトヲ得

第五條 東京學士會院會員滿六十歲以上ノ者十名以内ヲ限リ特ニ各年金三百圓賜フコトアルヘシ

第六條 東京學士會院ニ會長一人幹事二人ヲ置ク

會長幹事ハ會員ノ互選ヲ以テ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム其任期ハ各一年トス但再選セララルコトヲ

得

第七條 會長ハ文部大臣ノ監督ヲ受ケ院務ヲ統理シ議事アルトキハ議長ノ任ニ當ルモノトス會長事故アル

帝國學士院規程(參照)

帝國學士院規程抄錄

トキハ幹事ノ内一人ヲ指定シテ其任務ヲ代理セシム  
幹事ハ會長ノ補佐シテ院務ヲ掌理ス

第八條 削除(二十六年勅令第五十九號ヲ以テ削除)

第九條 東京學士會院ニ書記二人ヲ置キ文部屬ヲ以テ之ニ兼補ス書記ハ會長幹事ニ屬シテ庶務ニ従事ス

第十條 東京學士會院ハ文部大臣ノ許可ヲ得テ會則ヲ設クルコトヲ得

勅令第十七號 (明治二十八年三月八日官報)

東京學士會院規程補則

外國ノ者德碩學ニシテ特ニ帝國ニ對シ功勞アル者ハ會員ノ推選ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ客員トナスコトヲ得

勅令第二百號 (大正十四年五月二十一日官報)

(參照)

明治三十九年公

六月十三日 勅令第四百四十九號帝國學士院規程抄錄

第五條 帝國學士院會員ノ定員ハ六十人トス

勅令第二百七十三號 (大正十四年九月二日官報)

(參照)

明治三十九年公

六月十三日 勅令第四百四十九號帝國學士院規程抄錄

第十三條 第二項

院長事故アルトキハ幹事其ノ職務ヲ代理ス

勅令第八十二號 (昭和二年六月十六日官報)

(參照)

明治三十九年公

六月十三日 勅令第四百四十九號帝國學士院規程抄錄

第十二條 第一項及第二項

帝國學士院ニ院長一人、幹事一人及部長二人ヲ置ク

院長及幹事ハ總會ニ於テ、部長ハ部會ニ於テ會員中ヨリ之ヲ互選シ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

勅令第八十四號 (昭和六年五月十一日官報)

(參照)

明治三十九年

六月十三日 勅令第四百四十九號帝國學士院規程抄錄

第十六條 帝國學士院ニ書記四人ヲ置キ文部省所屬ノ判任官ヲ以テ之ニ充ツ

書記ハ院長幹事及部長ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス書記ニハ手當ヲ給スルコトヲ得

勅令第七百四十三號 (昭和十二年十二月廿七日官報)

帝國學士院規程中左ノ通改正ス

第十六條ノ二 第一項中「書記專任二人」ヲ「書記專任三人」ニ改ム

帝國學士院規程(參照)

勅令第七百四十九號（昭和十七年十一月一日官報）

帝國學士院規程中左ノ通告正ス

第十六條ノ二 第一項中「書記專任三人」ヲ「書記專任二人」ニ改ム

第三 帝國學士院會則

明治三十九年七月一日	議決	同月四日	文部大臣認可
同三十九年七月三日	議決	同月九日	文部大臣認可
同三十九年七月五日	議決	同月廿一日	文部大臣認可
同四十年十一月廿三日	追加議決	同月廿九日	文部大臣認可
同四十年十二月廿三日	議決	同月廿九日	文部大臣認可
同四十二年三月廿三日	議決	同月廿九日	文部大臣認可
同四十二年五月廿三日	修正議決	同月廿九日	文部大臣認可
同四十四年五月廿三日	修正議決	同月廿九日	文部大臣認可

第一條 帝國學士院會員ノ定員ハ各部五十人トス

各部ニ分科ヲ設クルコトヲ得

分科ノ種類及其ノ定員ハ各部ニ於テ之ヲ定メ總會ノ承認ヲ經ヘシ

第二條 會員ヲ推選セントスルトキハ當該部會ニ於テ投票ヲ以テ先ツ候補者ヲ豫選

シ其ノ最多數ヲ得タル者三人ヲ以テ候補者トス

候補者ニ缺員ヲ生シタル場合ニ於テハ補缺豫選ヲ行フ

候補者ニ付キ當該部會ニ於テ決選投票ヲ行ヒ外國ニ在リテ投票ヲ爲ササル者ヲ除

キタル部會員三分ノ二以上ノ多數ヲ得タル者ヲ當選者トシテ總會ノ認可ヲ經テ之ヲ會員ニ推選ス

前項ノ多數ヲ得タル者ナキトキハ更ニ決選投票ヲ行ヒ尙ホ當選者ヲ得ルコト能ハサル場合ニ於テハ候補者ノ改選ヲ行フ

第三條 候補者ノ豫選及會員ノ推選ハ少クトモ三週間以前院長ヨリ之ヲ會員ニ通知ス

第四條 客員ヲ推舉セントスル者ハ當該部會員五人以上ノ賛成ヲ得テ部會ニ發議スルコトヲ得

客員ノ選定ニ關シテハ第二條第三項及第三條ノ規定ヲ準用ス

第五條 院長幹事及部長ノ選舉ハ最多數ノ投票ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス  
院長幹事及部長ハ六月ニ之ヲ選舉シ七月ニ至リ就任ス但シ六月ニ選舉ヲ行フコト能ハサルトキハ遞次ヲ繰延フルコトヲ得此場合ニ於テハ後任者ノ就任スルニ至ル迄仍前任者ニ於テ其ノ職務ヲ取扱フ後任者ノ任期ハ其ノ就任ノ時期ニ拘ラス七月ヨリ之ヲ起算ス

第六條 投票ハ總テ無記名トス

病氣其ノ他ノ事故ニ依リ出席スルコト能ハサル者ハ封書ヲ以テ投票スルコトヲ得  
第七條 第二條第一項及第五條第一項ノ場合ニ於テ投票同數ナルトキハ年長者ヲ以テ當選者トス

第八條 總會ハ院長部會ハ部長之ヲ招集ス

通常總會ハ毎月一回之ヲ開ク但シ八九兩月ハ開會セス

院長ノ見込ニ依リ又ハ會員五人以上ノ請求アルトキハ臨時總會ヲ開クコトヲ得

第九條 總會及部會ハ在東京會員ノ三分一以上ニ相當スル出席員アルニアラザレハ議決ヲ爲スコトヲ得ス

議決ハ出席員ノ過半數ニ依ル

第十條 總會及部會ノ議長ハ議決ノ數ニ加ハラズ但シ可同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第十一條 帝國學士院規程第七條ノ論文ノ提出及報告ハ總會又ハ部會ニ於テ之ヲ爲スヘシ

帝國學士院會員ニ非サル者ノ論文又ハ報告ハ會員之ヲ紹介シテ總會又ハ部會ニ提出スルコトヲ得

論文及報告ハ之ヲ印刷シテ學者學會學校等ニ配付スルコトアルヘシ

論文及報告ノ會議ハ傍聽ヲ許スコトアルヘシ

第十二條 總會又ハ部會ノ議決ニ依リ講演ヲ公開スルコトアルヘシ

第十三條 部會ハ總會ノ認可ヲ經テ部則ヲ定ムルコトヲ得

第十四條 部會ノ開會及議決ハ部長ヨリ之ヲ院長ニ報告スヘシ

第十五條 院長ハ毎年一回總會ニ於テ前一年間ノ院務ノ要項ヲ會員ニ報告スヘシ

部長ハ毎年一回前一年間ノ部務ノ要項ヲ院長ニ報告スヘシ

第十六條 部長事故アルトキハ會員ノ一人ニ其ノ職務ヲ委託スルコトヲ得

附 則

第十七條 各部ニ於ケル會員ノ數四十五人ニ充ツルマテハ第二條及第三條ノ規定ニ依ラス總會ニ於テ會員ニ推選スヘキ者ヲ選定ス

(附)會則第九條第一項ニ關スル決議 (大正元年十月十二日總會議決)

帝國學士院會則第九條第一項ハ總會又ハ部會ヲ開キ諸般ノ報告ヲ受ケ及學術上ノ論文ノ提出アルヲ妨ケス

會則第十一條第二項ニ關スル決議 (大正五年三月十二日總會議決)

會則第十一條第二項ノ場合ニ於テハ本人ヲシテ論文又ハ報告ノ説明ヲ爲サシムルコトヲ得

(參照)

東京學士會院會則 (明治二十三年十一月九日議決同月二十六日文部大臣認可)

第一條 會長幹事ノ選舉並ニ會員ノ推選ハ投票ヲ以テス投票同數ナレハ年長者ヲ探ル

第二條 會長幹事ハ毎年十二月ニ於テ改選シ翌年一月ヨリ就職スルモノトス

第三條 會長幹事ハ發案討論ヲ爲スコト總テ會員ニ同シ

會長幹事議長ノ任ニ當ルトキハ可否ノ數ニ加ハラズ但可否同數ノ場合ニ於テハ議長之ヲ決ス

第四條 會長幹事ノ選舉並ニ會員ノ推選ハ在京會員ノ投票ヲ以テス但缺席者モ之ヲ加ヘルモノトス

第五條 會員ノ推選ハ先ツ在京會員ニテ投票シ其ノ投票數多數ノ三名ヲ取ツテ再ヒ投票シ最多數ヲ得タル

者一人ヲ以テ當選者ト定ム但最多數ト雖投票數五點以下ナルトキハ之ヲ棄却シ更ニ改選ヲ爲ス

第六條 會員中右三名共ニ不適任ト認ムルカ若クハ其ノ學力人物等ヲ聞知セサルトキハ投票ヲ辭スル事ヲ

得

第七條 投票ヲ辭シタル會員ノ數在京會員ノ三分ノ一以上ニ登ルトキハ選舉ヲ行ハス更ニ改選ヲ爲ス

第八條 當選者會員タルコトヲ辭スル者アルトキハ更ニ改選ヲ爲ス

第九條 議事ノ可否ヲ決スルハ多數ニ依ル但在京會員二分ノ一以上出席セサルトキハ可否ヲ決セス

第十條 會日ニハ講筵ヲ開キ公衆ノ參聽ヲ許スコトアルヘシ

第十一條 毎年一月ノ會日ニ於テ前會長前年ノ部務ノ要項ヲ報告ス

第十二條 會員ノ座順變換ハ年二期(一月、七月)トシ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但新任者ハ該一期間末座トス

第十三條 通常毎月(八、九兩月ヲ除ク)第二日曜日ヲ以テ會日ト定ム但事宜ニモリ會日ヲ變更シ或ハ臨

時會ヲ開クコトアルヘシ

第十四條 演述ノ筆記並ニ院務ノ要項等ハ時々之ヲ刊行シテ會員ニ頒チ併セテ世ニ公ニス

第四 帝國學士院長職務規程

第一條 院長ハ會員若クハ職員ニ年金若クハ手當給與ヲ必要ナリト認メタルトキハ

其ノ旨文部大臣ニ具申スヘシ

第二條 院長ハ書記ノ進退ニ關シ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第三條 院長ハ文部大臣ノ許可ヲ經テ囑託員ヲ置クコトヲ得

第四條 左記事項ハ院長之ヲ專行スヘシ但シ第二號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報

告スヘシ

第一 會員及職員ノ内國各地出張ニ關スルコト

第二 囑託員ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト

帝國學士院長職務規程

- 第三 俸給月額八拾五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト
- 第四 經費中ノ目ヲ流用スルコト
- 第五 前各號ノ外輕易ナル事項
- 第五條 前條ニ掲ケタル事項ノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

### 第五 帝國學士院授賞規則

明治四十三年十月十二日議決  
 同大正五年三月十二日修正議決  
 同大正四年十一月十二日修正議決  
 同昭和二年六月十二日修正議決  
 同昭和二年七月九日修正議決

- 第一條 帝國學士院ハ學術ノ研究ヲ獎勵スル爲本則ノ定ムル所ニ依リ賞ヲ授ク
- 第二條 賞ハ特定ノ論文著書其ノ他特種ノ研究ニシテ其ノ成績卓絶ナルモノニ對シテ之ヲ授ク
- 第三條 賞ハ賞牌又ハ賞金トス但シ賞牌及賞金ハ併セテ之ヲ授クルコトヲ得
- 賞牌ノ制式ハ別ニ之ヲ定ム
- 第四條 賞ハ帝國學士院會員ニ非サル者ニ之ヲ授ク

- 第五條 賞ヲ授クルハ推薦又ハ募集ニ依ル
- 第六條 帝國學士院會員授賞ノ推薦ヲ爲サムトスルトキハ毎年十月其ノ所屬ノ部會ニ其ノ提議ヲ爲スヘシ但シ十月部會ヲ開カサルトキハ遞次繰延フルコトヲ得
- 前項ノ提議ニハ當該部會員三人以上ノ賛成アルコトヲ要ス
- 第七條 部會ニ於テ論文等ヲ審査ニ付スヘキモノト議決シタルトキハ審査委員ヲ定ムヘシ
- 部會ニ於テ必要ト認ムルトキハ他ノ部ニ屬スル會員ニ審査委員ヲ囑託スルコトヲ得
- 第八條 審査委員ノ議決ハ多數決ニ依ル但シ審査委員ハ部會ニ於テ各其ノ意見ヲ述フルコトヲ妨ケス
- 第九條 審査委員ハ書面ヲ以テ審査ノ經過及結果ヲ部會ニ報告スヘシ
- 第十條 部會ニ於ケル擬賞ノ議決ニハ投票總數三分ノ二以上ノ賛成アルコトヲ要ス
- 第十一條 前條ノ規定ニ依リ擬賞ノ議決アリタルトキハ部長ハ審査報告書其ノ他擬賞ニ關スル一切ノ事項ヲ總會ニ提出シ其ノ議決ヲ經ヘシ



第十二條 擬賞ノ議決ヲ爲スニハ部長又ハ院長ニ於テ少クトモ三週間以前會議ノ目的ヲ會員ニ通知スヘシ

第十三條 擬賞ノ議決ニ付テハ投票ハ總テ無記名トス

病氣其ノ他ノ事故ニ因リ出席スルコト能ハサル者ハ封書ヲ以テ投票スルコトヲ得

第十四條 論文ヲ募集スル場合ニ於テハ其ノ都度部會ニ於テ募集ニ關スル事項ヲ定メ總會ノ議決ヲ經ヘシ

總會ノ議決アリタルトキハ帝國學士院募集ノ條件ヲ公示ス

第十五條 論文ノ募集了リタルトキハ部會ニ於テ審査委員ヲ定ムヘシ

第十六條 第七條第二項及第八條乃至第十三條ノ規定ハ論文募集ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 賞ヲ受ケタル者ハ受賞ノ目的タル論文又ハ著書ニ其ノ旨ヲ表示スルコトヲ得

第十八條 賞ヲ授クヘキ者授賞推薦ノ提議アリタル後又ハ論文ノ募集ニ應シタル後死亡シタル場合ニ於テハ帝國學士院ハ授賞ノ旨ヲ公示シ且其ノ者ニ授クヘキ賞ノ

處分ヲ定ム

## 第六 帝國學士院學術研究獎勵金委任經理ニ關スル

法律 (大正四年五月法律十三號)

帝國學士院ニ於テ學術研究獎勵ノ爲ニ要スル金額ハ之ヲ帝國學士院長ニ交付シ經理ヲ委任スルコトヲ得委任經理ニ係ル會計ノ検査ハ會計検査院法第十六條ノ規定ニ依ル

附 則

本法ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

帝國學士院學術獎勵金特別會計法ニ依リ帝國學士院長ニ經理ヲ委任セラレタル金額ノ支出殘額ハ本法ニ依リ經理ヲ委任セラレタルモノト看做ス

## 第七 貴族院帝國學士院會員議員互選規則

勅令第二百三十三號 (大正十四年六月十九日官報)

國學學士院學術研究獎勵金委任經理ニ關スル法律

貴族院帝國學士院會員議員互選規則

第一條 貴族院令第五條ノ二ノ規定ニ依ル選舉ハ帝國學士院規程ニ定メタル各部ニ於テ各二人ヲ互選スルモノトス

第二條 貴族院令第五條ノ二ノ規定ニ依ル互選資格ヲ有スル者ハ選舉ノ期日ノ三十日前ヨリ其ノ日迄引續キ帝國學士院會員タル者タルヘシ

第三條 選舉ニ關スル事項ハ内閣總理大臣之ヲ管理ス

第四條 選舉ハ九月二十日東京ニ於テ之ヲ行フ

第五條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

第六條 帝國學士院長ハ選舉管理者ト爲リ選舉ニ關スル事務ヲ擔任ス

第七條 帝國學士院長ハ選舉會場及投票ノ時間ヲ定メ選舉ノ期日ヨリ少クトモ二十日前ニ官報ヲ以テ之ヲ公示シ且各互選人ニ其ノ通知書ヲ發スヘシ

第八條 互選人ハ選舉會場ニ於テ選舉管理者ノ交付シタル投票用紙ニ其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數以下ノ被選舉人ノ氏命ヲ自ラ記載シテ投函スヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

第九條 互選人東京府ノ外ニ居住スルニ依リ又ハ公務若クハ疾病傷痍ニ因リ選舉ノ當日選舉會場ニ到ルコト能ハサルトキハ郵便ニ依リ投票ヲ爲スコトヲ得

第十條 前條ノ規定ニ依リ投票ヲ爲サムトスル者ハ選舉ノ期日ヨリ少クトモ十日前ニ選舉管理者ニ理由ヲ具ヘテ其ノ旨ノ届出ヲ爲スヘシ但シ正當ノ理由ニ因リ當該期間内ニ届出ヲ爲スコトヲ得サル場合ニ於テハ選舉ノ期日ノ前日迄ニ届出ヲ爲スコトヲ得

前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ選舉管理者ハ直ニ投票用紙及投票用封筒ヲ當該互選人ニ送付スヘシ

第十一條 前條ノ規定ニ依ル送付ヲ受ケタル互選人ハ投票用紙ニ其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數以下ノ被選舉人ノ氏名ヲ自ラ記載シ之ヲ投票用封筒ニ入レ封緘シ更ニ之ヲ他ノ封筒ニ入レ封緘シ其ノ表面ニ署名捺印シ且投票在中ノ旨ヲ明記シ投票ノ時間ノ終了スル時迄ニ到達スル様書留郵便ヲ以テ選舉管理者ニ之ヲ送付スヘシ

投票用紙及投票用封筒ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

第十二條 選舉管理者ハ前三條ノ規定ニ依ル郵便投票ヲ受領シタルトキハ選舉會場ニ於テ投票ノ時間内ニ互選人ノ面前ニ於テ外部ノ封筒ヲ開披シテ投票用封筒ヲ投函スヘシ

第十三條 天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ帝國學士院長ハ選舉ノ期日、選舉會場及投票ノ時間ヲ定メ選舉ノ期日ヨリ少クトモ二十日前ニ官報ヲ以テ之ヲ告示シ且各互選人ニ其ノ通知書ヲ發シ更ニ投票ヲ行ハシムヘシ

第十四條 投票終ルノ後選舉管理者ハ互選人ノ面前ニ於テ投票ヲ點檢スヘシ此ノ場合ニ於テ投票用封筒ニ入レタル投票アルトキハ其ノ封筒ヲ開披シタル上總テノ投票ヲ混同シタル後點檢スヘシ

第十五條 投票ノ拒否及效力ハ選舉管理者之ヲ決定ス

第十六條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ

二 互選人ニ非サル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三 一投票中其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ超過スル被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ

四 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ官位、職業、身分、住居又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニアラス

五 被選舉人ノ氏命ヲ自書セサルモノ

六 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ

七 貴族院帝國學士院會員議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

前項第七號ノ規程ハ第二十四條又ハ第二十五條ノ規定ニ依ル選舉ノ場合ニ限り之ヲ適用ス

第一號、第二號、第六號又ハ第七號ニ該當スル投票ハ連記投票ノ場合ニ於テハ其ノ該當ノ部分ノミヲ無効トス

第十七條 有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス但シ其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ以テ總被選舉人ノ得票總數ヲ除シテ得タル數ノ四分ノ一以上ノ得票ヲ

ルコトヲ要ス

當選人ヲ定ムルニ當リ得票數同シキトキハ年齡多キ者ヲ取り年齡モ亦同シキトキハ選舉會場ニ於テ選舉管理者互選人ノ面前ニテ抽籤シテ之ヲ定ム

第十八條 第十四條ノ規定ニ依ル點檢ノ結果ハ其ノ場ニ於テ之ヲ告知スヘシ尙當選人其ノ場ニ在ラサルトキハ直ニ當選ノ旨ヲ本人ニ告知スヘシ

條十九條 貴族院令第九條ノ規定ニ依ル選舉ニ關スル爭訟ノ結果更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選人ヲ定メ得ル場合ニ於テハ選舉管理者之ヲ定ムヘシ

當選人當選ヲ辭シタルトキ、死亡者ナルトキ又ハ其ノ他ノ理由ニ因リ當選人闕クルニ至リタルトキハ當選管理者ハ直ニ第十七條第一項但書ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者ノ中ニ就キ當選人ヲ定ムヘシ

第二項ノ場合ニ於テ選舉管理者ハ直ニ當選人ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ

第二十條 當選人當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヤヲ選舉管理者ニ届出ツヘシ

當選人當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ前項ノ届出ヲ爲ササルトキハ其

ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第二十一條 當選人當選ヲ承諾シタルトキハ帝國學士院長ハ當選人ノ氏名ヲ内閣總理大臣ニ報告スヘシ

第二十二條 選舉管理者ハ選舉錄ヲ作り選舉ニ關スル顛末ヲ記載シ署名シ且其ノ寫ヲ内閣總理大臣ニ送付スヘシ

當選人議員ニ勅任セラレタルトキハ内閣總理大臣ハ選舉錄ノ寫ヲ貴族院議長ニ送付スヘシ

第二十三條 投票ハ有效無效ヲ區別シ郵便投票ニ用ヒタル封筒選舉錄其ノ他ノ關係書類ト共ニ議員ノ任期間帝國學士院ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第二十四條 當選人ナキトキ若クハ當選人其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルトキ又ハ當選人ナキニ至リ若クハ當選人其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルニ至リタル場合ニ於テ第十九條ノ規定ニ依リ當選人ヲ定ムルコトヲ得サルトキハ帝國學士院長ハ選舉ノ期日、選舉會場及投票ノ時間ヲ定メ選舉ノ期日ヨリ少クトモ二十日前ニ官報ヲ以テ之ヲ告示シ且各互選人ニ其ノ通知書ヲ發シ更ニ選舉ヲ行

ハシムヘシ

第二十五條 議員ニ闕員ヲ生シタルトキハ貴族院議長ヨリ其ノ旨ヲ上奏シ勅旨ヲ以テ補闕選舉ヲ行フヘキコトヲ命シ及其ノ期日ヲ指定スヘシ

第二十六條 前二條ノ選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第二十七條 補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間存在ス

第二十八條 貴族院令第九條ノ規定ニ依リ貴族院ニ出訴スルノ期限ハ議院開會ノ後十日以内トス但シ開院中議員ニ勅任セラレタル場合ニ於テハ其ノ後十日以内ヲ以テ出訴期限トス

前項ノ期限ニ滿タスシテ議院閉會セラレ出訴スルコト能ハサルトキハ尙次ノ會期ノ開會後十日以内ニ出訴スルコトヲ得

附 則

本令ハ貴族院令第五條ノ二ノ規定ノ施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

明治二十二年二月十日勅令第十一號貴族院令抄錄

第五條ノ二 滿三十歳以上ノ男子ニシテ帝國學士院會員タル者ノ中ヨリ四人ヲ互選シ其ノ選ニ當リ勅任セラレタル者ハ其ノ會員タルノ間七箇年ノ任期ヲ以テ議員タルヘシ其ノ選舉ニ關スル規則ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條 貴族院ハ其ノ議員ノ資格及選舉ニ關スル爭訟ヲ判決ス其ノ判決ニ關スル規則ハ貴族院ニ於テ之ヲ議定シ上奏シテ裁可ヲ請フヘシ

### 第八 貴族院帝國學士院會員議員ノ互選ニ用フル投票用紙、投票用封筒及投票函ノ様式ニ關スル閣令

閣令第五號 (大正十四年八月二十一日官報)

貴族院帝國學士院會員議員ノ投票ニ用フル投票用紙票、投票用封筒及投票函ノ様式ハ帝國學士院長之ヲ定メ内閣總理大臣ノ認可ヲ受クヘシ

### 第九 帝國學士院學術研究獎勵金運用委員會規則

(昭和三年一月十二日總會議決)

貴族院帝國學士院會員議員ノ互選ニ用フル投票用紙投票用封筒及投票函ノ様式ニ關スル閣令

第一條 本院ニ學術研究獎勵運用委員會ヲ置ク

運用委員會ハ院長ノ監督ニ屬シ學術研究獎勵金ノ運用ニ關スル事項ヲ審議ス

第二條 運用委員會ハ委員長一人委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

委員長ハ本院幹事ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ本院會員中ヨリ院長之ヲ囑託ス

院長必要アリト認ムルトキハ文部省會計課長又ハ他ノ文部省高等官ニ委員ヲ囑託スルコトヲ得

第三條 運用委員會ハ委員長臨時之ヲ招集ス

第四條 院長ハ學術研究獎勵金ノ運用方法ヲ運用委員會ニ諮問スヘシ

學術研究獎勵金ノ運用ハ左ノ方法ニ據ル

- 一 國債ノ應募又ハ買入
  - 二 運用委員會ノ適當ト認ムル地方債、社債又ハ産業債券ノ應募又ハ買入
  - 三 大藏省預金部ニ預入レ又ハ運用委員會ノ適當ト認ムル銀行若クハ信託會社ニ定期預金若クハ金錢信託ト爲スコト
- 學術研究獎勵金ハ一時ノ必要アル場合ニ限り之ヲ運用委員會ノ適當ト認ムル銀行ニ特別當座預金ト爲ス

コトヲ得

第五條 運用委員會ハ毎年度學術研究獎勵金運用報告書ヲ院長ニ提出シ院長ハ之ヲ總會ニ報告スヘシ

### 第十 恩賜賞ニ關スル決議

(明治四十四年二月十二日總會議決) 同年四月十二日總會議定

一 皇室ノ御下賜金ヲ以テスル賞ハ之ヲ恩賜賞ト稱スルコト

二 恩賜賞ノ數ハ毎年第一部第二部各一個トシ場合ニ依リ二個ニ等分スルコトヲ得  
若シ其ノ年度内ニ授與シ了ラサルモノアルトキハ之ヲ遞次繰越シ授與スルモ差支ナキコト

三 恩賜賞ハ賞牌ニ賞記及賞金ヲ添ヘテ之ヲ授クルコト

### 第十一 寄附金ヲ以テスル賞ニ關スル決議

(明治四十四年十一月十二日總會修正議決  
同四十五年五月十二日總會修正議決  
同十二年三月十二日總會修正議決  
同十二月十二日總會修正議決)  
大正八年四月十二日總會修正議決

- 一 男爵三井八郎右衛門ヨリノ寄附金ヲ以テセル賞ハ第二部ニ於テ毎年其ノ數ヲ一個トシ男爵岩崎久彌ヨリノ寄附金ヲ以テセル賞ハ第一部第二部各隔年ニ一個トス但シ場合ニ依リテハ部ニ於テ之ヲ分チ二個以上ノ賞トスルコトヲ妨ケス  
大阪毎日新聞社々長本山彦一寄附東宮御成婚記念學術獎勵資金ノ内ヲ以テセルハ之ヲ「大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念賞」ト稱シ其ノ數ハ各部ヲ通シテ毎年四個トス  
受賞者ナキトキハ之ニ對スル賞金ハ遞次翌年度ニ繰越シテ之ヲ授與スルコトヲ得ハ賞牌ニ賞記及賞金ヲ添ヘテ之ヲ授ク
- 二 寄附ノ條件ニ依リ寄附金ヨリ生スル利殖金ヲ賞又ハ研究費補助トシテ使用スルコトヲ得ル場合ニ於テ之ヲ賞トスルトキハ其ノ數及所屬ハ總會ニ於テ之ヲ定ム  
前項ノ賞ニシテ記念ノ趣旨ヲ表明スルコトヲ要スル場合ニハ之ヲ某記念賞ト稱シ

賞金ニ賞記ヲ添ヘテ之ヲ授ク

- 三 二人以上共同ノ事業ニ對シテハ賞記ニ其ノ旨ヲ記シ各自ニ之ヲ授ク但シ賞金ハ分割セサルコトアルヘシ

### 第十二 條件附寄附金ニ關スル決議 (大正五年一月十二日總會修正議決)

學術研究ノ獎勵ヲ目的トスル寄附金ノ使途ニ關シテハ總會又ハ部會ハ必要ナル審査及決議ヲ爲スヘシ

### 第十三 藤田男爵獎學費給與ニ關スル決議

(大正六年二月十二日總會修正議決  
昭和五年六月總會修正議決)

- 一 男爵藤田平太郎寄附ノ獎學費ハ其ノ指定セラレタル用途ノ範圍ニ於テ有望ナル研究者ニ之ヲ與フ
- 二 獎學費ヲ受クヘキ者ノ選定ハ部會ノ決議ニ依ル部會ノ決議ハ部長之ヲ總會ニ報

條件附寄附金ニ關スル決議  
藤田男爵獎學費給與ニ關スル決議

告ス

- 三 獎學費ヲ受クヘキ者ノ數ハ各部ニ於テ毎年之ヲ定ム
- 獎學費ハ一人一箇年金三百圓以内トス但シ更ニ其ノ支給ヲ繼續スルコトヲ得
- 四 獎學費ヲ受ケタル者ノ氏名ハ寄附者ニ之ヲ報告ス

#### 第十四 末松子爵夫人寄附羅馬法獎勵資金ノ使途ニ關

スル決議

(大正七年七月十二日第一部々會議決  
同十年十一月十二日第一部々會議決)

- 一 子爵夫人末松生子寄附羅馬法獎勵資金ハ其ノ利殖金ノ一部ヲ以テ羅馬法律書籍ヲ購入シ獎學品トシテ各官公私立大學中羅馬法ヲ教授セル各大學院又ハ法科大學在學中ノ學生ニ與フルモノトス但シ適當ト認ムル他ノ學生ニ與フルコトアルヘシ尙ホ場合ニ依リ相當ノ圖書館ヲ選定シ之ニ寄贈スルコトヲ得
- 利殖金ノ他ノ一部分ハ之ヲ積立テ羅馬法律書籍ノ出版費トシテ使用スヘキモノトス

- 二 獎學品ヲ受クヘキ者及書籍ヲ寄贈スヘキ圖書館ノ選定ハ第一部部長ノ詮考ニ依ル但シ詮考事項ハ之ヲ部會及總會ニ報告スヘシ
- 獎學品ヲ受クヘキ者及書籍ヲ寄贈スヘキ圖書館ノ數並ニ出版費トシテ積立テ置クヘキ金額ハ相當ノ範圍ニ於テ毎年之ヲ定ム
- 三 獎學品ヲ受ケタル者ノ氏名及書籍ヲ寄贈シタル圖書館ノ名ハ之ヲ寄附者ニ報告スヘシ

#### 第十五 松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ニ關スル決議

(大正十一年四月十二日總會會議決  
同十二年五月十二日總會修正議決)

- 一 松方公爵米壽祝賀會寄附ノ獎學資金ハ寄附ノ條件ニ從ヒ元金ハ永ク保存シテ之ヲ利殖シ其ノ利子ヲ獎學費ニ充ツ
- 二 獎學費ハ主トシテ財政經濟農業及漢學ニ關スル學科ノ研究費、褒賞費、講義費、學生費、出版費等ニ充テ其ノ他本院ニ於テ適當ト認ムル事業費ニ之ヲ使用ス
- 三 獎學費使途ノ事項ニハ「松方記念」ノ稱ヲ冠ス



五 獎學費ヲ以テ施行シタル事項ハ毎年之ヲ松方公爵家ニ報告ス

### 第十六 大阪毎日新聞社々長本山彦一寄附東宮御成婚

#### 記念學術獎勵資金ノ使途ニ關スル決議

(大正十二年十二月總會議決)

- 一 大阪毎日新聞社々長本山彦一寄附東宮御成婚記念學術獎勵資金ノ内ヲ以テセル  
學術研究資金ニハ「大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念」ノ稱ヲ冠シ該  
資金使途ノ事項ニハ之ニ依リタル旨ヲ表明スルコト
- 二 研究資金ヲ受クヘキ者ノ選定ハ部會ノ議ヲ經テ總會ニ於テ之ヲ決定ス
- 三 研究資金ヲ受ケタル者ノ氏名及研究事項ハ毎年之ヲ大阪毎日新聞東京日日新聞  
兩社ニ報告ス

### 第十七 小池厚之助寄附獎學資金ノ使途ニ關スル決議

(大正十四年九月十九日臨時總會議決)

- 一 小池厚之助寄附獎學資金ハ寄附ノ條件ニ從ヒ其ノ總額ヲ基金トシテ永久ニ保存  
利殖シ其ノ利子ヲ研究費補助ニ充ツ
- 二 基金ヨリ生スル利子ノ中毎年度金參千圓ヲ控除シ特別補助資金トシテ之ヲ積立  
利殖シ殘餘ノ利子ノ一半ハ醫學ノ研究費補助ニ充テ他ノ一半ハ一般研究費補助ニ  
充ツ
- 三 特別補助資金及其ノ利殖金ハ特別重要事項ノ研究ニシテ特ニ多額ノ補助金ヲ要  
スルモノニ對シ十分ナル補助ヲ爲サムトスルトキニ限り之ヲ使用ス
- 四 研究費補助ヲ受クヘキ者ノ選定ハ本院總會ノ學術研究費補助ニ關スル決議ニ依  
リ之ヲ爲ス
- 五 研究費補助ヲ受ケタル者ノ氏名ハ其ノ研究事項ト共ニ毎年之ヲ小池家ニ報告ス

### 第十八 メンデンホール寄附獎學資金ノ使途ニ關

#### スル決議 (昭和五年四月總會議決)

一、米國人故「トーマス・メンデンホール」ノ遺言ニ依リ本邦理學及教育ノ明治初年

メンデンホール寄附獎學資金ノ使途ニ關スル決議

- ニ於ケル發達ト故人トノ關係ヲ記念センカ爲ニ寄附セル獎學資金ノ元金ハ永久ニ保存シテ之ヲ利殖シ其ノ利子ヲ獎學費ニ充ツ
- 二 獎學費ハ大正十四年以降五箇年毎ニ其ノ期間ニ於テ物理學又ハ天文學上顯著ナル貢獻ヲナシタル日本人ヲ褒賞スルカ爲ニ使用ス
- 賞ハ金牌ニ賞記及賞金ヲ添ヘテ之ヲ授ク
- 三 前記期間ニ於テ賞ノ適當ナル目的物ナキトキニ限り利殖金ハ之ヲ物理學又ハ天文學上ノ學術研究費補助、講演、出版等ノ費用ニ充ツルコトヲ得
- 此ノ場合ニ於ケル獎學費ノ使途ハ第二部々會ノ決議ニ依ル部會ノ決議ハ部長之ヲ總會ニ報告ス
- 四 獎學費使途ノ事項ニハ「メンデンホール記念」ノ稱ヲ冠ス

### 第十九 學術研究費補助ニ關スル決議

明治四十年七月十二日	總會
大正八年三月十二日	總會修正議決
同十二年三月十二日	總會修正議決
同十五年一月十二日	總會修正議決
昭和二年六月十二日	總會修正議決

一 會員ニシテ學術研究費ノ補助ヲ要スルコトアルトキハ研究ノ目的ヲ明記シ之ニ要スル概算費目ヲ十一月末日マデニ部長ニ申出ツヘシ

會員ニ非サル者ニ對スル學術研究費ノ補助ハ會員又ハ官立私立大學ノ總長若クハ學長ノ推薦ニ依ル

前項ノ推薦ハ院長ニ宛テ毎年十一月末日迄ニ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

二 決議一ノ申出及推薦ハ研究事項ノ關スル部ニ於テ之ヲ審査スル爲毎年一月ノ部會ニ於テ部長其ノ部ニ屬スル審査委員若干名ヲ指名ス（一月部會ヲ開カサルモ部長ハ審査委員ヲ指名ス）

部長ハ審査委員會ヲ召集シ其ノ議長ト爲ル審査委員會ノ決議ハ一月末日マテニ部長之ヲ院長ニ報告スヘシ

三 學術研究補助案ハ部長ノ報告ニ基キ役員會議ニ於テ之ヲ定メ二月ノ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ受クヘシ但シ緊急ノ場合ニ於テハ院長ハ決議一及二ノ手續ニ依ラス部長ノ申請ニ因リ役員會議ニ於テ決定シ次回ノ總會ニ於テ之ヲ報告スヘシ

四 學術研究費ノ補助ヲ受ケタル者ハ研究結了後直ニ其ノ成績ヲ報告スヘシ

研究數年ニ涉ル場合ニ於テハ毎年十二月末日マテニ研究進行ノ狀況ヲ記載セル報  
告書ヲ部長ニ提出スヘシ

五 補助ヲ受ケタル研究ノ成績報告書ニハ本院ヨリ研究費ノ補助ヲ受ケタル旨ヲ明  
記スルコトヲ要ス

### 第二十 高松宮へ推薦スヘキ有栖川宮記念學術獎勵 資金受領候補者選定ニ關スル決議

(昭和三年一月十二日總會議決)

本院ヨリ高松宮ニ推薦スヘキ有栖川宮記念學術研究獎勵資金受領候補者ノ選定ニ關  
シテハ授賞ノ場合ニハ本院授賞規則ヲ學術研究補助費ノ場合ニハ本院學術研究費補  
助ニ關スル決議ヲ準用ス

但シ受賞事項又ハ研究費補助事項ノ提出時期ハ左ノ通りトス  
一 受賞事項ノ提出期ハ毎年二月又ハ時宜ニ依リ三月トス

二 學術研究費補助事項ノ提出期ハ本院會員ヨリスルモノハ毎年四月末日及十月末  
日迄ノ二回トシ官公私立大學總長又ハ學長ヨリスルモノハ毎年十月末日迄トス

### 第二十一 學術研究費補助推薦ニ關スル決議

(大正五年一月二十五日總會議決)

學術研究ノ獎勵ヲ目的トスル事業ニ關シ推薦ノ依頼ヲ承諾シタルトキハ總會又ハ部  
會ハ委員ヲ選出シ必要ナル審査ヲ爲サシメ其ノ結果ニ依リ決議ヲ爲スヘシ

### 第二十二 出版ニ關スル決議

(明治四十年七月十二日總會議決  
同 年十一月十二日總會修正議決  
同 四十四年十一月十二日總會修正議決)

一 毎年一回年報ヲ刊行シテ報告ヲ登載スヘシ  
二 帝國學士院規程第七條第八條及帝國學士院會則第十一條第二項第十二條ニ依ル  
論文報告講演等ハ帝國學士院紀事又ハ別冊トシテ刊行スルコトヲ得

- 三 圖書又ハ論文ヲ編纂校訂翻譯若クハ謄寫セシメ又ハ之ヲ出版スルコトヲ得
- 四 第二項ニ掲ケタル論文報告及講演ヲ帝國學士院紀事又ハ別冊以外ニ掲載セントスルトキハ院長ノ許可ヲ經ルコトヲ要ス

### 第二十三 帝國學士院紀事別冊ニ關スル決議

(明治四十年十二月十二日 總會議決  
同四十四年十二月十二日 總會修正議決  
大正十四年七月十二日 總會修正議決)

- 一 帝國學士院紀事ハ集會ノ錄事及會員ノ提出セル論文報告書等ヲ登載ス
- 二 長編ノ論文報告書等ハ別冊トシテ臨時刊行シ其ノ概要ヲ紀事ニ登載ス
- 三 會員ニ非サル者ノ論文報告書等ニシテ會員ノ紹介ニ依リ提出セラレタルトキハ之ヲ紀事又ハ別冊ニ掲クルコトアルヘシ
- 四 既ニ他ニ出版セル論文報告書等ハ之ヲ紀事又ハ別冊ニ登記セス  
但シ其ノ概要ヲ抄録スルハ此限ニアラス

五 出版委員若干名ヲ置キ出版ニ關スル事務ヲ委任ス

出版委員ハ論文報告書等ノ取捨節略ニ關シ疑アルトキハ之ヲ總會又ハ部會ニ提出スルコトヲ得

六 出版委員ハ部ニ於テ之ヲ選出シ幹事ヲ以テ委員長トス  
部選出委員ノ數ハ各部之ヲ定メ其ノ任期ヲ三箇年トス

### 第二十四 學術研究獎勵金

#### 一 御下賜金

##### 皇室御下賜金ノ一

皇室ヨリ學術研究御獎勵ノ思召ヲ以テ明治四十三年以降十箇年間年々金貳千圓ヲ下賜セラレ引續キ大正九年以降十箇年間年々金貳千圓、昭和五年以降十箇年間年々金貳千圓、昭和十五年以降十箇年間年々金貳千圓ヲ下賜セラレタルモノニシテ  
賞典資ニ充ツ

皇室御下賜金ノ二

皇室ヨリ學術研究御獎勵ノ思召ヲ以テ大正九年一月以降年々金壹萬圓ヲ下賜セラ  
ルルモノニシテ學術研究ノ資ニ充ツ

一 寄附金

(一) 男爵三井八郎右衛門寄附金

男爵三井八郎右衛門ヨリ明治四十四年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬  
圓、大正十年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓、更ニ三井合名會社々  
長ヨリ昭和六年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓、昭和十六年以降十  
箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ第二部ニ屬スル賞典  
費ニ充ツ

(二) 三菱合資會社寄附金

三菱合資會社々長男爵岩崎久彌ヨリ明治四十四年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、  
合計金壹萬圓、同會社々長男爵岩崎小彌太ヨリ大正十年以降十箇年間毎年金壹千

圓ツ、合計金壹萬圓、更ニ三菱合資會社ヨリ昭和六年以降十箇年間毎年金壹千圓  
ツ、合計金壹萬圓、昭和十六年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄  
附セルモノニシテ賞典費ニ充ツ

(三) 工學博士藥學博士高峰讓吉寄附金

大正元年工學博士藥學博士高峰讓吉ヨリ金五千圓ヲ寄附シ其ノ使用方法ハ本院ニ  
一任セルモノニシテ元金ハ之ヲ保存シ之ヨリ生スル利殖金ヲ一般學術研究費補助  
ニ充ツ

(四) 男爵住友吉左衛門寄附金

男爵住友吉左衛門ヨリ大正元年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓、大  
正十一年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓、昭和七年以降十箇年間每  
年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓昭和七年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬  
圓ヲ寄附シ其ノ使用方法ハ本院ニ一任セルモノニシテ之ヲ一般學術研究費補助ニ  
充ツ

(五) 男爵古河虎之助寄附金

男爵古河虎之助ヨリ大正二年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓、更ニ大正十二年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附シ其ノ使用方法ハ本院ニ一任セルモノニシテ之ヲ一般學術研究費補助ニ充ツ

(六) 男爵藤田平太郎寄附金

男爵藤田平太郎ヨリ大正四年金貳萬貳千圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件ニヨリ金貳千圓ヲ羅馬法學書出版費補助トシテ之ヲ使用シ金壹萬圓ヲ羅馬法學獎勵資金トシ金壹萬圓ヲ採鑛冶金學及關係學科獎學資金トシ各獎學資金ヨリ生スル利殖金ヲ東京帝國大學及京都帝國大學ノ大學院又ハ分科大學在學中ノ學生ノ獎學費ニ充ツ

(七) 三井合名會社寄附金

大正五年三井合名會社々長男爵三井八郎右衛門ヨリ左ノ出版費トシテ金參千圓ヲ寄附セルモノナリ

金壹千圓 大日本數學史ノ増補出版費

金貳千圓 伊能忠敬測地事蹟調查事項出版費

(八) 山下龜三郎寄附金ノ一

山下龜三郎ヨリ大正五年以降十箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ船舶航海其他之ニ關スル學術研究ノ資ニ充ツ

但シ右金額ノ納付方法ハ使途ノ狀況ニ依リ隨時之ヲ變更スルコトヲ得

(九) 山下龜三郎寄附金ノ二

山下龜三郎ヨリ大正十二年以降毎年金壹千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ國際關係ノ學事費ニ之ヲ使用ス

(一〇) 山下龜三郎寄附金ノ三

昭和十六年以降五箇年間毎年金貳千圓ツ、合計金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ國際關係ノ學事費、出版費、研究費補助及其ノ他本院ニ於テ適當ト認メタル事業費ニ之ヲ使用ス

(一一) 故桂公爵記念事業寄附金

故桂公爵記念事業會總代男爵澁澤榮一ヨリ大正六年學術研究獎勵ノ爲金貳萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

寄附金ハ桂學術獎勵基金トシテ保存シ之ヨリ生スル利殖金ノ全部又ハ一部ヲ

- 一 學術研究ニ依リ社會ニ多大ノ貢獻ヲ爲シタリト認メラル、者ニ賞トシテ與フルカ又ハ
- 二 學術研究費補助トシテ之ヲ使用シ
- 三 孰レモ桂學術獎勵基金ニ據リタルコトヲ表明スルコト但シ場合ニ依リ(一)若クハ(二)ヲ選行シ又ハ二者ヲ併行スルハ帝國學士院ノ任意タルヘキコト

(一二) 子爵夫人末松生子寄附金

子爵夫人末松生子ヨリ大正七年羅馬法獎勵資金トシテ有價證券額面金五千百圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

資金ノ利殖金ヲ以テ毎年若干宛羅馬法律書ヲ購入シ適宜ノ方法ニ依リ可然學生ニ之ヲ分與シ又ハ場合ニ依リ相當ノ圖書館ヲ選定シテ之ニ寄贈スヘキコト尙ホ必要ノ場合ニハ右法律書ノ印刷費ニ充ツルコト

(一三) 松方公爵米壽祝賀會寄附金

松方公爵米壽祝賀會發起人總代阪谷芳郎、平山成信ヨリ大正十一年松方公爵米壽祝賀記念獎學資金トシテ金拾八萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 寄附金ハ適當ノ方法ヲ以テ利殖スルコト
- 二 元金ハ永ク保存シ其ノ利子ノミヲ使用スルコト
- 三 利子ハ主トシテ財政經濟農業及漢學ニ關スル研究ノ補助褒賞等ニ使用スルコト

- 四 前項以外タリト雖モ帝國學士院ニ於テ適當ト認ムル事業ニ利子ヲ使用スルハ妨ケナキコト
- 五 利子ヲ以テ施行シタル事項ハ毎年之ヲ松方公爵家ニ報告スルコト

同 追加寄附金ノ一

松方公爵米壽祝賀會發起人總代平山成信ヨリ大正十二年四月金五千四百五拾四圓ヲ寄附セルモノニシテ松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ヨリ生スル利子ニ加ヘ獎學ノ目的ニ使用ス

同 追加寄附金ノ二

松方公爵米壽祝賀會殘務整理委員男爵阪谷芳郎ヨリ大正十二年五月金五百六拾圓ヲ寄附セルモノニシテ松方公爵米壽祝賀記念獎學資金ノ中ニ加ヘ獎學ノ目的ニ使用ス

(一四) 財團法人原田積善會寄附金

財團法人原田積善會理事原田二郎ヨリ大正十二年以降壹百箇年間毎年金壹萬圓(四月及九月ニ分納)ツ、合計金壹百萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 金壹萬圓ノ内二千圓ハ之ヲ原田二郎獎學基金トシテ積立テ適當ノ方法ヲ以テ永遠ニ利殖スルコト但シ五十年後ニアリテハ右基金ヨリ生スル利子ヲ帝國學士院ニ於テ適宜使用スルモ妨ケナキコト
- 二 金壹萬圓ノ内金八千圓ハ毎年獎學ノ爲使用スルコトトシ其方法ハ總テ帝國學士院ニ一任スルコト
- 三 本寄附金ニヨリ施行シタル事項ハ毎年之ヲ原田積善會ヘ報告スルコト

(一五) 高峰保全株式會社寄附金

故工學博士藥學博士高峰讓吉ノ遺志ニ依リ高峰保全株式會社取締役鹽原又策ヨリ賞又ハ研究費ノ基金トシテ大正十二年以降五箇年間毎年金五千圓(一月及七月ニ分納)ツ、合計金貳萬五千圓ヲ寄附セルモノニシテ其ノ利殖金ヲ學術研究ノ賞又ハ資トシテ使用ス

(一六) 三共株式會社寄附金

三共株式會社取締役鹽原又策ヨリ前記高峰保全株式會社寄附ニ係ル基金ノ利子ヲ大正十三年ヨリ金壹千圓ツ、使用シ得ル爲其ノ不足補充ノ目的ヲ以テ大正十二年ヨリ三箇年ニ涉リ金貳千圓ヲ寄附セルモノナリ

(一七) 大阪毎日新聞社々長本山彦一寄附金

前大阪毎日新聞社々長本山彦一ヨリ東宮御成婚記念學術獎勵資金トシテ大正十三

年以降十箇年間毎年金壹萬圓ツ、合計金拾萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 毎年金壹萬圓ノ内金四千圓ハ賞金トシ金六千圓ハ研究資金トシテ之ヲ使用スルコト
- 二 賞ハ「大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念賞」ト稱シ賞牌及賞記ト共ニ金壹千圓宛四人ニ之ヲ授與スルコト、但シ賞牌ノ制式ハ本院ニ一任スルコトトシ其ノ作製ニ要スル費用ハ別ニ同社ヨリ之ヲ本院ニ納付ス
- 三 受賞者ナキトキハ賞金ノ一部又ハ全部ヲ遞次翌年ニ繰越シテ使用スルモ妨ケナキコト
- 四 研究資金ノ使用方法ハ之ヲ本院ニ一任スルモ該資金使途ノ事項ニハ「大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念」ノ稱ヲ冠スルコト

(一八) メンデンホール寄附金

米國人元東京大學教師故「トーマス・メンデンホール」ノ遺言ニ因リ同人息「チャールス・メンデンホール」ヨリ大正十四年米貨二千五百弗ヲ寄附セルモノニシテ物理學又ハ天文學ニ關スル獎學費ニ充ツ

(一九) 小池厚之助寄附金

故小池國三ノ遺志ニ依リ同人息小池厚之助ヨリ大正十四年五月金參拾萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ



- 一 寄附金總額ハ之ヲ基金トシテ永久ニ保存シ適當ノ方法ヲ以テ之ヲ利殖スルコト
- 二 右基金ヨリ生スル利子ハ本院ノ選定ニ依ル學術研究ノ補助資金ニ充ツルコト
- 三 右基金ヨリ生スル利子ノ中ヨリ毎年金參千圓ヲ控除シ其ノ殘額ノ一半ハ醫學ノ研究補助費ニ充テ他ノ一半ハ一般研究ノ補助費ニ充ツヘキコト
- 四 上記控除セル金參千圓ハ特別補助資金トシテ毎年之ヲ積立テ利殖シ特ニ多額ノ資金ヲ投スルニアラサレハ研究ヲナシ得サルカ如キ特別重要ナル事項ノ出現ヲ俟テ之ニ十分ナル補助ヲ與フルコト

同 追加寄附金

小池厚之助ヨリ大正十五年三月金壹萬四千七百貳拾圓餘ヲ寄附セルモノニシテ學術研究ノ補助費ニ充ツ

(二〇) 男爵岡野節寄附金

男爵岡野節ヨリ大正十五年三月金五千圓ヲ寄附セルモノニシテ右基金ハ之ヲ永久ニ保存シ之ヨリ生スル利子ヲ學術研究ノ補助費ニ充ツ

同 追加寄附金

男爵岡野節ヨリ大正十五年三月金參拾貳圓餘ヲ寄附セルモノニシテ學術研究ノ補助費ニ充ツ

(二一) 小津清左衛門寄附金

小津清左衛門ヨリ學術獎勵金トシテ大正十五年九月金五千圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件ニ依リ「南朝ノ柱石北畠親房及びその子孫の事蹟」ノ研究費ニ充ツ

(二二) 中澤つる寄附金

故中澤房則ノ遺志ニ依リ中澤つるヨリ學術獎勵金トシテ昭和二年十月有價證券額面金壹萬圓ヲ寄附セルモノニシテ元金ハ之ヲ保存シ之ヨリ生スル利子ヲ一般學術研究費ノ補助ニ充ツ

(二三) 古籙篇刊行會記念寄附金

古籙篇刊行會理事長子爵渡邊千冬ヨリ昭和三年七月金貳萬九千圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 寄附金ハ古籙編刊行會記念獎學資金ト稱スルコト
- 二 古籙編刊行會記念獎學資金ハ金參萬圓ニ達スルヲ俟テ其ノ利子ヲ獎學費ニ充ツルコト隨テ金參萬圓ニ達スルマテノ間本院ニ於テ据置キ利殖ノ途ヲ講スルコト
- 三 前記獎學費ハ漢學ニ關スル研究若クハ著作出版ノ補助ニ使用スルコト

同 追加寄附金

元古籍篇刊行會理事服部宇之吉ヨリ昭和五年五月金七百貳拾五圓ヲ寄附セルモノニシテ前項寄附金ニ加ヘ其ノ利子ヲ獎學費ニ充ツ

(二四) 三井信託株式會社名義寄附金

三井信託株式會社ニ於テ某篤志家ノ供託ヲ受ケ同社取締役社長米山梅吉名義ヲ以テ昭和六年度以降同十九年迄ニ金七萬八千五百圓ヲ寄附セルモノニシテ學術ノ研究及發表ノ助成費ニ充ツ

(二五) 鈴木三郎助寄附金

故鈴木三郎助ノ遺志ニ依リ同人息鈴木三郎助ヨリ昭和七年三月學術研究獎勵金トシテ有價證券額面金參拾萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 寄附金ハ基金トシテ永ク之ヲ保存シ其ノ利子ノミヲ使用スルコト
- 二 本基金ヨリ生スル利子ノ一半ハ(一)東京帝國大學理學部化學教室ニ屬スル學者ノ研究補助費ニ充テ他ノ一半ハ(二)他ノ化學者ノ研究補助費ニ充ツルコト
- 三 前項(一)ニ割當タル利子ニシテ當該年度内ニ全額使用シ得サリシ場合ニハ其ノ剩餘金ヲ(二)ノ補助費ニ流用シ又利子全額ノ上ニ剩餘ヲ生シタル場合ニハ之ヲ次年度ニ繰越シテ使用スルヲ妨ケサルコト

(二六) 伯爵鹿島萩麿記念寄附金

故伯爵鹿島萩麿ノ遺志ニ依リ伯爵鹿島晃久後見人侯爵筑波藤麿ヨリ昭和九年四月金拾萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 寄附金ハ伯爵鹿島萩麿記念獎學基金ト稱スルコト
- 二 本基金ハ永久ニ之ヲ保存スルコト
- 三 本基金ヨリ生スル利殖金ノ内毎年金參千圓ヲ第二部賞金トシテ使用シ殘額ハ五拾箇年之ヲ基金ニ繰入レ爾後利子金ハ帝國學士院ニ於テ適宜使用スルモ妨ケナキコト
- 但シ適當ナル受賞者ナキカ又ハ賞金額參千圓ニ達セサル場合ニハ其ノ全額又ハ殘餘ヲ第二部ノ學術研究補助費ニ充ツルコトヲ得
- 四 本寄附金ニ依リ施行シタル事項ハ毎年之ヲ伯爵鹿島家ニ報告スルコト

(二七) 服部玄三寄附金

服部玄三ヨリ昭和十一年二月以降五箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金五千圓、更ニ昭和十六年二月以降五箇年間毎年金壹千圓ツ、合計金五千圓ヲ寄附スルモノニシテ學術ノ研究及其ノ發表助成費ニ充ツ

(二八) 臺灣救濟團長寄附金

學術研究獎勵金

臺灣救濟團々長二見直三ヨリ昭和十三年以降三箇年間ニ金四千圓ヲ寄附スルモノニシテ寄附ノ趣旨ニ依リ臺灣ニ於ケル「インドネシヤ」慣習法辭典編纂費ニ充ツ

(二九) 王子製紙株式會社寄附金

王子製紙株式會社取締役社長高島菊次郎ヨリ昭和十四年九月金參萬圓ヲ寄附セルモノニシテ元金ハ基金トシテ永久ニ保存シ之ヨリ生スル利子ノ内毎年金壹千圓ヲ獎學金トシテ使用シ殘餘ノ金額ハ之ヲ基金ニ繰入ルモノトス

(三〇) 財團法人坂本報效會寄附金

財團法人坂本報效會理事長坂本守正ヨリ昭和十四年十一月金五千圓、昭和十五年十月金五千圓、昭和十六年十月金五千圓、昭和十七年十月金五千圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 金五千圓ノ内金四千圓ハ研究補助費ニ金壹千圓ハ出版費ニ使用スルコト
- 二 本寄附金ニ依リ施行シタル事項ハ之ヲ坂本報效會ヘ報告スルコト

(三一) 矢野生命保險記念寄附金

第一生命保險相互會社取締役會長矢野恒太本邦生命保險關係五十年記念事業トシ

テ社長石坂泰三ヨリ昭和十五年一月金拾萬圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 寄附金ハ矢野生命保險記念資金ト稱シ基金トシテ永久ニ保存スルコト
- 二 右基金ヨリ生スル利益金ハ生命保險事業ニ直接又ハ間接ニ關係セル法律學、經濟學、統計學、醫學、數學等ノ諸學科ノ研究費出版費其ノ他該事業ノ進歩發達ノ爲本院ニ於テ適當ト認ムル費用ニ支出スルコト
- 三 本院ノ各會計年度ニ於テ利益金中殘餘金アルトキハ之ヲ基金ニ繰入ルルコトヲ妨ケサルコト

(三二) 社團法人萬年會寄附金

社團法人萬年會理事吉川祐輝ヨリ昭和十四年十一月有價證券額面金貳萬五百圓ヲ寄附セルモノニシテ寄附ノ條件左ノ如シ

- 一 寄附金ハ萬年會獎學資金ト稱シ永久ニ之ヲ保存シ適當ノ方法ヲ以テ利殖スルコト
- 二 毎年限額金ノ中ヨリ其ノ四分ノ一以上ヲ資金ヘ繰入ルルコト
- 三 前記四分ノ一以上ヲ控除セシ殘餘ノ利子ハ農學及工學ニ關スル學術研究ノ補助若クハ論文發表ノ助成ニ使用スルコト
- 四 資金ノ利子使用ノ事項ニハ萬年會獎學資金ニ依リ補助若クハ助成ノ旨ヲ表示スルコト

(三三) 多田齊司寄附金

學術研究獎勵金

昭和十五年七月金壹百五拾圓ヲ寄附セルモノニシテ學術研究ノ補助費ニ充ツ  
 (三四) 野村信託株式會社寄附金  
 昭和十八年以降五箇年間毎年壹千圓(五百圓ツツ年二回)ヲ寄附セルモノニシテ  
 第一部ノ賞典費ニ充ツ

第二十五 出版物

帝國學士院紀事(歐文) 第一卷第一號 明治四十五年三月發行  
 帝國學士院紀事(歐文) 第一卷第二號 大正二年三月發行  
 菊地大麓論文 間重新ノ楕圓起源ニ就テ  
 帝國學士院紀事(歐文) 第一卷第三號 大正二年十一月發行  
 帝國學士院紀事(歐文) 第一卷第四號 大正三年十二月發行  
 竹内端三論文 代數的「キヨルベル」ニ於ケル「コンダールメント」數ノ「クラス」ニ就キ  
 帝國學士院紀事(歐文) 第一卷第五號 大正七年十月發行

藤澤利喜太郎論文

代數的平均ニ就テ

大谷亮吉編著

伊能忠敬ノ傳記並ニ其事業概説

帝國學士院紀事(歐文)

自第二卷第一號  
至第十號

大正十五、昭和二年發行

同

自第三卷第一號  
至第十號

昭和二年發行

同

自第四卷第一號  
至第十號

昭和三年發行

同

自第五卷第一號  
至第十號

昭和四年發行

同

自第六卷第一號  
至第十號

昭和五年發行

第六卷別冊(歐文)

自第六卷第一號  
至第十號

昭和五年發行

姉崎正治著 A Concordance to the History of Kirishitan Missions.

(Catholic Missions in Japan in the Sixteenth and Seventeenth Centuries.)

帝國學士院紀事(歐文)

自第七卷第一號  
至第十號

昭和六年發行

同

自第八卷第一號  
至第十號

昭和七年發行

同

自第九卷第一號  
至第十號

昭和八年發行

同

自第十卷第一號  
至第十號

昭和九年發行

出版物

帝國學士院紀事 (歐文)

同

同第十二卷別冊

The Series of sets of Points on an Algebraic Surface: by Francisco Severi.

同

同

同

同

同

同

同

同

自第十一卷第一號  
至同 第十號  
昭和十年發行

自第十二卷第一號  
至同 第十號  
昭和十一年發行

自第十三卷第一號  
至同 第十號  
昭和十二年發行

自第十四卷第一號  
至同 第十號  
昭和十三年發行

自第十五卷第一號  
至同 第十號  
昭和十四年發行

自第十六卷第一號  
至同 第十號  
昭和十五年發行

自第十七卷第一號  
至同 第十號  
昭和十六年發行

自第十八卷第一號  
至同 第十號  
昭和十七年發行

自第十八卷第一號  
至同 第十號  
昭和十七年發行

自第十九卷第一號  
至同 第十號  
昭和十八年發行

同

帝國學士院邦文紀事

同

帝國學士院第一部論文集 (邦文)

穂積陳重著 由井正雪事件ト徳川幕府ノ養子法

帝國學士院第一部論文集 (邦文)

穂積陳重著 諱ニ關スル疑

帝國學士院第二部メモアル (英文)

長岡半太郎及高嶺俊夫論文 階段格子及「サムメン」板ヲ用ヒテ調査シタル水銀線ノ構造

假名遣沿革史料

ユ帝欽定羅馬法學提要 (末松謙澄翻譯)

「ウルピアース」羅馬法範 (末松謙澄翻譯)

「ガローウス」羅馬法解説 (末松謙澄翻譯)

伊能忠敬 (長岡半太郎監修大谷亮吉編著)

自第二十卷第一號  
至同 第三號  
昭和十九年發行

自第一卷第一號  
至同 第三號  
昭和十七年發行

第二卷第一號  
昭和十八年發行

第一號  
大正二年六月發行

第二號  
大正八年二月發行

第一卷第一號  
大正二年十一月發行

明治四十二年三月發行

大正二年十二月發行

同十三年七月四版發行

大正四年三月發行

同十三年七月三版發行

大正四年三月發行

同十三年七月三版發行

大正六年三月發行

和算ノ方陣問題 (菊地大麓監修三上義夫編著)	第一卷	昭和十二年三月發行
諸外國學士院ノ組織及授賞 (藤澤利喜太郎編)	第二卷	昭和十三年七月發行
増修日本數學史 (遠藤利貞遺著)	第三卷	昭和十四年七月發行
帝室制度史 (國體總説)	第四卷	昭和十五年九月發行
同 (國體の精華)	第五卷	昭和十七年三月發行
同 (皇位繼承の本義及び原因)		
同 (皇位繼承の儀禮、皇嗣)		
同 (神器總説、神器の奉安及び崇敬)		

### 第二十六 學術報告

自昭和十七年四月(自明治四十年四月略之)至同十九年三月(至昭和十七年三月略之)

提出年月	題	目	提出者又ハ講演者
昭和十七年四月	アニソシニア及フアボイデスに就て	會 員	矢部 長克
	滿鮮中生代化石層の層序關係と其の時代	介紹者	矢部 長克
		會 員	杉山 梅郎
		介紹者	小林 貞一

鐵及ニッケル結晶の磁歪の理論	會 員	本多 光太郎
黒猩猩繩に於ける變異形質(ベスタジアル)誘起物質に關する研究	介紹者	谷津 直秀
低速電子衝擊による吸着水素の脱離	介紹者	大幸 勇吉
キヌレニンの合成	介紹者	眞島 利行
有理型函數論に於ける第一基本定理に就て	津 村 善郎	
ブロックの定理の一擴張に就て	津 村 善郎	
エフ、及エム、リースの一定理に就て	津 村 善郎	
グリーンの補助定理に就て	津 村 善郎	
ビタミンB <sub>1</sub> のヒリミチン核の一新合成法	介紹者	朝比奈泰彦
一般の代數系に就て (第二報)	介紹者	掛谷 宗一
完全整閉なる整域に關するクルルの推測に就て	介紹者	高木 貞治
聖徳太子の大土理想に於ける人法相即の觀念と凡聖權實の相關 (講演)	會 員	姉崎 正治

學術報告

九〇

阿武隈山地珠羅紀鳥の巢統産一新二枚貝  
六脚の海蜘蛛一節足動物に稀有なる體節缺損の一例  
櫛水母の一種コークロラ<sup>ル</sup>プラに刺胞あり

(以上二件 紹介者 谷津 直秀)

漢藥蟾酥の研究 (第六報)  
蟾酥及日本產蕁皮分泌液中に存在するコルク酸及ア  
ルギニンの尿生成及血液循環に及ぼす影響

(紹介者 林 春雄) 小 林 芳 人

共形接續空間に於ける二次元球面上に展開可能なる曲線  
に於て

(紹介者 掛谷 宗一) 武 野 健 太 夫 郎

一般代数系に就て (第三報)  
クルルの豫想に就て (第二報)

(以上二件 紹介者 高木 貞治)

容量零なる閉集合の近傍に於ける有理型函数の模様<sup>に就て</sup>

辻 正 次

レヴナーの定理の擴張に就て

(以上二件 紹介者 吉江 琢兒) 辻 正 次

手漉和紙の歴史地理的研究(報告講演)

(紹介者 新村 出) 壽 岳 文 章

昭和十七年六月

ベナハ空間第三報(チーツエー松村の定理の證明)

(紹介者 藤原松三郎) 中 村 正 弘

會田安明の零約術

會 員 藤 原 松 三 郎

函数值分布の理論に就て

(紹介者 掛谷 宗一) 功 力 金 二 郎

滿洲國密山縣黑臺産デボン紀化石 (第二報)

會 員 杉 山 敏 郎 克

滿洲國松花江統の地史

小 林 貞 一

南鮮開慶地方の地質

青 地 林 貞 一

滿蒙地向斜に於ける秋吉造山輪廻

小 林 貞 一

黑龍江地向斜に於ける佐川造山輪廻

正 田 健 次 郎

一般代数系に就て (第四報)

(以上四件 紹介者 加藤 武夫)

一般C空間の特徴に就て (第二報)

中 野 秀 五 郎

チベンツオホノリチン類の合成研究 (第五報)

(以上二件 紹介者 高木 貞治)

チベンツオインドリチン類の合成研究 (第三報)

(以上二件 紹介者 朝比奈泰彦)

昭和十七年七月

四國西部海岸地方に於ける陸地變形に就て

會 員 宮 部 直 明 巳 恒

パフンウニの卵皮部細胞質に於ける嗜鹽基性顆粒の受精  
後の消失

高 木 俊 藏

學術報告

九一

二三の甲殻類脱皮時に於けるカルシウム貯藏型に就て

(以上二件)

紹介者 谷津 直秀

沼野 井 春雄

南支那及滿洲産バトストメラ

會 員

矢山 敏郎

西曆千九百年一月より千九百二十二年九月迄の年間に於ける水澤・カルロフ・オルテ・ユキヤの三萬國緯度觀測所のZの分解に就て

會 員

木村 榮

低速電子衝擊により白金板に於ける吸着水素の脱離

(紹介者)

大幸 勇吉

石川 義興

(第二報)

バナツハ空間論第四報、總和的集合函數の分解

(紹介者)

藤原松三郎

中村 正弘

種々の共鳴中性子に對する炭素の全斷面積に就て

(紹介者)

木村 一治

木村 一治

散亂及吸收斷面積の共鳴中性子エネルギーによる變化に就て

(紹介者)

木村 一治

木村 一治

長鎖式化合物の混合のX線的研究

(以上三件)

紹介者 西川 正治

吉田 早苗

F<sub>1</sub>及F<sub>2</sub>電離層の成因と其温度並に氣壓

會 員

長岡 半太郎

正田 建次郎

有限群に於て誘導される指標に關する注意

會 員

吉田 耕作

河田 敬義

ヴェクトル束の表現に就て

會 員

中野 秀五郎

弱い意味のエルゴード定理に就て

會 員

河野 秀五郎

ノルムを有する半順序モジュールに於けるリース・フィッシャー

會 員

中野 秀五郎

中野 秀五郎

(以上四件)

紹介者 高木 貞治

本邦に於けるニツケル鏡に伴ふ綠色鏡物に就て

(紹介者)

坪井誠太郎

須安 齋 俊男

二鹽基性飽和脂肪酸の一種、コルク酸の利尿作用に就て (第一報) 該作用發現に對する要約

(紹介者)

林 春雄

小林 芳人

レゾナーの補助定理の擴張

(紹介者)

掛谷 宗一

小松 勇作

我國調停制度の特色

(紹介者)

加藤 正治

大崎 正太

詠曲に見える神道觀念 附、道教觀念 (講演)

會 員

姉崎 正治

北滿洲産下部デボン紀動物化石

會 員

矢山 敏郎

カヒヤドリウミグモに於ける珍奇なる異常肢の一例

會 員

大島 廣郎

編制原誘導能力の地域的分化の實驗的考察

會 員

高岡 谷田

高岡 谷田

編制的誘導能力の地域的分化の續研究

(以上三件)

紹介者 谷津 直秀

高岡 谷田

ビタミンL<sub>2</sub>の一種としてアデニール、チオメチールベン

紹介者

鈴木梅太郎

中村 和郎

トリスに就て

(紹介者)

鈴木梅太郎

中村 和郎

良好な特性を有するガイガー・ミニューラー計數管の製作

皆

皆

川川 三丈

ガイガー・ミニューラー計數管の放電過程

皆

皆

川川 三丈



學術報告

九四

CuAsWに對するおそい中性子の散亂斷面積とそれらの共鳴準位に就て

(以上三件) 紹介者 西川 正治

木村純一 月海 森川克一

南濠の寒武利亞紀フオーナとマラギン盆地の地史に就て  
南濠ヨーク半島バララ石炭岩産の三葉蟲  
北支及南蒙産蚌介(ドブガヒ)の新種

(以上三件) 紹介者 加藤 武夫

小林貞一 小塚彌之助 大塚彌之助

單位圓上にて虚數部の符號が二度のみ變化する函數に就て

會 員 掛 谷 宗 一

コーシーの積分定理に就て  
共圓幾何學、第五報、アインスタイン空間

(以上二件) 紹介者 掛谷 宗一

南野健太郎 矢野健太郎

局所類體論(第二報)

(紹介者 高木 貞治)

會 員 藤 原 松 三 郎

聖德太子の大土理想に於ける一念備修萬行といふ觀念

會 員 山田 三良

會 員 藤 原 松 三 郎

ミクロネシアの婚姻法 (講演)

(紹介者 山田 三良) 中川善之助 姉崎正治

昭和十七年十一月

宋版「算學源流」に就て

會 員 藤 原 松 三 郎

王文素の通證古今算學寶鑑

會 員 藤 原 松 三 郎

永樂大典の算法十四、十五の兩卷に就て

會 員 藤 原 松 三 郎

正則ヴェクトルラツチスに就て

ラツチスに於けるコジグルーエンス關係に就て

無限級數に就て

抽象積分 (第八報)

抽象積分 (第九報)

抽象積分 (第十報)

(以上六件) 紹介者 藤原松三郎

日本産二疊紀四射珊瑚の一新屬

會 員 杉 山 敏 郎

沃川地向斜の研究 (一)朝鮮紀に於ける沃川地向斜

(紹介者 加藤 武夫)

會 員 杉 山 敏 郎

ピリヂン核の一新ニトロ化反應

チベンオインドリチン誘導體の合成研究  
( $1/1 \cdot 2/2 \cdot 3/3 \cdot 1/1 \cdot 2/2 \cdot 5/5 \cdot 6/6$  | チベンツオインドリチンの合成)

(以上二件) 紹介者 朝比奈泰彦

會 員 菅 玉澤 國重 美彦

石落川合正雄

吉村山部 深澤恒雄

折原正江 船山子之助 泉内信一 折原信一 洲内源一 折原信一 泉内信一

學術報告

九五

B-グリセロ磷酸コリンエステルの合成及其浴血作用に就て

(紹介者 鈴木梅太郎)

小幡彌太郎

半順序モーダルに於ける或る線状汎函數に就て

中野秀五郎

合同の束の分配性に於て

船山子之助

半順序環及びスペクトル定理へのその應用

(以上三件)

紹介者 高木 貞治

吉田耕正

古文書記録に見えたる成語に就て (報告講演)

(紹介者 辻 善之助)

布施秀治

昭和十七年十二月

短波傳播消失は太氣上層に於て生ずるアルファ粒に起因す

會員 長岡半太郎

ゴードリセラチデー科に屬する日本産菊石化石に就て

松本達郎

テトラゴニチデー科に屬する日本産アンモノイド類化石に就て

松本達郎

日本産白堊フィロセラチデー科化石に就て

松本達郎

沃川地向斜の研究 (二) 平安大紀に於ける沃川地向斜

(以上四件)

紹介者 加藤 武夫

青木利夫

局所的に凸なる位相空間に就て

小林貞一郎

局所的に有界なる線状位相空間

三次の徑路曲線の射影的理論

(以上三件)

紹介者 藤原松三郎

三木 上部 操

建部賢弘の角法定乗に就て

會員 藤原松三郎

ガイガー・ミューラー計數管の放電過程 その二

皆川 隆一

熱中性子の固體に依る散亂に就て その一

橋口 隆一

金屬の冷間加工による散亂斷面積の變化に就て

(以上二件)

紹介者 西川 正治

魚返 正

ニュートン容量と線状測度に就て

津村 善

非直接特異點に就て

津村 善

函數値の分布状態に就て

津村 善

ハウズドルフ測度及び一般ポテンシャルの容量の概念に關する或性質に就て

津村 善

新堀仙臺間の精密水準線路改測に依て闡明せる陸地變形

(以上四件)

紹介者 掛谷 宗一

大塚 彌明

ペンツオヒノリチン誘導體の合成

菅本 重一

ヂペンツオヒノリチン誘導體の合成研究 (第六報)

菅本 重一

(以上二件)

紹介者 朝比奈泰彦

菅本 重一

一般半順序線垂空間の擴大に就て  
リーマンのツエタ函數の零點に就て  
サツカミノブシス石炭岩

(紹介者 高木 貞治) 中野 秀五郎  
(紹介者 吉江 琢兒) 辻 正次  
會 員 矢部 長克

昭和十八年一月

地球廻轉周期の微少なる變動

會 員 長岡 半太郎

外胚葉胞内植法に依る編制原の誘動能力の地域的分化の探索

(紹介者 谷津 直秀) 岡 波 忠雄  
皆 川 隆一  
橋 口 隆吉

カイカー・ミユラー計數管の放電過程 (その三)

會 員 橋 口 隆吉

熱中性子の固體に依る散亂について

會 員 橋 口 隆吉

水晶による中性子の廻折散亂における熱歪効果

(以上二件 紹介者 西川 正治)  
(紹介者 坪井誠太郎) 種子田 定勝

紫蘇輝石斑晶の周縁に於ける橄欖石の現出

小 林 貞一

エオデスカス類に就て

小 林 貞一

エオデスカス類に就て

小 林 貞一

抽象東の公理に就て

(以上二件 紹介者 矢部 長克)  
中 野 秀五郎

半順序ノルム線形空間の連続性に就て

(以上二件 紹介者 高木 貞治)  
會 員 今 村 明恒

古代の比内地震、特に埋設家屋中より發見せる一器具に  
よりにて推定せらるゝ該地震の年代に就て

會 員 今 村 明恒

昭和十八年二月

會 員 姊崎 正治

聖徳太子の大土理想に於ける隨機施化と佛國建立 (講演)

(紹介者 大幸 勇吉) 佐々木 一申  
三 谷 一雄

横磁界を有するイオン顕微鏡

(紹介者 大幸 勇吉) 三 谷 一雄

(顯微鏡的マス・スペクトログラフ)

馬 場 新一郎

卵黄中の水溶性物質による實驗的肝臓癌の抑制に就て

鷗 上 三郎

アスベルギルス・ニゲルによる有機酸發酵に就て

小 林 貞一

(1)モノプロペン(1)ol(3) 磷酸及び之を分解するフオ  
スフワターゼに就て

小 林 貞一

沃川地向斜に於ける松林地殻變形の格子解析

(以上二件 紹介者 鈴木梅太郎)  
小 林 貞一

江原道南部石炭岩臺地西部の地質構造

小 林 貞一

タイヒミユラーの一定理の擴張に就て

(以上二件 紹介者 加藤 武夫)  
津 村 正善郎

有理型函數の集積値集合に就て

(紹介者 掛谷 宗一) 津 村 正善郎

1を法として函數値の一樣分布に就て

辻 正次

被子植物に於ける染色体數表 (第九報)

(以上二件 紹介者 吉江 琢兒)  
(紹介者 藤井健次郎) 杉 浦 寅之助

學術報告

100

液態に於ける二酸化硫黄・三酸化硫黄間の酸素交換反應 (紹介者 片山 正夫) (中田 谷利三)

(紹介者 佐佐木信綱) (久曾 神 寛 昇)

昭和十八年三月

バナツハ空間に就て (第五報)

エルゴード定理に就て

微分に就て

(以上三件)

紹介者 藤原松三郎

會 員

藤原松三郎

鎌田俊清と間重富の圓理

(紹介者 加藤 武夫) (小林 貞 旭)

古貝蝦石屬と現生古貝蝦屬の關係

(紹介者 吉江 琢兒) (辻 田 正 次)

點集合に關する量的定理

(紹介者 吉江 琢兒) (辻 田 正 次)

一般代數系に就て (第五報)

(紹介者 吉江 琢兒) (辻 田 正 次)

順席を保存する寫像の東の特徴に就て

(紹介者 吉江 琢兒) (辻 田 正 次)

和同型の變換東の一つの特徴に就て

(紹介者 吉江 琢兒) (辻 田 正 次)

一般半順序空間の擴張に就て

(紹介者 吉江 琢兒) (辻 田 正 次)

直接完全體上のノルム剩餘記號の理論に就て

(紹介者 吉江 琢兒) (辻 田 正 次)

局所類體論 (第三報)

(紹介者 吉江 琢兒) (辻 田 正 次)

半順序環及スベクトル定理へのその應用 (第一報)

無限の積可測空間論小引 (第一期)

(以上八件)

紹介者 高木 貞治

中田 耕 正 作

固體による熱中性子の廻折散亂に就て (其の三)

(紹介者 石川 正治) (木 村 一 治)

昭和十八年四月

バナツハ空間 (第六報) 抽象積分と線形演算

(紹介者 藤原松三郎) (泉 之 内 信 一)

ヘルムホルツの空間問題に就て

(紹介者 藤原松三郎) (泉 之 内 信 一)

不交換で密なる群の双對定理に就て

(紹介者 藤原松三郎) (泉 之 内 信 一)

無限積可測空間に就て (第二報)

(紹介者 藤原松三郎) (泉 之 内 信 一)

(以上三件)

紹介者 高木 貞治

角谷 靜 夫

シベリア寒武紀生物群に就て

(紹介者 加藤 武夫) (小 林 貞 一)

「リーマン」空間に於ける平行と定點通過

(紹介者 掛谷 宗一) (矢 野 健 太 郎)

コロイド存在の下に於ける結晶の生成

(紹介者 坪井誠太郎) (小 村 出 得 太 郎)

日食に伴ふ氣壓の微變化に就て

(紹介者 田中館愛橘) (加 藤 愛 雄)

農耕儀禮と獅子舞

(紹介者 姉崎 正治) (古 野 清 人)

西周の歴史觀

(紹介者 新村 出) (大 久 保 利 謙)

學術報告

101

昭和十八年五月

次元の思想に就て

久留島義太の不知段數廉術

熱中性子の固體による廻折散亂に就て (第四報)

ZnH<sub>2</sub>Clの遷移點附近における散亂の變化

ガイガー・ミューラー計數管の放電過程 (その四) 放電の殘效果に就て

(以上二件 紹介者 西川 正治)

整關係 G(X,Y) = OPに定義された陰函數の存在領域に就て

(紹介者 吉江 琢兒) 辻

東北方言と南島方言との比較研究 (講演約三十分)

(紹介者 新村 出) 宮 良 當 壯

揚子江盆地の寒武系概要一

(紹介者 加藤 武夫) 小 林 貞 一

揚子江中流雲南東部及東京北部ノ寒武系

會 員 掛 米 壬 生 谷 英 雅 宗 一

測度 V(x) と m(x) との關係

可附番集合のバナハ極限及チエツク緊密化

昭和十八年六月

F(P,α)O核反應に於けるα粒子の角度分布に關する實驗

整域に於けるイデヤルの可逆性に就て

(以上二件 紹介者 高木 貞治) 淺 野 芳 廣

陽子衝擊による弗素からの核電子對

(以上二件 紹介者 西川 正治) 小 島 昌 治

等角寫像の一常數値に就て

(紹介者 掛谷 宗一) 功 力 金 二 郎

心臟の働作電流を記録する一新法

(紹介者 三浦謹之助) 勝 沼 精 雄

一般代數系に就て (第六報)

自由群に關する二、三の定理

一つの群上の可則概周期函數の平均値に就て

標準環に於ける極大「イデヤル」の擴張に就て

(以上四件 紹介者 高木 貞治) 河 田 敬 義

東北方言と南島方言との比較研究 (講演約三十分)

(紹介者 新村 出) 宮 良 當 壯

ヒルベルト空間の單位球の位相學的性質

素數指標のリー環に關する注意

(以上二件 紹介者 高木 貞治) 角 谷 靜 夫

容量零なる閉集合の近傍に於ける有理型函數の逆函數のリーマン面に就て

最小球面收差磁場電子レンズ

第三級アミノオキシド基の新分類に就て

デカルボウスノールの構造

會 員 朝 比 奈 寬 藏

刀劍の銹を誘起する絲狀菌に就て

(紹介者 柴田 桂太) 大槻 虎男

昭和十八年七月

會員 今村 明恒

遠江國東南部の陸地變形に就て

水素による酸化銅還元における反應核の生成

低速電子衝擊による吸着水分子の脱離

低速電子衝擊による吸着水分子層の厚さの測定

煙草の葉型に於ける累進的變異

非同次放電法によるX線エネルギーの測定

ガイガー・ミュラー計數管の放電過程(その五)放電波

高及び計數特性の變化に就て

聖徳太子の大士理想と覺道十地の思想(講演)

部分空間の共形幾何學に於ける基本方程式に就て

共形テンソル  $CYK$  と共形スカラー  $C$  との一應用

三級パス空間中の超曲面論に就て

精製ヂヤスターゼに就て

アール群のウエール測度に關する注意

ノルム環トスペクトル定理

局所的に緊密なるアール群のノルム環

緊密なるアール群に關係する計量數に就て

昭和十八年十月

文選の板本に就て

超アール函数に就て

和算に於けるベルヌーイ數

大島喜持の零約術の研究

フリーエ級數の強總和性に就て

バナハ空間論第七、函數空間のコンパクト性

アール代數の表現に就て

メダカに於ける發情物質による精巢卵の生成

熱中性子の固體による廻折散亂に就て(第五報)

ni-Fe合金の中性子散亂面積(その一)

計數管の中心線に於ける放電進行速度に就て

學術報告

105

105

105

105

105

105

105

105

105

105

105

105

105

105

105

105

105

105

105

105

二種の六射珊瑚（ゴニオコレラ及びバンタミア）に就て  
デイリクレ問題の解の近似に就て  
接続不能のリイマン面に就て

（以上二件 紹介者 西川 正治）  
江口部長起  
井上正雄  
辻正次

ヌフアリヂンの化学構造

（以上二件 紹介者 吉江 琢兒）  
小川竹無二  
川長廣  
久保田尚  
萩谷志河

眞性特異點集合の線状測度が零なる函数の除外値（第二報）

（紹介者 眞島 利行）

春海學の研究（講演）  
春書調所の科學及び技術部門に就て（講演）

（以上二件 紹介者 掛谷 宗一）  
龜谷俊司  
西内平雅  
原平三

後渤海の建國

（以上二件 紹介者 辻 善之助）

（紹介者 池内 安）  
日野開三郎

アインシュタイン空間に於ける共形及び共圓幾何學  
流體力學への歪曲定理の若干の應用

（以上二件 紹介者 掛谷 宗一）

矢野健太郎  
小松勇作

抽象空間に於ける解析函数に就て

「ノルム」付きの環と「スペクトル」定理（第二報）

霜田伊佐衛  
吉田耕作

位相學的自由群小引

局所「コンパクト」「アーベル」群S「ボール」S「コンパクト」  
化（第一報）

（以上四件 紹介者 高木 貞治）

中山正  
安西廣  
角谷靜夫

昭和十八年十一月

精製チアスターゼ第三報

チアスターゼ作用の性質

精製チアスターゼ第四報

チアスターゼの組成及構造

精製チアスターゼ第五報

胄臟チアスターゼ

バクテリアによるチアスターゼ

合成を支配する因子

（以上四件 紹介者 眞島 利行）

皆川豊作  
皆川豊作  
皆川豊作  
皆川豊作

揚子江盆地の寒武系概要二

揚子江盆地寒武紀「フオーナ」の特色と盆地内寒武系の

岩相、層厚に就て

海南島に於ける紡錘蟲の發見

（以上二件 紹介者 加藤 武夫）

小林貞一  
張山麗  
張山麗

法王帝說中の佛教教學記事（講演）

月と太陽の影響に基り北極軌道の新研究（第二篇）

（紹介者 田中館愛橘）  
木村榮

一般代数系に就て (第七報)  
 シュライヤリの擴張定理に就て  
 廣義に於ける混合型の測度不變寫像に就て  
 積空間に於ける測度不變寫像に就て  
 有限アーベル群の部分群を成すモヂュラー束に就て  
 局所コンパクトなるアーベル群のポーアのコンパクト化 (第二報)  
 ヘルムホルツの空間問題に就て (第二報)

(以上七件)

紹介者 高木 貞治

會員

阿武隈山地相馬郡嬉原産バラポリセラス  
 漸新統にミヤギブシノイテス屬有孔蟲の存在  
 デベンツォインドリチン誘導體の合成研究 (第五報)  
 現代海上保險の地中海法繼承の一研究—ロイド證券の生成 (講演)  
 極小球面收差の磁界レンズに就て  
 超電子顕微鏡の分解能に關する像を不鮮明にする諸原因の重合 (第一報)

(以上二件)

紹介者 長岡半太郎

正田建次郎	正田建次郎	河田敬義	河田敬義	稲葉榮次	角谷靜夫	安西廣忠	安彌永昌	安彌永昌	矢部長克	會員	矢部長克	菅澤重彦	朝比奈泰彦	朝比奈泰彦	矢部長克	矢部長克	矢部長克	矢部長克	矢部長克	矢部長克
正田建次郎	正田建次郎	河田敬義	河田敬義	稲葉榮次	角谷靜夫	安西廣忠	安彌永昌	安彌永昌	矢部長克	會員	矢部長克	菅澤重彦	朝比奈泰彦	朝比奈泰彦	矢部長克	矢部長克	矢部長克	矢部長克	矢部長克	矢部長克
加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治
加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治	加藤正治

熱帯産「シホマネキ」の一種の神經組織に見出される色素細胞ホルモン  
 各種動物の色素細胞ホルモンの有效範圍  
 「ヒドラー」の再生と雌性轉換

(以上三件)

紹介者 谷津 直秀

計數管により測定したる各種土壤の放射能に就て  
 非減衰振調和振動に於ける不安定現象に就て (第一報)  
 水面近くを回轉しつつ進行する物體の軌道  
 ナフトキノソ誘導體の研究  
 海膽棘の色素  
 精製ヂアスターゼ第七報  
 精製ヂアスターゼの構造「新サツカリド」  
 精製ヂアスターゼ (第八報)  
 精製ヂアスターゼの構造に關する分光化學的研究

(以上四件)

紹介者 眞島 利行

硝子に生ずる微  
 良好な特性を有するガイガミューラ計數管の製作  
 揚子江盆地の寒武系 要三揚子江盆地の寒武紀古地理  
 領域の變動に伴ふ等角寫像數の變分に就て

眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行
眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行
眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行
眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行	眞島 利行



東北の凶冷と日射強度との關係  
 次齒が二つの素數階の積なる部分群の存在に就て  
 ベル方程式に就て  
 コンバクトなる位相環に就て  
 ベイ進除法アルゲブラの乘法群に就て  
 パーナハ空間の作用素環に就て  
 リー群の空間に於けるリーマン度法と體積素に就て  
 誘導されたる測度不變の變形

(以上七件 紹介者 高木 貞治)

滿洲吉林西方二道溝産合フアポンテス石灰岩に就て (豫報)

會 員

江矢 口部 元長 起克

兩棲類制原の培養、移殖熱處理による異なる效果

セツメの末受精卵に於ける興奮傳導性の勾配

(以上二件 紹介者 谷津 直秀)

唐代教坊の組織

(紹介者 池内 安)

山 本 時 雄

非同次放電計數法によるr線エネルギーの測定 (第二報)

(紹介者 西川 正治)

船 數 元 川 伊 重 之 助 雄

配分束の切斷による完成に就て

波岡 磨 田 忠 雄 要

久留島襄太の業績の新史料

(以上二件 紹介者 藤原松三郎)

藤 原 松 三 郎

無限複連結領域の等角寫像に就て

(紹介者 吉江 琢兒)

辻 正 次

正二次積分形式と擴張したる「ポテンシャル」

(紹介者 龜谷 俊)

龜 谷 俊 司

論文「ハウスドルフ測度と擴張ポテンシャルの容量の概念に就て」に關する一注意

(紹介者 龜谷 俊)

龜 谷 俊 司

P値函數に關する一所見

(以上三件 紹介者 掛谷 宗一)

吉 田 德 之 助

さつまいもの繁殖に就て  
 第一報塊根上に於ける不定芽の形成

(紹介者 藤井健次郎)

保 井 コ ノ

昭和十九年二月

ヒドラ飼育に最適のイオン組成、特にCa・Kの拮抗作用に就て

(紹介者 谷津 直秀)

桑 原 萬 壽 太 郎

北上山地産フェルベキエラ一種 (珊瑚)

會 員

矢 部 正 長 克 雄

北上山地に於ける上部古石炭紀ビセ階海浸

(以上二件 紹介者 矢部 長克)

湊 部 正 長 克 雄

禁秘抄の原本形態及び其の成立に就て

(紹介者 辻 善之助)

日 野 西 資 考

鹿野斷層附近に於ける地電流觀測

(紹介者 妹澤 克惟)

永 田 武 考

射影及び共形幾何學に於ける射影媒介變數  
 或定常過程に於ける「エルゴード」性に就て

(紹介者 矢野 健太郎)

伊 藤 健 太 郎 清

學術報告

良好な特性を有するガイガーミューラー計數管の製作（其の三）  
（以上二件 紹介者 掛谷 宗一）  
西川 正治 皆川 理

正パラフィン分子の基準振動に就て  
結合能率の量子力學的計算  
（以上二件 紹介者 片山 正夫）  
水島 三彦 島内 武一 李 泰西 室山 圭夫 小 林 貞一 湊 正 雄

南鮮と天山東部間の寒武紀海水の連續に就て  
泰國北部に於けるウエンツエラ、サブチモリカの産出  
（以上二件 紹介者 加藤 武夫）  
山 羽 儀 安 倍 亮 中 川 正 岩 澤 健 吉 作 角 谷 靜 夫

ゆり屬植物の花粉母細胞の核分裂進行中に於ける呼吸作用に就て  
ホロノミー群の可約性に就て其一擬似接續の空間  
無限位の單純分配系に就て  
位相群の群環に就て  
ノルム環とスペクトル定理（第三報）  
發散する級數及び積分に就て  
（以上五件 紹介者 高木 貞治）

大館盛岡間の水準線路の改測結果  
タルチウス分解に就て  
○—男換ビリヂン誘導體の合成  
（以上二件 紹介者 朝比奈泰彦）  
今村 明恒 塚村 彌之助 菅 澤 重彦 齋 藤 徳男 落 合 英二 板 井 孝三 吉 野 金三郎

昭和十九年三月

ルベック測度空間の不可離擴張の構成  
亂流の動的理論  
（以上二件 紹介者 高木 貞治）  
角 谷 靜 夫 伊 藤 藤 清 矢 野 健太 安 達 忠次郎

平行切線變形、共圓變換及び定點通過ベクトル場  
（以上二件 紹介者 掛谷 宗一）

精製プロテアーゼ類バインプロテアーゼ  
新精製法及蛋白分解能力新測定法  
（以上二件 紹介者 掛谷 宗一）  
皆川 豐 作

同 精製プロテアーゼの物理的及化學的性質等  
同 精製プロテアーゼの構造に關する分光化學的研究  
（以上四件 四介者 眞島 利行）  
皆川 豐 作 皆川 豐 作 皆川 豐 作

同 其組織と構造  
「さいまい」の繁殖に就て（第二報）紫色素、殊に其の細胞核との關係に就て  
（紹介者 藤井健次郎）保井コノ

學術報告

授賞事項及受賞者

一一四

非減衰擬調和振動に於ける不安定現象に就て (第二報)

内妹 田澤 郁克 雄惟

第二十七 授賞事項及受賞者

明治四十四年七月五日

恩賜賞 第一號 地軸變動の究研特に(Z)項の發見

理學博士 木村 榮

明治四十五年五月十二日

恩賜賞 第二號

佛文日清戰役國際法論及佛文日露陸戰國際法論

法學博士 有賀 長雄

同 第三號 日本醫學史

富士川 游

同 第四號 公孫樹の精蟲の發見

平瀬 作五郎

同 第五號 蘇鐵の精蟲の發見

池野 成一郎

帝國學士院賞 第一號 アドレナリンの發見

工學博士 藥學博士 高峰 讓吉

大正二年七月五日

恩賜賞 第六號 續日本後紀纂誌

同 第七號 腦神經起首の研究

醫學博士 村岡 長弼

帝國學士院賞 第二號 外部寄生性吸蟲類の研究

理學博士 上坂 熊勝

同 第三號 軍艦の設計殊に巡洋戰艦の設計

理學博士 五島 清太郎

大正三年七月五日

恩賜賞 第八號

哺乳動物の心臟に於ける刺戟傳導筋系統の研究

醫學博士 近藤 基樹

帝國學士院賞 第四號 左氏會箋

醫學博士 田原 淳

同 第五號 岩石の力學的研究

理學博士 竹添 進一郎

大正四年七月五日

恩賜賞 第九號 スピロヘータバリーダの研究

醫學博士 日下部 四郎太

帝國學士院賞 第六號 雲養集

醫學博士 野口 英世

同 第七號 蠶の遺傳研究

子爵 金 允植

大正五年七月二日

授賞事項及受賞者

一一五

農學博士 外山 龜太郎

授賞事項及受賞者

恩賜賞 第十號 假名に関する研究

同 第十一號 周公と其時代

同 第十二號 十三號

文學博士 大矢透  
林泰輔

黃疸出血性スピロヘータ病に関する共同研究

帝國學士院賞 第八、九、十、十一號

無線電信電話に使用する電氣振動間隙に関する研究

同 第十二號 鐵に関する研究

大正六年七月一日

恩賜 第十四號 日本歌學史及和歌史の研究

同 第十五號

ラウエ映畫の實驗方法及其説明に関する研究

帝國學士院賞 第十三號 漆の主成分に関する研究

同 第十四號

醫學博士 井田龍吉  
工學博士 鳥瀨右一  
醫學博士 本多光太郎  
文學博士 佐佐木信綱  
文學博士 寺田寅彦  
醫學博士 真島利行

スピネルの原子配置並に歪を受けたる物體のレントシエン線検査に関する研究

大正七年五月十二日

賜賞 第十六號 宸記集及皇室御撰解題

同 第十七號 印度六派哲學

同 第十八號 植物界に於けるフラウオン體の研究

帝國學士院賞 第十五、十六號

日本住血吸蟲病の研究

桂公爵記念賞 第一號 日本經濟叢書

大正八年五月二十五日

賜賞 第十九號

相對性原理萬有引力論及量子論の研究

帝國學士院賞 第十七號 漢字の研究(古籀篇)

同 第十八 十九號 癌腫の人工的發生の研究

授賞事項及受賞者

理學博士 石原純  
醫學博士 高田忠周  
醫學博士 山極勝三郎  
醫學博士 市川厚一郎

理學博士 西川正治  
理學博士 和田英松  
理學博士 木村泰賢  
理學博士 柴田桂太  
醫學博士 桂田富士郎  
醫學博士 藤浪  
法學博士 瀧本誠一

同 第二十號

滿俺青銅其他の銅合金及鑄鐵の鑄造に關する研究

石川登喜治

大正九年四月三十日

賜賞 第二十號 法制史之研究

文學博士 三浦周行

同 第二十一號 脂油の研究

工學博士 辻本滿丸

帝國學士院賞 第二十一號 密教發達志

大村西崖

同 第二十二號 音の異常傳播の研究

理學博士 藤原咲平

桂公爵記念賞 第二號 臺灣植物の研究

理學博士 早田文藏

大正十年五月二十二日

賜賞 第二十二號 日本佛教史之研究

文學博士 辻善之助

同 第二十三號 腦の解剖的研究

醫學博士 布施現之助

帝國學士院賞 第二十三號 クモヒトデの研究

理學博士 松本彦七郎

同 第二十四號 日本刀の研究

工學博士 俵國一

桂公爵記念賞 第三號 河豚の毒素の研究

藥學博士 田原良純

大正十一年五月二十一日

恩賜賞 第二十四、二十五號 スタルク效果の共同研究

理學博士 高嶺俊夫

帝國學士院賞 第二十五號 生體染色法に就ての研究

醫學博士 清野謙次

同 第二十六號 傳動軸の振れ計の研究

工學博士 末廣恭二

大正十二年五月二十七日

恩賜賞 第二十六號 近世日本國民史

德富猪一郎

同 第二十七號 本朝文粹註釋

柿村重松

同 第二十八號 漢藥成分の化學的研究

藥學博士 朝比奈泰彦

同 第二十九號 放射線に關する研究

理學博士 木下季吉

大正十三年六月八日

恩賜賞 第三十號 長慶天皇御即位の研究

文學博士 八代國治

同 第三十一號

蛋白質及之を構成するアミノ酸の細菌に因る分解とアミノ酸の合成に關する研究

醫學博士 佐々木隆興

帝國學士院賞 第二十七號

授賞事項及受賞者

授賞事項及受賞者

貨幣と價值並に經濟法則の論理的性質

同 第二十八號 類脂肪體の研究

同 第二十九・三十號 副營養素の研究

桂公爵記念賞 第四號 大日本金石史

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第一號  
東京日日新聞

和鏡聚英續和鏡聚英

同 第二號 放射線の研究に使用する膨脹器の研究

同 第三號

神經組織の炭酸發生並に炭酸の微量測定法の研究

大正十四年五月三十一日

恩賜賞 第三十二號 三階教の研究

同 第三十三號 構造物の振動殊に其の耐震性の研究

帝國學士院賞 第三十一號 白鼠に關する研究

法學博士 左右田 喜一郎

醫學博士 川 村 麟 也

農學博士 鈴木 梅太郎

高橋 克巳

木崎 愛吉

廣瀬 治兵衛

清水 武雄

田代 四郎助

醫學博士 矢 吹 慶 輝

物 部 長 穂

畑 井 新喜司

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第四號  
東京日日新聞

氣體の磁氣係數の測定

大正十五年五月十六日

恩賜賞 第三十四號 日本紋章學

同 第三十五號

中國地方の古生層並に中生層の層位學上の研究

帝國學士院賞 第三十二號

メシア思想を中心としたるイスラエル宗教文化史

同 第三十三號 宋末の提舉市舶西城人蒲壽庚の事蹟

同 第三十四號 元良式般船舶搖制止裝置の研究

同 第三十五號 オキシダーゼの組織學的研究

同 第三十六號 水銀避雷器の研究

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第五號  
東京日日新聞

理學博士 曾 禰 武

理學博士 沼 田 賴 輔

理學博士 小 澤 儀 明

文學博士 石 橋 智 信

文學博士 桑 原 隲 藏

工學博士 元 良 信 太 郎

醫學博士 勝 沼 精 藏

工學博士 密 田 良 太 郎

授賞事項及受賞者

一三二

熱秤分析法の研究

工學博士 齋藤平吉

同 第六、第七號

ビタミンB缺乏症の實驗的研究

醫學博士 島園順次郎

同 第八號 數種の日本産植物に關する生物化學的研究

同 醫學博士 緒方知三郎  
理學博士 小松茂

昭和二年五月二十日

恩賜賞 第三十六號

唐宋時代に於ける金銀の研究(但し其の貨幣的機能を中心として)

文學博士 加藤繁

同 第三十七號 金屬錯鹽の分光化學的研究

理學博士 柴田雄次

帝國學士院賞 第三十七號

神經に於ける不減衰傳導に關する研究

醫學博士 加藤元一

同 第三十八號

本邦石油の成分並に應用に關する研究

工學博士 田中芳雄

桂公爵記念賞 第五號 朝鮮植物の研究

理學博士 中井猛之進

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第九號

特殊鋼の物理冶金學的研究

理學博士 村上武次郎

同 第十號 微毒の起源に就ての研究

醫學博士 土肥慶藏

昭和三年四月十四日

恩賜賞 第三十八號 租稅研究

法學博士 神戸正雄

同 第三十九號

聯立積分方程式及び之に關聯せる函數論的研究

理學博士 掛谷宗一

帝國學士院賞 第三十九號 日本歌謠史

文學博士 高野辰之

同 第四十號 高速度艦船に關する研究

工學博士 平賀讓

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第十一號

本邦産植物に含まるゝ數種のアルカロイドに關する研究

藥學博士 近藤平三郎

昭和四年四月二十六日

授賞事項及受賞者

一三三

授賞事項及受賞者

恩賜賞 第四十號

地球及地殻の剛性並に地震動に關する研究

帝國學士院賞 第四十一號 極東颶風論

同 第四十二號 東洋音樂の研究

桂公爵記念賞 第六號 日本甲冑の新研究

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第十二、十三、十四、十五號  
東京日日新聞

鼠咬症の研究

同 第十六 十七號 鼠咬症の實驗的研究

昭和五年五月十五日

恩賜賞 第四十一號 日本人の動脈系統

帝國學士院賞 第四十三號

瀬戸内海の潮汐及潮流に關する研究

理學博士 志田順

理學博士 堀口由巳

田邊尙雄

山上八郎

醫學博士 二木謙三

同 高木逸磨

同 大谷角真

同 石原喜久太郎

醫學博士 足立文太郎

理學博士 小倉伸吉

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第十八號  
東京日日新聞

小惑星の發見

及川奧郎

昭和六年五月十四日

恩賜賞 第四十二號

地震波の生成傳播其他に關する理論的研究

工學博士 妹澤克惟

帝國學士院賞 第四十四號 印度哲學研究 (全六卷)

文學博士 宇井伯壽

同 第四十五號

強磁性元素及び其の合金の物理冶金學的研究

理學博士 増本量

同 第四十六號 日本に於ける膽石症

醫學博士 三宅速

昭和七年五月十日

恩賜賞 第四十三號

アイヌ 叙事詩 ユーカラの研究

金田一京助

同 第四十四號

深處に發生せる地震に關する研究

理學博士 和達清夫

帝國學士院賞 第四十七號

授賞事項及受賞者



本邦乳兒に於て屢々見らるゝ腦膜炎様病症の原  
因に就て

醫學博士 平井 毓太郎

同 第四十八號 メダカ體色遺傳の研究

會 田 龍 雄

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第十九號

重力偏差及岩石磁性に關する地球物理學的研究

理學博士 松 山 基 範

同 第二十號 超短波長電波の研究

工學博士 宇 田 新 太 郎

メンデンホール記念賞 第一號

電子の廻折に關する研究

菊 池 正 士

昭和八年五月十一日

工學博士 辻 二 郎

恩賜賞 第四十五號 光弾性の研究

同 第四十六號

脂肪酸及之を含有する生物體成分の研究

農學博士 鈴 木 文 助

帝國學士院賞 第四十九號 地動計測に關する研究

理學博士 石 本 巳 四 雄

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第二十一號

壺狀菌類の生活史に關する研究

同 第二十二號 小口氏病の研究

理學博士 草 野 俊 助  
醫學博士 小 口 忠 太

同 第二十三號

トリプトファインの中間代謝に就ての研究

醫學博士 古 武 彌 四 郎  
理學博士 野 村 博

同 第二十四號 生薑の辛味成分の研究

昭和九年五月十一日

恩賜賞 第四十七號 唐令拾遺

仁 井 田 陸

同 第四十八號 火成岩の成因に關する研究

理學博士 坪 井 誠 太 郎

帝國學士院賞 第五十號 耐火物に關する研究

理學博士 田 所 芳 秋

同 第五十一號 細胞の銀反應に就ての研究

醫學博士 今 裕

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第二十五號

湖海の水盆の振動及海流に關する海洋物理學的研究

理學博士 日 高 孝 次

同 第二十六號

デリス根の有効成分ロテノールの化学的構造に  
關する研究

農學博士 武居三吉

同 第二十七號 日本漆器の研究

澤口悟一

昭和十年五月十三日

恩賜賞 第四十九號 郷歌及び吏讀の研究

文學博士 小倉進平

同 第五十號 聖德太子御製法華義疏の研究

花山信勝

帝國學士院賞 第五十二號

鐵炭素系合金の比熱及び其の諸相の變化に伴ふ  
熱量に關する研究

理學博士 海野三郎

昭和十一年六月一日

恩賜賞 第五十一號 原語による臺灣高砂族傳説集

小川尙義

同 第五十二、五十三號

o-Amidogotololの經口的投與による肝臟癌成  
生の實驗的研究

醫學博士 佐々木隆興  
吉田富三

帝國學士院賞 第五十三號

臺灣高砂族系統所屬の研究

移川子之藏

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第二十八號  
東京日日新聞

日本上代の甲冑

同 第二十九號 胎生化學に就ての研究

醫學博士 末永雅雄

同 第三十號 インドール誘導體の合成的研究

理學博士 星野敏雄

同 第三十一號

地衣脂肪酸並にブルグイン酸系色素に關する研  
究

藥學博士 淺野三千三

昭和十二年五月十三日

恩賜賞 第五十四號 化學反應速度の熱解析

理學博士 堀場信吉

同 第五十五號 寫真電送装置に關する研究

工學博士 丹羽保次郎

伯爵鹿島萩磨記念賞 第一號

南洋委任統治領フロラの研究

林學博士 金平亮三

昭和十三年五月十三日

帝國學士院賞 第五十四號

授賞事項及受賞者

授賞事項及受賞者

有機化合物の双極子説の實驗的證明及び之れと分子構造との關係に就ての研究

理學博士 水島三一郎

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第三十二號

サボゲニンの構造に關する研究

理學博士 北里善次郎

同 第三十三號

膽汁酸の化學的及生理學的研究

醫學博士 清水多榮

メンデンホール記念賞 第二號

光波長を規準とする基線測定に關する研究

渡邊 襄

昭和十四年五月十一日

恩賜賞 第五十六號 石門心學史之研究

石川 謙

同 第五十七號 脊髓副交感神經に關する研究

醫學博士 吳 建

帝國學士院賞 第五十五號 日本文學評論史

文學博士 久松 潛一

同 第五十六號 抽象空間の研究

功力金二郎

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第三十四號

東京日日新聞

古活字版之研究

川瀬 一馬

昭和十五年五月十四日

恩賜賞 第五十八號 能樂源流考

能勢 朝次

同 第五十九號

素粒子間の相互作用に關する理論的研究並に宇宙線中の新粒子メソトロン存在に對する豫言

理學博士 湯川 秀樹

同 第六十號

化學反應速度論の理論及實驗的研究

理學博士 堀内 壽郎

帝國學士院賞 第五十七號 兵器考

工學博士 有坂 鋁藏

同 第五十八號 柿本人麿

醫學博士 齋藤 茂吉

同 第五十九號 俳文學考説

石田 元季

同 第六十號 建築々料の合成に關する研究

工學博士 牧 銳夫

同 第六十一號 鑄鐵の研究

理學博士 菊田 多利男

昭和十六年五月十三日

授賞事項及受賞者

恩賜賞 第六十一號 燉煌畫の研究・圖像篇

文學博士 松本榮一

同 第六十二號 磁電管に關する研究

工學博士 岡部金治郎

同 第六十三號 人體發汗の研究

醫學博士 久野寧

帝國學士院賞 第六十二號 南洋日本町の研究

岩生成一

同 第六十三號 色神及色盲に關する研究

醫學博士 石原忍

同 第六十四號 感光色素合成に關する研究

理學博士 尾形輝太郎

同 第六十五號 雪に關する研究

理學博士 中谷宇吉郎

昭和十七年五月十三日

恩賜賞 第六十四號 マライシヤに於ける稻米儀禮

文學博士 宇野圓空

帝國學士院賞 第六十六號

強磁性結晶體の磁氣的研究

理學博士 茅誠司

昭和十八年五月十三日

恩賜賞 第六十五號 戰時國際法講義

法學博士 信夫淳平

同 第六十六號 血液型の研究

醫學博士 古畑種基

同 第六十七號 小麥の細胞遺傳學的研究

理學博士 木原均

帝國學士院賞 第六十七、六十八、六十九號

樟腦の強心作用の本態に關する研究

醫學博士 田村憲三  
醫學博士 石原玉造  
醫學博士 木原汝

同 第七十號

絲狀菌の代謝生産物に關する生化學的研究

農學博士 藪田貞治郎

同 第七十一號 化學構造のX線的研究

理學博士 仁田勇

大阪毎日新聞 寄附東宮御成婚記念賞 第三十五號

チベンツオヒノリチン並にチベンツオインドリ  
チン誘導體の合成研究

藥學博士 菅澤重彦

昭和十九年五月十日

恩賜賞 第六十八號 唾液腺の内分泌に關する研究

醫學博士 緒方知三郎

帝國學士院賞 第七十二號 水稻冷害の生理學的研究

農學博士 寺尾博

同 第七十三號 墓毒の化學的研究

理學博士 小竹無二雄

授賞事項及受賞者

- 同 第七十四號 化學反應の微細機構に關する研究 理學博士 佐々木 申二
- 同 第七十五號 芳香族複素環鹽基に關する研究 藥學博士 落合 英二
- 同 第七十六號 地磁氣灣形變化の研究 理學博士 畠山 久 尙

### 第二十八 學術研究費補助及研究事項

自昭和十七年度(自明治四十一年略之) 至同 十九年度(至昭和十六年略之)

皇室御下賜金ノ一部及其ノ他ノ寄附金並ニ同利子等ヲ以テ本院ヨリ研究費ヲ補助スルモノニシテソノ規約左ノ如シ

- 一、研究費補助ハ本院會員タルト否トニ拘ラス一般ニ之ヲ與フ但シ會員ニ非サル者ノ場合ニ於テハ會員又ハ官公私立大學ノ總長若クハ學長ノ推薦ニ依ル
- 一、研究費補助ノ推薦書ニハ研究者ノ氏名及職名、研究題目、研究事項ノ概要、所要ノ補助金額及其用途細目ヲ明記シ且ツ審査上參考トナルヘキ研究事項ノ論文等ヲ添附スヘシ

一、既ニ研究費補助ヲ受ケタル者ニシテ之カ繼續ヲ要スル場合ニハ其旨ヲ記シ補助ヲ受ケタル研究ノ經過報告及右ニ關スル研究論文等アラハ共ニ推薦書ニ添ヘテ前推薦者經由ノ上毎年新ニ提出スヘシ

一、特別ノ場合ヲ除ク外研究費補助ハ三ヶ年以上ニ亙ルコトヲ得ス

一、研究費ノ補助ヲ受ケタル者ハ繼續補助ノ要否ニ拘ラス其年十一月末日迄ニ必ス研究ノ經過報告概要ヲ提出スヘシ

一、研究結了後ハ直ニ其成績報告ヲ提出スルコトヲ要ス

一、前二項ノ報告以外ニ重要ナル學術業績ノ概要ヲ隨時本院總會ニ於テ發表スヘシ但シ此場合ニハ本院會員ノ紹介ヲ要シ且ツ其概要ハ本院刊行ノ Proceedings of the Imperial Academy 又ハ帝國學士院邦文紀事ノ何レカニ掲載スヘシ

一、補助ヲ受ケタル研究ノ成績ヲ發表スルトキハ補助ヲ受ケタル旨ヲ明記シ又本院補助ニヨリ出版セラレタルモノハ必ス本院ヘ其ノ出版物ヲ寄贈スルコトヲ要ス

一、推薦書ハ凡テ院長ニ宛テ左ノ區別ニ依リ必ス期日迄ニ本院ニ到着スル様之ヲ送附スヘシ

本院ヨリ補助ヲ受ケントスル場合

毎年十一月末日

東照宮三百年祭、近藤記念海事財團ヨリ補助ヲ受ケントスル場合

毎年十一月末日

末延財團ヨリ補助ヲ受ケントスル場合

毎年二月末日

高松宮へ推薦スヘキ有栖川宮獎學費ヲ受ケントスル場合

毎年四月末日(但推薦者ハ會員ニ限ル)及十月末日

藤田男爵獎學費ヲ受ケントスル場合

毎年十一月末日

子爵夫人末松羅馬法獎勵獎學品ヲ受ケントスル場合

毎年十一月末日

一、研究費補助ノ繼續ヲ要スル場合モ前項ノ期日ニ從ヒ毎年推薦書ヲ提出スルコトヲ要ス

一、補助金請求書ハ院長ニ宛テ直接本院ニ提出セラルヘシ

一、本院ノ推薦ニ依リ高松宮、東照宮三百年祭記念會、近藤記念海事財團等ヨ研究費ノ補助ヲ受ケタル場合ニ於テモスヘテ前記各事項ヲ適用ス

一、推薦書ハ申込ニヨリ送付ス

以上

昭和十七年度、昭和十八年度及昭和十九年度ニ於テ本院ヨリ研究費ノ補助ヲ受ケタルモノ左ノ如シ

昭和十七年度

一般資金ニ依ルモノ

東洋諸民族の心身特徴に關する比較研究

田中寬一

日本精神史に於ける「き」(氣)並に「かたぎ」(形氣、氣質)なる語の歴史的比較的及統計的研究

田井正一

日本に於ける佛蘭西語學史の研究  
本邦農耕儀禮の特殊研究

藤田東一郎

津田眞道遺著の整理解説及出版

古野清人

黄道光の寫眞測定

大久保道利

人工放射能

津田内時男

鳥類及哺乳類に於ける羽毛の季節的變化に關する研究

嵯峨本根遼吉

二十世紀梨の袖膚に關する研究

岡田脇本根吉

學術研究費補助及研究事項

一三七

寺見廣雄

竹田脇本根吉

八田脇本根吉

寺見廣雄

學術研究費補助及研究事項

- ナマコ類に關する研究
- フリーテルクラフツ反應アルキル化の研究
- 日本に於ける柑橘瘡病に關する研究
- 日本白堊系産菊石化石の研究
- 植物生長點の細胞生理學的研究
- 大根に於ける半不稔性特に染色體變異の發現に關する研究
- 屋久島に於ける森林土壤型の研究
- 梅の育種學的研究 (I) 太宰府神社苑梅樹の細胞學的研究
- 日本西南部に於ける蕨苔類の分類學及生態學的研究
- 吸蟲類の排泄系の研究
- 菊科植物に關する細胞學的研究
- 白鼠を材料とする發生機構學的研究
- 兩棲類に於ける倍數性の研究
- 日本の無機酸性水域に於ける植物群落の生態學的研究
- 化學藥品特にマンガン化合物の兩棲類の性決定に及ぼす影響の研究
- 甘藷苗増産に關する研究主として甘藷塊根に於ける生長素の萌芽抑制の機轉に就て
- 球根植物の細胞學的研究
- 作物の三原雜種に關する細胞遺傳學的並に育種學的研究

一三八

- 山内季彦
- 穴谷幸雄
- 常谷達郎
- 松本均郎
- 小島榮二
- 福島榮
- 川島祿郎
- 永松士巳
- 堀川定雄
- 岩政芳治
- 尾崎佳正
- 下斗米直昌
- 平岩馨邦
- 川村智治郎
- 根來健一郎
- 堀江秀光
- 青木常盤
- 唐澤光太郎
- 中島吾一

松方資金ニ依ルモノ

- 支那兒童の教育心理的研究
- 我國近世民事裁判の研究
- 現代日本農業經濟學史の研究
- 海底群衆の定量的研究
- 精子發生時に於ける絲粒體分裂とゴルヂ體分裂に關する研究
- 金龜子類の生態學的研究
- 北日本牧野の植物學的研究
- 日本産マツタケ科の研究
- 林木種子發芽機轉に關する研究
- 本邦鑛泉に棲息する植物の研究
- 羊齒植物の細胞學的研究
- 芋の栽培並に品種の調査に關する研究

學術研究費補助及研究事項

一三九

- 久保良英
- 小早川欣吾
- 我妻東策
- 宮地傳三郎
- 佐藤井岐雄
- 神谷一男
- 館脇三子
- 今井三子
- 山口千之助
- 江本義一
- 米田弘幸
- 廣瀬弘幸
- 湯淺明
- 小坂博

會員

- 瀨川宗吉
- 沼野井春雄
- 飯沼康雄
- 今村彌之助

學術研究費補助及研究事項

小池資金ニ依ルモノ

食品防疫に關する研究

新血液型に關する研究

フオスファターゼに關する組織化學的研究

化學物質の癌原性作用に關する實驗的研究

古籀篇資金ニ依ルモノ

唐を中心とする支那樂器の歴史的研究

鈴木資金ニ依ルモノ

デベンツオインドリチン誘導體の合成研究

リゾープス屬の酸醱酵に關する研究

クロウメモドキ樹皮成分の研究  
難溶性磷酸鹽の構造及肥效に關する研究  
遊離基及原子の關與する反應  
膜電極の研究

本邦に於ける稀産元素資材資源に關する地球化學的研究

煙霧質に關する研究  
植物生長ホルモンの合成  
除蟲菊花生中に含まるゝ結晶性樹脂成分に關する研究  
スチルベン誘導體の合成的研究  
製紙廢液及廢糖蜜を原料とする各種醱酵試驗  
メタノールの接觸分解

鹿島資金ニ依ルモノ

現世及化石珊瑚並に珊瑚の研究  
日本住宅建築史の研究  
平安時代建築の研究

學術研究費補助及研究事項

棟朝坂	兒菅	岸	金鶴	高島	中里	保吉	高久	井正古	遠
方井	口玉澤	邊	崎	井内	内見	野田	松保	關木	畑山
博勇	謹國重	成	暢	秀琢	三正	正富	英久	尙信	種祐
久宜郎	美彦	雄	權宏	雄磨	郎義	之三	雄雄	榮夫	基三

角太矢	田橫伊	高田	玉	鮫	黑野	南木	山	島	漆	藤	二
田田部	村田藤	岡村	利	島	田口	村	口	原	原	國	
文靜長	幹勝光	道悌	勤	實	喜英	健	與	義	彰	二	
次六克	雄彌治	夫一	郎	郎	夫雄	一郎	平	修之	夫	郎	

會員



學術研究費補助及研究事項

霜柱の生長に就て

アルミニウム-マグネシウム系合金の研究

万年資金ニ依ルモノ

筋肉蛋白質に關する研究

矢野生命保險記念資金ニ依ルモノ

人文科學の一部門としての統計學の本邦に於ける濫觴及發展

マラリヤ蚊に關する研究

北支那人腦特に腦幹及脊髓の組織學的研究

カラザール傳播經路の實驗的研究

昭和十八年度

一般資金ニ依ルモノ

日本に於ける佛蘭西語學史の研究

日本精神史に於ける「き」(氣)並に「かたぎ」形氣・氣質なる語の歴史的比較的及び統計的研究

平曲史の研究—主として文獻による

本邦耕儀禮の特殊研究

津田眞道遺著の整理解説及出版

近代兵制史研究(幕末より明治初期に至る)

我が國に於ける協同體生活の歴史的研究

唐船風説書の研究

支那天主教教會の教育の歴史的研究

山鹿素行の研究

固態電媒質の偏極に關する研究

人工放射能

金屬の分子スペクトルに關する研究

航空機用揮發油の合成研究

大館盛岡間の精密水準線路改測に依る陸地變形の研究

岩石の永久磁性に關する研究

學術研究費補助及研究事項

一四二

藤田東一郎  
佐伯田榮三  
三ヶ島秀雄

神立誠

會員

高野岩三郎  
石井信太郎  
鈴木直吉  
照井精一  
竹中憲  
大野司  
徐全  
高十  
五保道  
久保野重  
牧野金  
神田

藤田東一郎

中井正一

富倉徳次郎

古野清人

大久保道利

津田清治

井上清

和歌森太郎

浦康一

平塚益徳

阿部隆一

西川正信

柿内賢治

巖根梧

宮本彌三

森本彌三

堤八

今村明之

大塚彌之

加藤愛

齋藤良

一四三

學術研究費補助及研究事項

- 日本白堊系産菊石化石の研究
- 作物の三原雜種に關する細胞遺傳學的並育種學的研究
- 菊の雜種の細胞遺傳學的生理學的研究
- 球根植物の細胞學的研究
- 本邦産紅藻に於ける囊果形成に關する研究
- 鳥類及哺乳類の羽毛の季節的變化に關する研究
- 吸蟲類の排泄系の研究
- 白鼠を材料とする發生機構學の研究
- 菊科植物に關する細胞學的研究
- 酸化チタン系蓄電器誘電材料の製造に關する基礎的研究
- 農作物の生産指數に關する農業氣象學的研究
- 諸苗増産に關する研究
- 糸狀菌ベニシリウム・フニコロスム・トムの代謝生産物に關する研究
- 家蠶膿病多角體の生化學的研究
- 松方資金ニ依ルモノ
- 我國近世民事裁判の研究
- 本邦鑛泉に棲息する植物の研究

一四四

廣米江 小 池 五 青 大 青 下 平 尾 八竹岡 瀨 唐 飯 中 松  
 瀨田木 早川 田 十 木 後 斗 岩 崎 田 川 澤 沼 島 本  
 弘勇義 小 田 風 常 美 米 馨 佳 亨 宗 光 康 吾 達  
 幸一數 吾 博 尙 盤 保 雄 昌 邦 正 二 潔 要 吉 郎 雄 一 郎

- 北日本牧野の植物學的研究
- 海底群衆の定量的研究
- 海湖に於ける無氣層の生物學的研究
- 植物生長點の細胞生理學的研究
- 日本産蝙蝠の習性に關する研究
- 精子發生時に於ける絲粒體分裂とドルヂ體分裂に關する研究
- 菊芋の栽培並に品種の調査に關する研究
- 砧木の種類と果樹根群の變異に就て
- 二十世紀梨の袖膚に關する研究
- 金龜子類の生態學的研究
- 朝鮮産マツタケ科の研究
- 小池資金ニ依ルモノ
- 食品防疫に關する研究
- コツホ・ウキークス菌を以てするペラグラ病の病因研究
- 肺臟並に心臓の機能検査に就て

學術研究費補助及研究事項

一四五

中保吉 西伊海 朝後 遠  
 內野田 城 老日 藤山  
 三正富 吾 敏 吉 正 祐  
 郎之三 郎勤 明 信 勝 三  
 今 神 寺 木 小 佐 下 小 小 宮 館  
 井 谷 見 村 坂 藤 泉 島 保 傳 三  
 三 一 廣 光 井 重 均 治 郎 操  
 子 男 雄 雄 博 雄 吉 均 治 郎 操

學術研究費補助及研究事項

化學物質の癌原性作用に関する實驗的研究

妊娠中毒症の成因に関する研究

鹿島資金ニ依ルモノ

霜柱の生長に就て

現世及び化石珊瑚並に珊瑚礁の研究

アルミニウム—マグネシウム系合金の研究

日本に於ける柑橋瘡痂病に関する研究

鈴木資金ニ依ルモノ

デベンツオインドリチン誘導體の合成研究

遊離基及び原子の關與する反應の研究

膜電極の研究

煙霧質に関する研究

本邦に於ける稀産元素資源に関する地球化學的研究

温泉及び地下水の地球化學的研究

低速電子衝擊による金屬上の吸着氣體の脱離

ブラチゴヂゲニン(桔梗サボゲニン)の構造研究

磷酸鹽の土壤中に於ける化學的變化に関する研究

木材の物理的及び化學的研究

低級オレフィンより航空潤滑油の合成

水素添加重合觸媒作用の研究

リゾーブス屬による酸類生産に関する研究

除蟲菊花中に含まるゝ結晶性樹脂成分に関する研究

植物生長ホルモンの合成

萬年會資金ニ依ルモノ

下等褐藻類の生活史の研究

矢野生命保險記念資金ニ依ルモノ

學術研究費補助及研究事項

會員

一四六

島内 嶋義 嶋義 嶋義  
嶋内 嶋義 嶋義 嶋義  
嶋内 嶋義 嶋義 嶋義  
嶋内 嶋義 嶋義 嶋義

藤田 朋榮 子子  
佐伯 朋榮 子子  
渡邊 朋榮 子子  
矢部 長 扶

菅澤 貞重 雄彦  
大木 貞重 雄彦  
漆原 義 雄彦  
島村 義 雄彦  
山口 與 雄彦  
山島 實三 郎

木村 健二 郎  
南村 喜三 郎  
野口 喜三 郎  
石川 義 郎  
辻本 孫三 郎  
新本 孫三 郎  
藤原 彰 夫  
久保 輝一 郎  
瀧澤 益 二 郎  
斯波 忠 夫  
坂口 謹一 郎  
朝井 博 久 郎  
棟方 博 久 郎  
田村 悌 治 郎  
玉利 勤 治 郎

一四七

國枝 溥

學術研究費補助及研究事項

人文科學の一部門としての統計學の本邦に於ける濫賜及び發展  
北支那人腦特に腦幹及脊髓の組織學的研究  
カラアザールの傳播徑路に關する研究

會員

一四八  
高野岩三郎  
鈴木直吉  
鈴木精一  
鈴木義一  
鈴木道夫  
鈴木勉

昭和十九年度一般

資金ニ依ルモノ

我が中世に於ける村落家族協同體生活の研究  
近代兵制史研究  
平曲史の研究主として文獻による  
山鹿素行の研究  
本邦農耕儀禮の特殊研究  
支那天主教々會の教育の歴史的研究  
唐船風説書の研究  
東北凶冷の豫察に關する研究  
岩石の永久磁性に關する研究  
晚期岩漿作用及び後火成作用による鑛物の生成及び變化に關する研究

會員

和歌森太郎  
井上清一郎  
富倉徳次郎  
阿部隆一  
古野清人  
平塚益徳  
浦川篤一  
荒川秀俊  
加藤愛一  
齋藤良一  
坪井誠太郎

作物の三原雜種に關する細胞遺傳學的並に育種學的研究  
本邦産紅藻に於ける囊果形成に關する研究

鳥類及び哺乳類に於ける羽毛の季節的變化に關する研究  
ナマコ類の含有する毒素の研究  
吸蟲類の排泄系の研究  
諸苗増産に關する研究主として甘藷塊根に於ける萌芽抑止物質の機轉に就て  
農作物の生産指數に關する農業氣象學的研究  
下等褐藻類の生活史の研究  
家畜膿病多角體の生化學的研究

松方資金ニ依ルモノ

我國近世民事裁判の研究  
遠江國東南地域の傾動  
海中電氣測定  
西南日本産角閃安山岩の研究  
日本産蝙蝠の習性に關する研究  
本邦鑛泉に棲息する植物の研究

學術研究費補助及研究事項

會員

一四九  
中川宗吾  
瀨川協二  
岡田年正  
竹内佳彦  
山崎佳正  
尾崎常盤  
青木美保  
大後美保  
國枝  
池田博  
小早川欣吾  
今村明恒  
平山定勝  
種子山重吉  
下田義重  
江本義重  
米田義重  
廣田幸一

學術研究費補助及研究事項

海灣湖水に於ける無氣層の生物學的研究  
覺醒アミンの實驗的研究  
軍用スキールの臺木に關する研究  
一、木材解剖學的檢討  
家畜の副乳頭に就て  
洪水狀態土壤に於ける遊離窒素固定に就いて

○小池資金ニ依ルモノ

妊娠中毒症の成因に關する研究  
北支那人腦幹及び脊髓の組織學的研究  
傳染病豫防對策と榮養に關する研究  
食品防疫に關する研究  
カラアザールの傳播徑路に關する研究

古箱篇資金ニ依ルモノ

太平天國叛亂の研究

○鹿島資金ニ依ルモノ

霜柱の成長に就いて  
イテフの形態學的研究  
戰傷肢體不自由者と温泉其の一戰傷四肢切斷者と温泉  
コルク資材の増殖に關する研究  
日本に於ける柑橋瘡癩病に關する研究

○鈴木資金ニ依ルモノ

電子廻折に依る解媒表面構造の研究  
グアニジン化合物の合成的研究  
磷酸鹽の土壤中に於ける化學的變化に關する研究  
除蟲菊の花中に含まるゝ結晶性脂肪成分に關する研究  
種々の膠質に對するカロニン硫酸鹽の凝固阻止作用の研究  
遊離基及び原子の關與する反應の研究  
膜電極の研究  
本邦に於ける稀産元素資源に關する地球化學的研究

學術研究費補助及研究事項

小久保清治  
小林龍男  
平井左門  
平林  
初見泰助  
眞柄正  
張副手  
外中直  
竹中直吉  
矢追直  
多川清  
荒谷  
遠山祐三  
久保道勉  
杉本勉

藤邊明子  
佐藤和治  
前田道三  
佐藤敬二  
常谷幸雄

山口喜成  
杉野敬二  
大戸彰一  
藤原彬夫  
田村悌一  
左右田徳郎  
漆原義徳  
島村義  
山本與  
木村健  
南英二  
野口喜三  
雄一郎

高松宮へ推薦スヘキ有栖川宮記念奨學資金受領者補助要項及研究事項 一五二

温泉地下水、坑内水の利用に關する化學的研究  
マグネシウム電池の研究  
ベンツオヒノリチン及びベンツオインドリチン誘導體の合成研究

イツインドリン誘導體の合成研究

植物生長ホルモンの合成

ビタミン類の相互補助作用に關する研究

水田土壤の膠質化學に關する研究

金屬の分子スペクトルに關する研究

糸狀菌ベニシリウム・フニクロスム・トムの代謝生産物に關する研究

○萬年會資金ニ依ルモノ

朝鮮半島に於ける農業氣象の史的研究

- 野口喜三雄
- 菊池眞一
- 菅大重
- 菅本貞彦
- 菅澤重夫
- 菅尾順一
- 岩尾重彦
- 玉利勤治郎
- 小柳達男
- 西垣晋
- 森本彌三
- 五十嵐久尙
- 田村專之助

第二十九 高松宮へ推薦スヘキ有栖川宮記念奨

學資金受領者補助要項及研究事項 (自昭和二年略之至同十五年略之)

高松宮ニ於テ有栖川宮記念トシテ學術獎勵資金ヲ設ケラレ學術上有益ナル研究並ニ其ノ發表ヲ補助スル爲メ奨學資金ヲ毎年一月十五日及七月五日ノ二回ニ分チ御授與アラセラルル趣ヲ以テ大正十五年十月右資金受領候補者ノ選定方ヲ本院ニ御依頼アリタルモノナリ

其ノ要項左ノ如シ

一、研究題目ハ日本若クハ東洋ノ文化ニ關スルモノヲ主トスルコト

二、發表並ニ授與ハ高松宮ニ於テ行ハルヘキコト

本院ノ推薦ニ依リ昭和十六年度及昭和十七年度ニ右奨勵金ヲ受ケタル研究事項左ノ如シ

昭和十六年度

古文書記録に見えたる成語の史的研究

附古文書記録辭典の編纂

古事記校本の編纂

西周遺著の整理解説及出版

本邦農村に於ける祭祀組織と祭禮

高松宮へ推薦スヘキ有栖川宮記念奨學資金受領者補助要項及研究事項 一五三

- 布施秀治
- 濱湯久孝
- 大久保利謙
- 原田敏明

高松宮へ推薦スヘキ有栖川宮記念奨學資金受領者補助要項及研究事項 一五四

日本典禮の研究

昭和十七年度

古文書記録に見えたる成語の史的研究  
附古文書記録辭典の編纂

滿洲國及び北支那に於ける佛教禮拜像の圖像學的研究

本邦農村に於ける祭祀組織と祭禮

日本典禮の研究

昭和十八年度

古事記校本の編纂

往來物から見た初等教育の發達

古事記と日本書紀との關係に就きての研究

滿洲國及北支那に於ける佛教禮拜像の圖像學的研究

日本諸方言の音聲學的調査研究

一五四

福野 實久 孝英藏  
日河 實久 資

濱澤 湯田 久 敦孝  
原 見梅 榮 明

福野 實久 資  
日河 實久 資

濱澤 湯田 久 敦孝  
石川 善 磨 謙

太田 善 磨 謙  
逸見 梅 榮 壯

宮良 當 壯

第三十 東照宮三百年祭記念會へ推薦ノ補助

研究事項 (自大正五年略之) 至昭和十五年略之)

東照宮三百年祭記念會ヨリ毎年九月若クハ十月中ニ次年度ニ於ケル新規補助金額ヲ提示シ補助ヲ要スル學術研究事項ノ推薦方ヲ本院ニ依頼アリタルモノナリ  
本院ノ推薦ニ依リ、昭和十七年度、及昭和十九年度ニ同會ヨリ補助ヲ受ケタル研究事項左ノ如シ

昭和十七年度

ニマチン及類似化合物體の合成研究

解熱劑としての地龍の成分研究

低酸素血状態の病態生理

東照宮三百年祭記念會へ推薦補助研究事項

一五五

菅井 喜重 一彦  
櫻田 井 喜重 一彦  
緒田 中 方 時 彦章  
笠原 原 源 四  
岡 久 源 四  
江 木 源 四  
永 田 川 義輝  
白 石 川 義輝  
深 川 義輝  
元夫 一雄 敏郎 亨

東照宮三百年祭記念會へ推薦補助研究事項

本邦産非海棲貝化石の總括的研究  
岩石の永久磁性に關する研究

昭和十八年度

炭酸ガス水素混合ガスより液體燃料の合成に關する研究  
海洋資源動物の基礎生物學的研究  
ゼニゴケ科植物の細胞遺傳學的研究  
南方原住民族の精神醫學的研究  
日本住宅建築史の研究  
平安時代建築の研究  
梅の育種學的研究 (Ⅰ) 太宰府社神苑梅樹の細胞學的研究

昭和十九年度

○東照宮三百年祭記念會へ推薦スベキモノ  
江戸時代天文記録の蒐集  
オシロイバナの遺傳學的研究  
關東地方に於ける救荒用植物分布に對する研究

一五六

鈴木好一  
齋藤良愛一

崎川範行  
野村七錄  
辰野誠三  
分中島脩  
太田靜六  
塚本文次  
永松土巳

神田茂  
篠原基喜  
笠原尙次郎  
辰濃尙次郎

腎臟機能の病理生化學的研究

南方原住民族の精神醫學的研究

都市防空的構築に關する研究

立體構造特に殼構造法に關する研究

匠明殿屋集に就て日本住宅建築木割の研究

黒黴の酸醱酵に關する研究

酪酸菌の分類に關する研究

梅の育種學的研究 (Ⅰ) 太宰府神社神苑梅樹の細胞學的研究

第三十一 末延財團へ推薦ノ補助研究事項

(自昭和十五年略之)

末延財團ニ於テ國史ニ關係アル學術研究事項ニ對シ研究助成ノ爲昭和九年以降獎學資金ヲ補助スヘキ趣ヲ以テ同年五月之カ推薦方ヲ本院ニ依頼アリタルモノナリ  
本院ノ推薦ニ依リ昭和十七年度、昭和十八年度及昭和十九年度ニ同財團ヨリ補助ヲ

坂玉 井本 正秀 光夫  
中分 島脩 俊三  
田邊 平 學  
坪井 善 勝  
關野 克  
坂馬場 眞護 一郎 郎  
朝井 勇 宣  
永松土巳



受ケタルモノ左ノ如シ

昭和十七年度

鎌倉幕府政治組の研究

蕃書調所の研究

中世税制の研究、特に公事(諸役)に就いて

昭和十八年度

蕃書調所の研究

中世税制の研究特に公事(諸役)に就て

昭和十九年度

段米、段錢の研究

日本の學としての宋學の成立過程並にその特徴に就て

禪宗史の研究並に「禪宗編年史」の編纂

戰國時代の紅寺行政

田	白	和	高	高	原	高	原	佐
中	石	島	柳	柳	平	柳	平	藤
久	芳	芳	光	光	三	光	三	進
夫	留	男	壽	壽	三	壽	三	一

第三十二 近藤記念海事財團へ推薦ノ補助

研究事項 (自昭和十二年略之 至同十五年略之)

近藤記念海事財團ニ於テ海事關係ノ學術研究事項ニ對シ補助金ヲ支出スヘキ趣ヲ以テ昭和十一年十二年之ガ推薦方ヲ本院へ依頼アリタルモノナリ  
本院ノ推薦ニ依リ、昭和十七年度、昭和十八年度及昭和十九年度ニ同財團ヨリ補助ヲ受ケタル研究事項左ノ如シ

昭和十七年度

高速回轉用フルカン流動接手の實驗的研究

ディーゼル機關の噴油器の研究

昭和十八年度

大阪灣に於ける河川による淡水と海水との混合狀態に關する研究

昭和十九年度

船舶用小型蒸気タービンの理論的並びに實驗的研究

川	山	山	林	菅
田	本	本	木	原
正	次	英	克	行
秋	雄	夫	彦	三

第三十三 財團法人海防義會へ推薦ノ補助研究事項

財團法人海防義會へ推薦補助研究事項

財團法人海防義會ヨリ學術研究助成ノ目的ヲ以テ昭和十六年ヨリ同十八年マテ三箇年ニ亙リ補助金ヲ支出スヘキ趣ヲ以テ昭和十五年十二月之カ推薦方ヲ本院ニ依頼アリタルモノナリ其ノ條件左ノ如シ  
一、帝國ノ海防ニ資スル特殊事項ノ基礎的研究ヲ助成獎勵スルコト  
本院ノ推薦ニ依リ、昭和十七年度、昭和十八年度及昭和十九年度ニ同會ヨリ補助ヲ受ケタルモノ左ノ如シ

昭和十七年度

- 高空に於ける飛行家の知覺變化とその對策
- 航空機用揮發油の合成研究
- 海流及潮流の理論的研究
- 操舵角操舵力計の試研究

昭和十八年度

- 高空に於ける飛行家の知覺變化とその對策
- 操舵角及び操舵力計の試作研究
- 高速氣流の研究

淡路 圓治郎  
 堤 高孝次  
 日 藤政市  
 近 藤政市  
 淡路 圓治郎  
 近 藤政市  
 古賀 豊城

昭和十九年度

- 操舵角及び操舵力計の試作的研究

近藤政市

第三十四 藤田男爵獎學費受領者 (自大正七年略之) 至昭和十五年

昭和十八年度

- 羅馬法學獎學費
- 探鑛冶金學及關係學科獎學費

東京帝國大學法學部學生 赤土正眞  
 東京帝國大學理學部學生 渡邊和徳

昭和十七年度

- 羅馬法學獎學費
- 同
- 探鑛冶金學及關係學科獎學費

東京帝國大學法學部學生 矢澤和  
 同 三ヶ月章  
 東京帝國大學理學部學生 三井清弘

昭和十八年度

- 探鑛冶金學及關係學科獎學費

東京帝國大學理學部學生 諏訪彰

藤田男爵獎學費受領者

第三十五 子爵夫人末松生子羅馬法獎勵

獎學品受領者 (自大正七年略之至昭和十五年略之)

昭和十六年度

東京帝國大學法學部學生	赤土正眞	相坂治	林清一
京都帝國大學法學部學生	金田秀實	別役道久	高村羊治
早稻田大學法學部學生	鴨脚和夫	伊藤雅通	北尻豐彦

昭和十七年度

東京帝國大學法學部學生	矢澤章	榑居宏	栗栖弘臣
京都帝國大學法學部學生	三ヶ月章	内田浩	松井巖

松田義一

早稻田大學法學部學生

小野一男

鷺塚錦司

細田彌彦

桑原正夫

昭和十八年

東京帝國大學法學部學生

菅井善

近藤康

早稻田大學法學部學生

福島洋男

井上圭三

山本修三

第三十六 事業

業

(本事業關係職員ハ第四十二委員事業擔當會員囑託員ノ項ヲ參看セラレタシ)

(一) 皇室制度の歴史的研究

昭和十七年一月ヨリ十二月ニ至ル一年間ニ於テ、皇室制度史編纂ニ關シ爲シタル事業ノ概要左ノ如シ

第一、本年三月「皇室制度史」第五卷ヲ發刊セリ。同卷ニハ、天皇第三章「神

器」ノ章ヲ收ム。同編第一章「國體」及ビ第二章「皇位繼承」ノ各章ハ、ソレゾレ一章ヲ二卷ニ分チシガ、本章ハ一卷ヲ以テ其ノ全部ヲ完載セリ。本卷ノ紙數六百六十二頁、外ニ別冊トシテ附圖十一葉ヲ添フ。

第二、本年中ノ主タル事業ハ「皇室制度吏」第六卷所收ノ天皇第四章「稱號」ノ本文竝ニ資料ノ編纂ナリ。本章モ一卷ヲ以テ其ノ全部ヲ完載シ、之ヲ四節ニ分ツ。第一節「帝號」、第二節「敬語及ビ書式」、第三節「御名」、第四節「諡號及ビ追號」是ナリ。本卷ノ編纂ハ既ニ前年中ニ著手セル所ナリシガ、本年ニ引續キ本文ノ起草校訂、資料ノ蒐集整理ニ從事シ、八月ヲ除クノ外毎月數回編纂委員會ヲ開キテ之ヲ檢討シ、略其ノ全部ヲ完了スルコトヲ得タリ。其ノ意外ニ多クノ日子ヲ費シタルハ、主トシテ資料ノ蒐集整理ニ努メテ周到ヲ期シタルニ由ル。原稿モ略其ノ整理ヲ了ヘタルヲ以テ、追テ印刷ニ付シ、成ルベク本會計年度中ニ發刊シタキ希望ナルモ、印刷工場ノ現状ヲ以テハ或ハ多少遲延スルヤモ計リ難シ。原稿ノ紙數約二千三百五十枚、印刷頁數ハ七百頁ヲ超ユル見込ナリ。

第三、第六卷ノ編纂ト並行シテ、第七卷ノ編纂ニ付キテモ、其ノ準備ニ從事セ

○。第七卷ニハ、天皇編第五章「太上天皇」ノ全部ヲ收ムル豫定ニシテ、既ニ其ノ内容概目ノ立案ヲ終ヘ、目下其ノ本文竝ニ資料ノ編修ニ從事中ナリ。

### (二) 日蘭關係交通資料調査

本年ニ度於テハ、時局ノ關係上、資料ノ蒐集不能ニシテ報告スベキコトナリ。

### (三) 帝國學士院六十年史編纂

本院六十年史ノ編纂ハ、目下印刷ニ着手シテ組版ノ進抄中ナリ。

本六十年史ハ、本卷一冊、別卷一冊、合セテ二冊トス。本卷約八百頁、別卷約四百頁ノ豫定。本卷ハソノ内容ヲ前史及ビ本史ノ二部ニ分チ、前史ニハ江戸時代ノ昌平夔、蕃書調所ヨリ、明治初年ノ明六社等本院創立ノ前史トナル分ヲ掲ゲ、更ニ又西洋學士院制度ニ關スル知識ノ輸入ノ徑路等ヲ考證シテ本院創設ノ由來ヲ説キ、更ニ本史ハ之ヲ東京學士會院時代(明治十二年一月ヨリ同三十六年六月ニ至ル)及ビ帝國學士會院時代(明治三十六年六月ヨリ同三十九年六月ニ至ル)ノ二期ニ分チ、各期ヲ沿革編、事業ニ分ツテ本院發展ノ跡ヲ述ブ。別卷ハ、賀表、「各國學士院紀略」(明治十三年刊)、東京學士會院雜誌總目錄、授賞審査要旨、研究補助事項、院長演說集ヲ收ム。

(四) 東亞諸民族調査

昭和十六年十二月ヨリ同十七年十二月現在ニ至ル東亞諸民族調査委員會ノ主ナル事業次ノ如シ。

1 東亞民族分布圖ノ完成

前年度中ニ作成ヲ了シタル東亞民族分布圖ハ、本年三月大政翼賛會東亞局ノ手ニテ印刷出版シ、本院ニハ中八百部ヲ引取り、關係各方面ニ配布シタリ。

2 「東亞民族名彙」増補改訂ノ編輯

昭和十六年十月本委員會ノ刊行セル「東亞民族名彙」ハ、當時印刷所ノ狀況不良ニシテ誤植多ク、又索引ヲ付テ得ザリシ爲、實際使用ニ不便少カラズ、且研究者ノ間ニ分與ノ希望益々増加セリ。ヨツテ須田囑訓ノ手ニテコレニ改訂ヲ施シ、更ニ「ニューギニヤ」ヲハジメ「メラネシヤ」諸民族ノ名稱住地ヲ加ヘテ、新ニ増補改訂版トシテ出版スルコトニ決シ、スデニ略々ソノ編輯ヲ了セリ。

3 「東亞諸民族一覽」附東亞民族分布擴大區分圖」ノ作成

「東亞諸民族一覽」一冊、及ビ「東亞民族分布擴大區分圖」(言語及ビ宗教分布圖

ヲ加ヘ總數十五枚)ハ兩者ヲ一券合ニシテ出版スルコトナリ、ソノ一部ハ既ニ印刷ニ着手、殘餘ハ目下調査室ニ於テ原稿整理中ナリ。

4 第一次山西學術調査研究團參加、並ニ北支蒙疆地區國民調査

現地調査ノ方面ニ於テハ、本年四月ヨリ六月ニカケテ行ハレテ第一次山西學術調査研究團人類學班ニ、本委員會調査囑詐野村正良ヲ參加セシメ、次デ七八ノ兩月ニハ、調査囑託須田昭義、石田英一郎、野村正良、及ビ臨時調査ヲ依頼セル前記山西學術調査團員染木照ノ四名ヲ派シテ、蒙疆北支ニ於ケル國民ノ學術的調査ヲ行ハシメタリ。ソノ結果ニ就テハ、本調査室報告會ニ於テ概要ヲ發表シタルモ、追テ之ヲ整理シテ印刷ニ附スル豫定ナリ。

5 専門家ノ報告會ト同記録ノ印刷

本年ニ入りテヨリ開催シタル報告會ハ次ノ如シ。

民族政策ヨリ見タル蘭印ノ統治

平野義太郎

(二月十三日)

古代支那南方ニ住セル民族ニ就テ

松本信廣

(三月十一日)

北東亞細亞ノ古代民特ニニ婁ニ就テ

三上次男

(四月十日)

ミクロネシヤノ婚姻法及ビ相續法

中川善之助

(六月五日)

高砂族習俗斷片

岡田謙

(七月七日)

蒙疆旅行談

須田昭美

(九月廿五日)

所謂漢回ノ生活習俗

石田英一郎

(十月十二日)

蒙疆ニ於ケルスケツチ並ニ蒐集參考資料ニ就イテ

染木煦

(十月十二日)

周口店ノ遺蹟ニ就イテ——標本供覽——

長谷部言人

(十一月十日)

北支山西及ビ蒙疆ニ於ケル支那語方音ノ分布ニ就イテ

野村正良

(十二月十一日)

尙従前ノ報告會記録中本年中ニ印刷頒布シタルモノハ次ノ五篇ナリ。

東亞先學史ノ一使命 (記録第五號)

八幡一郎

古代北東アジアノ諸民族

——特ニ挹婁民ニ就イテ—— (記録第六號)

三上次郎

マライシヤニ於ケル稻米儀禮 (記録第七號、英文)

宇野圓空

印度支那諸民族ニ關スル民族學的研究ノ現状 (記録第八號)

山本達郎

南方ノ民族ト人口問題 (記録第九號)

小山榮三

### (五) 明治前日本科學史編纂

明治前日本科學史編纂事業ハ、昨年十二月ニ報告セシ以來、豫算モ參拾萬圓ト定マリ、五ヶ年計畫、即チ昭和十六年一月ニ始マリ同二十年十二月ニ終了ノ豫定ヲ以テ、全卷三十冊ノ編輯ヲ、昨年報告ノ方針ニ依リ進行スルコトトシ、着々進

抄シツ、アリ。

本年中ハ擔當會員委員會、擔當會員及編纂委員合同ノ委員會各五回開會、編纂ニ就テノ豫算及事業ノ打合セヲ行ヒタリ。其ノ外、中村會員ヲ委員長トセル執筆要綱委員會ヲ數回開會シ、執筆要綱ヲ決定セリ。尙同ジク中村會員ヲ委員長トシテ、索引要綱ヲ決定スル爲ノ第一回委員會ヲ開催セリ。

事業ノ進捗程度ニ就テハ、昨年報告セル通り、本年及明年ヲ以テ大體ノ骨子ヲ仕上ゲント關係者一同努力中ナリ。唯時局ノ關係上豫期ヨリモ若干遲延ノ傾向アルハ止ムヲ得ザル處ナレドモ、最近（去ル十二月七日）各部ノ進捗程度報告打合會ニ於ケル狀況ニ徵スレバ、委員長ノ懸念セルヨリモ寧ロ良好ノ狀況ニ在リト言フヲ得ルヲ幸トス。

本年中ノ實行成績ハ、其ノ主ナルモノハ資料ノ蒐集ニシテ、或部ニテハ既ニ一部原稿ノ執筆セラレタルモノアリ。全體ノ進捗程度ハ、恐ラク完成ニ至ル迄ノ二割五分位ト推測ス。明年ハ各部共ニ殆ド資料ノ蒐集ヲ終了シ全線ノ構想モ纏メラレ、原稿ハ或程度ノ執筆ヲ期待セラル。

(六) 宸翰英華編纂

宸翰英華編纂事業ニ於テハ、本年ニ入り、新タニ京都帝國大學教授中村直勝ヲ委員ニ委囑シ、又囑託員中田中慶二郎ハ死亡シ、平松令三、白井信義ノ二氏ヲ加ヘタリ。

本事業ハ、本年一月以降ハ主トシテ諸方ノ宸筆原本ノ拜觀調査ヲ行ヒ、ソノ十二月初旬マデニ調査シタルハ、東京市、茨城縣、栃木縣、京都市、島根縣、香川縣、奈良縣、大阪市等ノ諸地方ニ互リ、總數百九十四箇所ナリ。其中特ニ著明ナル東山御文庫及ビ正倉院ナリ。東山御文庫ハ開扉中ニアラザリシモ、特ニ勅許賜ハリテ開扉セラレ、七日間ニ互リ、嵯峨天皇御筆李嶠雜詠ヲ始トシテ、宇多天皇醍醐天皇以下御歷天皇ノ任御書并御繪數百點ヲ拜觀セリ。正倉院ニテハ、聖武天皇御筆ノ雜集、孝謙天皇、淳仁天皇ノ御筆ヲ拜觀セリ。其他陽明文庫、尊經閣文庫、水戸徳川公爵、東京市伊達伯爵、香川縣猪熊信男、兵庫縣由本發次郎、妙法院、青蓮院、曼珠院、聖護院、大徳寺、妙心寺、西本願寺ノ所藏品ニモ著明ナルモノ多シ。

本年拜觀セシ宸翰ニシテ寫真ニ撮影シタルモノノ總數ハ九百五十三點ニ及ビ、寫真種板數ハ半切、四切、カビネ等ヲ合シテ一千六百四十二枚ナリ。尙ホ今後調査ヲ要スルモノ數箇所アレド、近ク結了ヲ見ルノ豫定ナリ。

本年ニ入り委員會ニ於テ決議シタル主ナル事項ハ左ノ如シ。

- 一、所謂ル北朝ノ天皇ノ御筆ハ院號ニテ最後ニ組入レル事
- 一、總說ノ執筆ハ辻編纂主任擔當スル事

- 一、解説ノ執筆ハ大凡體裁ヲ一定シテ諸委員及囑訓ニテ分擔スル事

- 一、解説ノ執筆ハ大凡體裁ヲ一定シテ諸委員及囑託ニテ分擔スル事

- 一、本ノ體裁ハ圖譜ヲ綴込マズシテ箱入トナシ、解説ハ洋紙へ印刷シテ二冊ニ分チ大和綴トナシ、表紙其他ニ用フル文様等ハ追テ決定スル事

尙ホ、目下寫真ノ整理及ビ解説ノ執筆ヲ行ヒツツアリ、來年ハ略ネ編纂ヲ了スル見込ナリ。

第三十七 役員

昭和十四年三月十二日	院 長	理學博士	長岡半太郎
同十四年七月一日			
昭和十一年五月十四日	幹 事	法學博士	加藤正治
同十四年七月一日			
同十四年七月一日			
昭和十八年十二月十三日	第一部々長	法學博士	織田萬
昭和十五年一月十二日	第二部々長	理學博士	田中館愛橘
同十七年七月一日			

第三十八 會員

明治三十五年十二月十四日	一 會 員		
明治三十九年九月十四日		第二部	醫學博士 小金井良精
同		第二部	理學博士 田中館愛橘
		第二部	醫學博士 三浦謹之助

役員、會員



會員

明治三十九年九月十四日  
 同 十月二十四日  
 同 十一月三十日  
 明治四十四年一月十一日  
 明治四十五年二月二十七日  
 大正二年五月二十九日  
 大正六年十二月二十六日  
 大正七年六月二十五日  
 同  
 大正八年十二月五日  
 大正十一年十二月二十六日  
 大正十二年五月三日  
 大正十二年十一月二十八日  
 大正十四年四月八日

第二部  
 第一部  
 第二部  
 第一部  
 第一部  
 第一部  
 第一部  
 第一部  
 第二部  
 第一部  
 第二部  
 第一部  
 第一部  
 第一部  
 第一部  
 第一部

理學博士 長岡半太郎  
 法學博士 一木喜德郎  
 理學博士 平山信  
 法學博士 美濃部達吉  
 文學博士 高楠順次郎  
 法學博士 山崎覺次郎  
 法學博士 小野塚喜平次  
 理學博士 水野敏之丞  
 法學博士 織田萬  
 文學博士 松本文三郎  
 理學博士 本多光太郎  
 醫學博士 宮入慶之助  
 文學博士 姊崎正治  
 文學博士 市村瓚次郎

大正十四年六月二十七日

同  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同

會員

第一部  
 第二部  
 第一部  
 第二部  
 第二部  
 第二部  
 第二部  
 第二部  
 第二部  
 第二部  
 第一部  
 第二部  
 第一部  
 第一部  
 第一部

工學博士 德富猪一郎  
 文學博士 伊東忠太郎  
 文學博士 狩野直喜  
 農學博士 早川祐輝  
 理學博士 丘淺次郎  
 理學博士 中村清二  
 理學學士 今村明恒  
 法學博士 山田三良  
 法學博士 加藤正治  
 法學博士 高野岩三郎  
 工學博士 俵國一  
 文學博士 吉田靜致  
 文學博士 瀧精一  
 文學博士 桑木嚴翼

會 員

大正十四年六月二十七日	第二部	理學博士	高木貞治
同	第一部	法學博士	中田 薰
同	第一部	法學博士	松本 丞治
同	第二部	理學博士	矢部 長克
同	第二部	理學博士	藤原 松三郎
大正十五年二月二十七日	第一部	法學博士	清水 澄
同	第二部	理學博士	眞島 利行
同	第一部	法學博士	松波 仁一郎
同	第一部	文學博士	西田 幾多郎
昭和二年十一月一日	第二部	理學博士	吉江 琢兒
同	第一時	文學博士	幸田 成行
昭和三年一月三十日	第一部	文學博士	新村 出
同	第二部	醫學博士	稻田 龍吉
昭和四年四月二十二日	第一部		佐伯 定胤

會 員

昭和五年一月九日	第二部	理學博士	宮部 金吾
同	第二部	理學博士	朝比奈 泰彦
同	第二部	醫學博士	足立 文太郎
同	第一部	文學博士	藤井 乙男
同	第一部	法學博士	神戶 正雄
昭和六年四月一日	第二部	理學博士	岡田 武松
昭和六年四月一日	第二部	理學博士	岡田 武松
昭和七年三月二日	第二部	理學博士	神津 俣祐
同	第一部	文學博士	辻 善之助
同	第二部	理學博士	大幸 勇吉
昭和九年三月二十四日	第一部	法學博士	鹽澤 昌貞
同	第一部	法學博士	高岡 熊雄
同	第一部	文學博士	佐佐木 信綱
同	第二部	理學博士	掛谷 宗一
昭和十年七月五日	第二部	農學博士	安藤 廣太郎

會員

昭和十一年一月三十一日	第一部	法學博士	林毅	陸
同 七月十日	第二部	文學博士	羽田	享
同 八月十四日	第一部	理學博士	谷津直	秀
同 十一月二十八日	第二部	法學博士	牧野英一	
昭和十二年三月二十三日	第一部	理學博士	加藤武夫	
同 五月八日	第二部	文學博士	大類	仲
同 五月二十九日	第一部	理學博士	西川正治	
同 七月十日	第二部	法學博士	穂積重遠	
同 七月三十日	第一部	理學博士	藤原咲平	
昭和十二年十二月一日	第二部	文學博士	池山正夫	
同 十二月二十四日	第一部	工學博士	澁澤元治	宏
昭和十三年三月一日	第二部	工學博士	田中芳雄	
明 五月六日	第一部	農學博士	麻生慶次郎	
同 十一月二十二日	第二部			

會員

昭和十四年一月三十日	第一部	文學博士	鈴木虎雄	
同	第二部	醫學博士	佐々木隆興	
同 三月二十五日	第一部	法學博士	杉山直治郎	
同	第二部	醫學博士	林春雄	
同 五月二十七日	第二部	理學博士	柴田桂太	
昭和十四年七月一日	第一部	文學博士	市河三喜	
同 七月二十八日	第二部	理學博士	藤井健次郎	
同 十二月六日	第一部	法學博士	佐々木惣一	
昭和十六年五月十日	第一部	法學博士	田中耕太郎	
昭和十七年二月七日	第二部	醫學博士	三田定則	
同 四月八日	第二部	理學博士	坪井誠太郎	
同 五月一日	第二部	醫學博士	今	裕
同 五月三十日	第一部	文學博士	武内義雄	
同 十月二十八日	第一部	法學博士	三浦新七	

貴族院帝國學士院會員議員

昭和十八年一月十二日	第一部	文學博士	村上直次郎
同 三月八日	第一部	文學博士	原田淑人
同 十一月二十四日	第一部	法學博士	小泉信三
同 十二月十一日	第二部	醫學博士	熊谷岱藏
昭和十九年二月四日	第一部	法學博士	信夫淳平
同 四月十八日	第二部	醫學博士	平井毓太郎
同 五月十日	第二部	理學博士	柴田雄次
同 七月十日	第二部	理學博士	萩原雄祐

第三十九 貴族院帝國學士院會員議員

大正十四年十月十日	第二部	田中館愛橘
昭和十四年十月十日	第二部	長岡半太郎
昭和十四年十月十九日	第一部	姊崎正治
昭和十四年七月二十二日		
同 十月二十二日		

昭和十八年十二月十五日

第一部 山田三良

前貴族院帝國學士院會員議員 (○ハ辭任 ×ハ後死 △ハ在任中死亡)

自大正十四年十月十日	第一部	井上哲次郎
至同十五年十一月十六日	第一部	上田萬年
自大正十五年十二月二十二日	第一部	藤澤利喜太郎
自昭和七年九月二十日	第一部	△三上參次
自大正十四年十月十三日	第一部	○小野塚喜平次
自昭和七年十月十七日		
至同十四年六月七日		
自大正十四年十月二十日		
至昭和十八年十月二十日		

第四十 各部分科並二定員

第一部	法律學、政治學、經濟學	定員 二十五人
第二部	哲學、史學、文學	定員 二十五人

前貴族院帝國學士院會員議員 各部分科並二定員

第一分科

天文學、數學、物理學、化學  
地球物理學、地質學、工學

定員 三十一人

第二分科

生物學、醫學、農學

定員 十九人

第四十一 事務職員

昭和十八年十一月十九日	主事(兼)文部書記官	本田弘人
同 十一年九月九日	書記	砂子茂
同 十九年六月十二日	同	宮本忠男
同 十七年十二月五日	同	本山銀次
同 十九年四月十日	囑託	岡田春次
同 十九年六月十五日	同	三橋和也
同 十五年九月二十日	同	大坂成一
同 十九年五月三十一日	同	村上政記
同 十七年十二月二日	同	岸本英夫

(昭和五年七月三十一日)

(應召中)

(兼)

(兼)

大正十五年六月十二日	同	市橋靜子
昭和十五年三月十日	同	櫻井時雄
同 十九年二月二十九日	雇	石原まづ子
同 十七年五月二十五日	同	西田ミサ子
同 十九年五月二十一日	同	増田きよ子
同 十九年七月五日	同	宇土タカネ
同 十七年十二月七日	同	山田良子
同 十九年九月一日	給仕	山田ツル子

(兼)

第四十二 委員、事業擔當會員、囑託員

一 帝國學士院紀事及別冊出版委員

昭和十一年五月十四日	委員長	加藤正治
同 十四年七月一日	法學博士	
同 十七年七月一日	委員	
明治四十四年六月十二日		
昭和二年七月一日		

委員、事業擔當會員、囑託員



委員、事業擔當會員、囑託員

一八六

同	同	文學博士	辻善之助
同	同	理學博士	谷津直秀

二 學術研究獎勵金運用委員

昭和十年五月十四日	委員長	法學博士	加藤正治
同十五年一月十二日	委員	理學博士	田中館愛橘
同十八年十二月十三日	同	法學博士	織田萬
同	同	法學博士	山崎覺次郎
同	同	工學博士	依國一
同	同	法學博士	鹽澤昌貞
同十年六月二十日	同	同	同

三 皇室制度ノ歴史的研究

大正九年三月十六日	擔當會員委員	法學博士	美濃部達吉
昭和十二年九月六日	同	文學博士	辻善之助
同十一年六月二十日	專任編纂囑託	文學博士	山本信哉
同十七年一月二十九日	同	同	井上清

昭和十八年九月二十日

專任編纂囑託

井上光貞

昭和十六年九月三十日

編纂囑託

武田政一

大正十一年二月十七日

調查囑託

文學博士

諸橋轍次

同十二年四月二十六日

同

同

龍橋次

同十三年十一月一日

同

侯爵

芝野葛盛

同十八年四月三十日

同

文學博士

淺野長武

同十一年七月十七日

同

文學博士

渡邊世祐

同十六年十一月二十九日

同

同

坂本太郎

同十四年一月三十一日

調查補助囑託

同

黒井大圓

同十四年一月三十一日

調查補助囑託

同

高橋隆三

同二年十月二十日

同

同

武田政一

同十二年一月二十三日

同

同

三好不二雄

同十七年一月九日

同

同

竹内理三

四 我國ノ歐洲諸國ノ交通史料ノ蒐集及研究

昭和十八年三月十二日

擔當會員

文學博士

村上直次郎

委員、事業擔當會員、囑託員

一八七

委員、事業擔當會員、囑託員

昭和二年四月十九日

囑託

板澤 武雄

五 帝國學士院史編纂

昭和十二年五月十七日

囑託

大久保利謙

六 明治前日本科學史編纂

昭和十八年三月十二日

擔當會員委員長

伊東 忠太

數 學 史

昭和十六年三月十二日

擔當會員委員

藤原松三郎

同 五月一日

補助囑託

平 山 諦

天 文 學 史

昭和十八年三月十二日

擔當會員委員

平 山 信

同 十六年五月一日

委 員

桑 木 彥雄

同 十八年五月二十四日

囑 託

荒 木 俊馬

同 五月五日

同

能 田 忠亮

同 十八年十一月一日

同

關 口 鯉吉

昭和十七年二月二日  
同 五月十二日  
同 十八年十一月十八日  
同 十九年六月十三日

物理學・化學史

昭和十六年三月十二日

擔當會員委員

中 村 清二

同 十七年十二月十日

委 員

今 村 明恒

同 十二月十五日

同

岡 田 武松

同 十六年五月一日

同

桑 木 彥雄

同 十七年十二月十日

囑 託

天 野 清

同 十八年一月七日

同

朝 比奈 貞一

同 十二月十日

同

三 枝 博音

同 十六年五月九日

同

矢 島 祐利

同 十六年六月十四日

同

菅 井 準一

同 十八年一月十九日

補助囑託

長 谷 川 淳

委員、事業擔當會員、囑託員



委員、事業擔當會員、囑託員

昭和十八年一月十九日  
同 一月十五日  
同 一月七日  
同 十八年十一月十五日

同 同 同 同

工學史(建築・土木)

昭和十六年三月十二日  
同 五月十二日  
同 五月十四日  
同 五月九日  
同 十七年七月七日  
同 十六年五月一日  
同 五月一日  
同 五月一日  
同 五月一日

擔當會員委員  
委員  
囑託  
囑託  
同  
補助囑託  
同  
同  
同

田中實  
茂串茂  
大矢眞一  
兒玉勵造  
伊東忠太  
大熊喜邦  
眞田秀吉  
大岡實  
福山敏男  
乾兼松  
太田博太郎  
澤野謙  
江澤甚一

昭和十六年五月一日  
同 十七年七月六日

同 同

工學史(採鑛冶金・地質・鑛石)

昭和十六年三月十二日  
同 五月十四日  
同 八月二十五日  
同 十七年一月十六日  
同 十九年一月十五日

擔當會員委員  
委員  
同  
同  
同

工學史(造船・兵器・機械)

昭和十六年五月十四日  
同 十一月二十七日  
同 十七年二月十六日  
同 二月十六日

擔當會員委員  
委員  
囑託  
同

委員、事業擔當會員、囑託員

栗原良輔  
關野克  
俵國一  
佐野秀之助  
桂弁三  
高橋隆三  
岩崎航介  
未定  
山本武藏  
野口尙一  
洞富雄  
高本正雄

委員、事業擔當會員、囑託員

工學史(應用化學)

昭和十六年三月十二日  
同 七月三日  
同 七月十日  
同 七月十一日  
同 七月十九日  
同 十七年二月二日  
同 二月二日  
同 八月三十一日

農學史

昭和十六年三月十二日  
同 五月五日  
同 五月八日  
同 六月二十五日

擔當會員委員

委員

同

同

同

同

同

囑託

同

同

委員

同

同

一九二

田中芳雄  
厚木勝基  
上野誠一  
廣瀨誠一  
矢野道也  
奧田誠一  
平木義良  
山田憲太郎  
安藤廣太郎  
小出滿二  
菊池秋雄  
岩住良治

醫學史(醫學)

昭和十六年六月二十五日  
同 六月二十五日  
同 五月十二日  
同 六月二十日  
同 七月十八日  
同 九月三十日  
同 十九年五月廿三日  
同 六月十一日  
同 六月十一日  
同 六月十一日  
昭和十六年十月三日  
同 三月十二日  
同 五月十二日  
同 五月十四日  
同 十七年二月二十四日  
同 十六年五月十二日

擔當會員委員

同

委員

同

同

委員

同

囑託

同

同

同

同

同

補助囑託

平塚英吉  
澁澤敬三  
德川宗敬  
淺井敬太郎  
加茂儀一  
大西伍一  
增田莊一  
池田喜子  
石川弘子  
稻田龍吉  
朝比奈泰彦  
山崎佐  
長谷部言人  
太田正雄  
緒方富雄

委員、事業擔當會員、囑託員

一九三

委員、事業擔當會員、囑託員

同	十二月二十六日
同	昭和十七年六月三十日
同	十六年十二月二十四日
同	十一月十日
同	十七年五月二十日
同	十七年五月十三日
同	十八年二月二十七日
同	三月十三日
同	十七年七月二十二日
同	十八年二月二十日
同	十七年五月十三日
同	十八年二月二十日

囑託

一九四

伊東彌惠治
兒玉作左衛門
山田平太
梶完次
小川鼎三
藤井尙久
西川義方
內山孝一
杉靖三郎
田中助一
龍野一雄
大鳥蘭三郎
朝比奈泰彦
岡西爲人

醫學史(藥物學)

同	昭和十六年三月十二日
同	五月十二日

擔當會員委員  
囑託

醫學史(博物學)

同	昭和十六年八月十八日
同	五月二十三日
同	八月十八日

囑託

擔當會員委員

清水藤太郎
赤松金芳
高橋眞太郎

同	昭和十六年三月十二日
同	五月十二日
同	五月十二日
同	五月二十九日
同	五月八日
同	十七年二月二十日
同	二月十三日
同	七月十八日
同	七月二十三日

同	囑託
同	擔當會員委員
同	同
同	同
同	同
同	同
同	同
同	同
同	同
同	補助囑託
同	同

柴田桂太
江崎悌三
本田正次
篠遠喜人
上野益三
岡田要之助
後閑文之助
高島春雄
湯淺明

九 宸翰英華編纂

委員、事業擔當會員、囑託員

一九五

委員、事務擔當會員、囑託員

昭和十六年三月十二日  
同  
同 十六年三月十二日  
同  
同  
同  
同  
同 三月八日  
同  
同 三月十七日  
同 三月八日  
同  
同 十七年四月十六日  
同 十六年三月十二日  
同 三月八日

擔當會員委員長  
同 委員(常務)  
委員  
同  
同  
同  
事務囑託  
同  
同  
同  
同  
同  
同  
同

一九六  
瀧 精一  
辻 善之助  
市村 環次郎  
狩野 直喜  
新村 出  
佐佐木 信綱  
西田 直二郎  
芝 葛盛  
山田 孝雄  
岩崎 小彌太  
相田 二郎  
中村 直勝  
田山 信郎  
勝野 隆信

昭和十六年三月八日  
同 三月十二日  
同 三月十二日  
同 三月八日  
同  
同 十七年八月十五日  
同  
同  
同 七月二十一日  
同 十二月十四日

事務囑託  
同  
同  
同  
事務補助囑託  
同  
同  
同  
史料書記

玉村 竹二  
藤田 經世  
赤松 俊秀  
中澤 堅夫  
是澤 恭三  
白井 信義  
田井 啓吾  
平松 令三  
足立 庄之助

第四十三 帝國學士院前役員 (×印ハ死亡者)

院長

自明治三十九年八月  
至同 四十二年六月  
自明治四十二年七月一日  
至大正 六年八月二十日

帝國學士院前及役員

文學博士 男爵 ×加藤 弘之  
法學博士 男爵 ×菊池 大麓  
理學博士 男爵 ×菊池 大麓